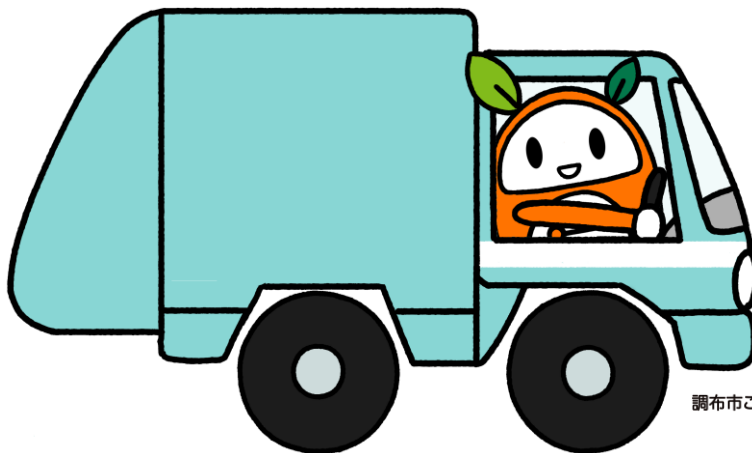


令和6年度版(令和5年度実績)

調布市 清掃事業概要



調布市ごみ減量・リサイクルキャラクター
リサッチョ

調布市ゴミ憲章

私たちは、ゴミ問題が資源の問題であることと深く自覚し、一人ひとりがくらしを見直すことによって環境にやさしいまちづくりをすすめ、未来の子どもたちへ「美しい調布」、「みどりの地球」を残すため、ゴミ憲章を定めます。

- 1 ゴミ減量，まず我が家から始めましょう。
- 2 ゴミは立派な資源です。捨てずにリサイクルを考えましょう。
- 3 ゴミを捨てるときは，責任を持って分別しましょう。
- 4 過剰包装，ことわる勇気を持ちましょう。
- 5 無駄な消費はつつしんで，心にゆとりのある生活をおくりましょう。

平成3年2月1日 制定

環境部ごみ対策課



調布市民憲章（抄）

私たち市民は

- 自然を破壊と汚染からまもり，緑と清流と青空に恵まれたまちをつくります。
- つねに自己を啓発し，個性的で清新な文化豊かなまちをつくります。
- 健康で快適な生活を目指し，あたたかい心で助けあい，幸せからとりのこされる人のいないまちをつくります。
- お互いに約束をまもり，公共の施設を大切にし，社会意識の向上につとめ，さわやかなまちをつくります。
- ひとりひとりを尊重しあい，すすんでまちづくりに参加し，市民中心のまちをつくります。

※ この清掃事業概要は，令和6年度予算，令和5年度決算に基づき，清掃事業の概要及び諸統計等を収録したものです。

目 次

1	市の概要.....	1
(1)	位置・面積	1
(2)	人口・世帯	1
2	施設	2
(1)	ごみ対策課施設.....	2
ア	調布市クリーンセンター	2
イ	調布市利 <small>りさいくる</small> 再来留館.....	3
ウ	市役所ごみ対策課窓口（市役所 2 階）	4
(2)	特別地方公共団体.....	4
ア	ふじみ衛生組合	4
イ	東京たま広域資源循環組合.....	5
3	組織・機構・所掌事務.....	6
(1)	組織・所掌事務	6
(2)	職員の配置	7
4	保有車両一覧.....	8
5	財政	9
(1)	清掃事業費当初予算額の推移	9
(2)	令和 5 年度清掃事業費決算.....	9
(3)	清掃事業費決算額の推移	13
(4)	人口・世帯数・ごみ量別清掃事業費.....	15
(5)	処理処分施設負担金	16
(6)	収集運搬費	16
(7)	家庭系指定収集袋の作成枚数及び塵芥処理手数料	17
(8)	売払・頒布代金内訳	18

6	一般廃棄物処理基本計画（第3次）	19
7	令和5年度 一般廃棄物処理実施計画	21
8	令和5年度の特徴.....	29
9	ごみ処理事業.....	30
(1)	収集作業形態.....	30
(2)	ごみ収集運搬の現況	30
(3)	令和5年度 ごみ処理システム・実績 フロー図	31
(4)	ごみ量	32
ア	令和5年度収集量状況.....	32
イ	収集量の推移.....	33
ウ	資源化率の推移	34
エ	市民1人1日当たりのごみの排出量の推移.....	36
(5)	有害ごみの処理状況	37
(6)	粗大ごみの処理状況・受付件数.....	37
(7)	動物死体の処理状況	37
(8)	し尿等の処理状況.....	38
(9)	一般廃棄物収集運搬業務における車両火災・事故等の発生状況	38
10	ごみ減量・リサイクルの取組.....	39
(1)	啓発活動	39
ア	市報・広報誌等による啓発.....	39
イ	地域懇談会・説明会及び施設見学会の実施	41
ウ	ごみ減量キャンペーン	42
エ	三多摩は一つなり交流事業.....	42
(2)	資源物地域集団回収事業	42
ア	資源物地域集団回収事業奨励金交付実績	43

イ	1 kg 当たりの奨励金単価の推移（団体分）	43
ウ	資源物地域集団回収の登録団体数及び登録業者数の推移	44
(3)	ごみ減量装置等補助金交付状況	44
(4)	粗大ごみ再利用事業	44
(5)	ごみ減量・リサイクル協力店認定制度	45
(6)	調布エコ・オフィス認定制度	47
(7)	せん定枝資源化支援事業	49
(8)	家電製品の資源化事業	49
ア	開始時期	49
イ	対象家電製品	49
ウ	対象部品	50
エ	家電製品の取組実績	50
オ	資源化の流れ	50
(9)	使用済小型家電製品の拠点回収	51
ア	設置箇所	51
イ	回収実績	52
ウ	拠点回収の対象品目	52
(10)	羽毛布団リサイクル事業	52
(11)	使用済みインクカートリッジ回収事業	53
ア	設置箇所	53
イ	回収実績	53
(12)	家庭系一般廃棄物指定収集袋（LL サイズ）のばら売り	53
(13)	組成分析調査	53
(14)	粗大ごみ臨時展示販売	53
(15)	使い捨てコンタクトレンズ空ケースの拠点回収	54

(16) 小型充電式電池の拠点回収	54
11 適正排出への取組	55
(1) 適正排出の指導・管理	55
ア 不法投棄処理及びごみ排出指導の状況	55
イ 不法投棄対策事業	55
ウ ごみ置場の移動数及びごみ置場申請数	55
エ 開発事業指導要綱に関するごみ置場協議件数	55
(2) ふれあい収集	56
(3) 資源物の持去り対策	56
12 廃棄物減量及び再利用促進審議会	57
(1) 概要	57
(2) 委員構成等	57
(3) 開催内容	57
13 廃棄物減量及び再利用促進員	58
(1) 概要	58
ア ごみの減量・リサイクルの推進に向けての活動及びPR	58
イ ごみ減量・リサイクル活動の参加・開催	58
ウ ごみ対策課への地域情報の提供	58
(2) 定数等	58
(3) 主な活動実績	58
ア ごみ減量キャンペーン	58
イ 促進員施設見学会及び懇談会	58
14 災害廃棄物処理計画	59

資料編	61
1 清掃事業の沿革	63
2 ごみ量等の推移	101
3 広報関係	109
(1) ザ・リサイクル	111
(2) ザ・リサイクルジュニア	123
4 例規集（抜粋）	125
(1) 調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例	126
(2) 調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例施行規則	139
5 許可業者等一覧表	157
(1) 一般廃棄物収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者	158
(2) 資源物地域集団回収業者登録一覧表	159

1 市の概要

(1) 位置・面積

東京都を地域別に分けると、陸地部と島しょ部に分けることができ、陸地部の東部3分の1が特別区、中央の約3分の1が多摩地域の台地、西部の3分の1が山間部、そして南部が大島をはじめ伊豆7島と小笠原の島しょとなっており、特別区と多摩は23区・26市・3町・1村。島しょ部は2町・7村である。

本市は、東京都のほぼ中央部、多摩地区の南東部に位置し、都心部へ約20kmの距離にある。市の東は世田谷区、狛江市、北は三鷹市・小金井市、西は府中市、南は多摩川をはさんで稲城市、神奈川県川崎市に接している。

市の中心（市役所の位置）は、北緯35度39分02秒、東経139度32分27秒の位置にあり、市の広がり、東西7.0km、南北5.7kmで、面積は21.58km²で東京都の約1パーセントにあたる。

市の中央部には、東西に走る京王線および国道20号（甲州街道）、中央自動車道があり、これを中心として市街地を形成している。



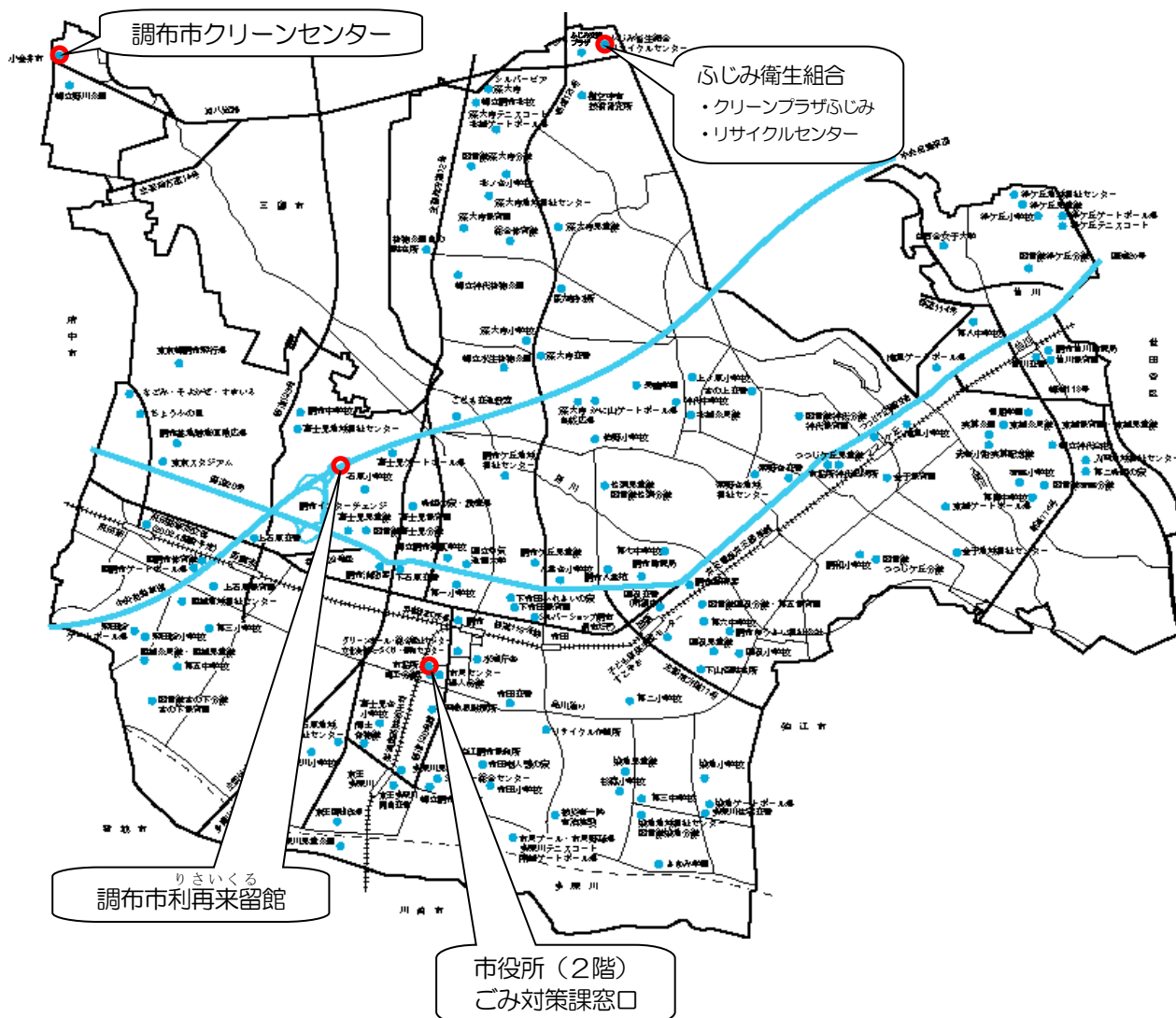
(2) 人口・世帯

(令和6年4月1日現在)

区 分 \ 分 類		日 本 人	外 国 人	総 数	前年同月比
					(令和5年4月1日比)
世帯数		121, 313	2, 835	124, 148	992
人 口	男	113, 673	2, 583	116, 256	65
	女	120, 440	2, 551	122, 991	230
	計	234, 113	5, 134	239, 247	295

2 施設

(令和6年3月31日現在)

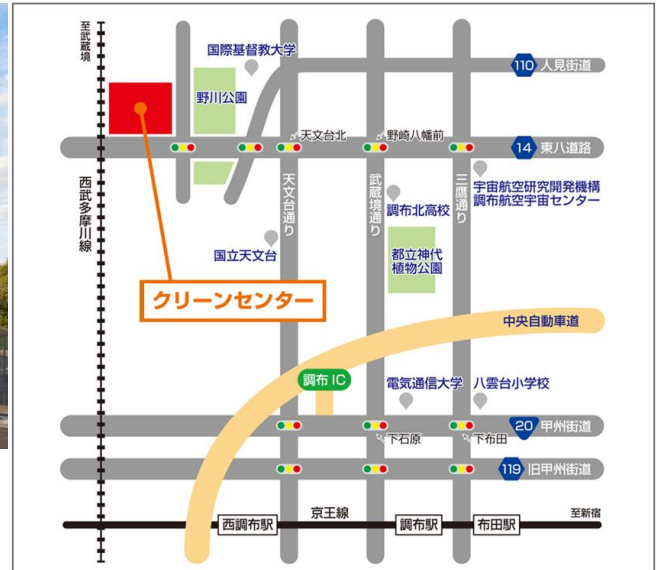


(1) ごみ対策課施設

ア 調布市クリーンセンター

(施設概要)

所在地	東京都調布市野水2丁目1番地1ほか
竣工年月日	平成30年12月17日
敷地面積	5,914.40㎡
管理棟	1,344.80㎡(延床面積) 鉄骨造2階建 (1F) 展示・学習室, 受付事務室, 粗大ごみ処理室など (2F) ごみ対策課 事務室, 食堂, 休憩室, 更衣室, シャワー室, 洗濯室など
作業棟	2,906.18㎡(延床面積) 鉄骨造2階建 作業場(古紙・古布・ビン・カン), し尿投入口など
操業日	月曜日から土曜日まで(年末年始を除く) ※ごみ対策課: 月曜日から金曜日まで(祝日, 年末年始を除く)
操業時間	午前8時30分から午後5時まで。ただし, 粗大ごみの持込みは, 午前9時から正午まで及び午後1時30分から午後4時30分まで ※ごみ対策課: 午前8時30分から午後5時15分まで



イ 調布市利再来留館

再利用（リユース）を目的として，市内各戸から収集した粗大ごみの中から再生可能な家具などを抽出，修理・加工し，展示・販売している。

(施設概要)

所在地	東京都調布市富士見町3丁目2番地1
竣工年月日	平成21年12月21日
敷地面積	520.22㎡
建物	174.96㎡（延床面積） 軽量鉄骨造1階建
1階	事務室，展示・売場，便所
開館日時	月曜日～土曜日 午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで（年末年始を除く）

※ 中央自動車道高井戸IC～稲城IC間橋梁耐震補強工事のため，令和4年9月16日～臨時休館



ウ 市役所ごみ対策課窓口（市役所２階）

ごみ対策課の事務所が市役所本庁舎内にないことから窓口を設けている。減免（指定収集袋等の交付）や資源物地域集団回収事業の申請など市民の手続きに関する業務を行っている。

（施設概要）

所在地	東京都調布市小島町２丁目３５番地１
-----	-------------------

(2) 特別地方公共団体

ア ふじみ衛生組合

昭和３５年１月１９日、調布市及び三鷹市で「し尿処理場の建設及び維持管理に関する事務」を共同処理する一部事務組合として設立し、現在では共同処理の内容を、し尿処理から可燃ごみ及び不燃ごみの処理に転換している。

燃やせるごみは「クリーンプラザふじみ」で、燃やせないごみは「リサイクルセンター」で、それぞれ受入れ処理を行っている。

(ア) 可燃ごみ処理施設（クリーンプラザふじみ）

クリーンプラザふじみは、最新の技術を導入し、調布市及び三鷹市の燃やせるごみを安全・安心かつ安定的に処理することはもちろんのこと、国の基準よりも厳しい排ガスの自主規制値を設定するとともに、ごみの焼却に伴って発生する熱エネルギーを活用して高効率発電を行い、施設の内外で有効利用を図るなど、周辺環境や地球環境に配慮した施設である。

（施設概要）

名 称	クリーンプラザふじみ
所 在 地	東京都調布市深大寺東町７丁目５０番地３０
建 築 面 積	５，２０５㎡
竣 工	平成２５年３月
処 理 能 力	２８８ｔ／日（１４４ｔ／日×２炉）
発 電 能 力	９，７００ｋＷ



(イ) 不燃物処理資源化施設（リサイクルセンター）

リサイクルセンターは、ふじみ衛生組合に設置された調布市及び三鷹市共同による不燃物処理資源化施設である。

(施設概要)

名 称	リサイクルセンター 不燃物処理資源化施設
所 在 地	東京都調布市深大寺東町7丁目50番地30
竣工・建築面積	平成6年12月 中央棟 3,043㎡ 平成22年6月 東棟 974㎡, 北棟 731㎡
処 理 能 力	不燃ごみ系: 71 t / 5 h 小型破碎機: 3.0 t / 5 h ペットボトル: 7.5 t / 5 h びん・缶: 2.4 t / 5 h

イ 東京たま広域資源循環組合

東京たま広域資源循環組合は、多摩地域25市1町、約400万人の一般廃棄物最終処分場を管理・運営するため、昭和55年11月1日に設立された特別地方公共団体である。現在は、二ツ塚処分場（エコセメント化施設含む）と埋立てが終了した谷戸沢処分場の管理・運営を行っている。

(ア) 最終処分場

二ツ塚処分場はモニタリングシステムなどの設備を駆使し、徹底した安全管理を行っている管理型の最終処分場である。

(施設概要)

名 称	日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場
所 在 地	東京都西多摩郡日の出町大字大久野字玉の内
面 積	用地面積約59.1ha 開発面積約33.3ha（埋立地18.4ha、管理施設等14.9ha） 残存緑地面積約25.8ha
埋 立 容 量	全体埋立容量約370万m ³ （廃棄物埋立容量約250万m ³ 、覆土容量約120万m ³ ）

(イ) エコセメント化施設

多摩地域25市1町で発生した焼却灰をセメントとしてリサイクルするための施設である。

(施設概要)

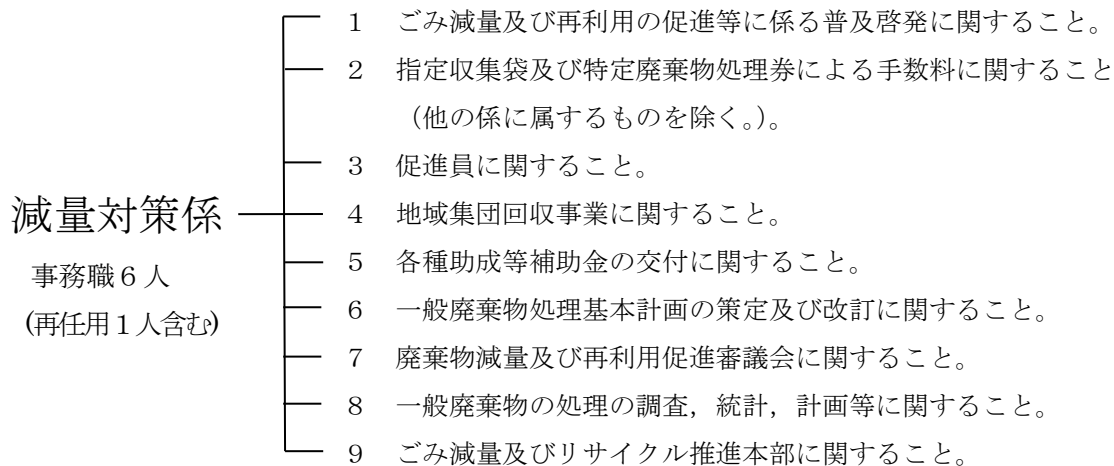
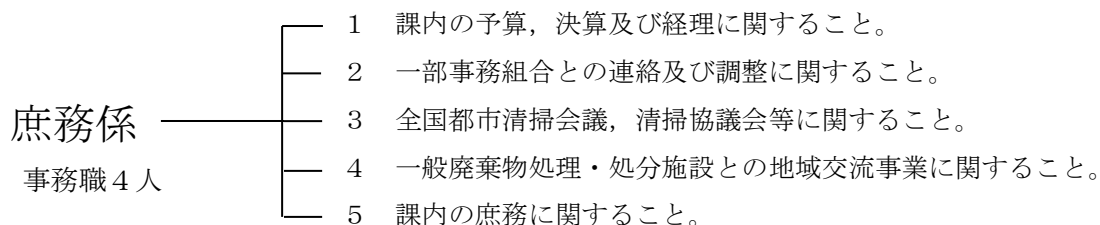
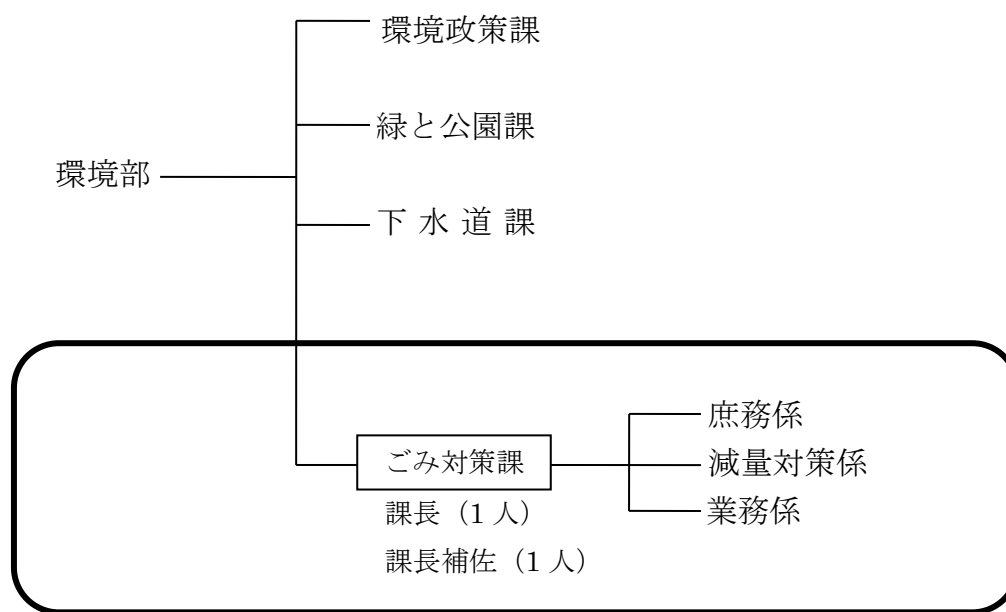
名 称	東京たまエコセメント化施設
所 在 地	東京都西多摩郡日の出町大字大久野7642番地（二ツ塚処分場内）
面 積	施設用地面積: 約4.6ha（二ツ塚処分場全体面積 約59.1ha）
竣 工	平成18年6月（7月より本格稼働）
施 設 規 模	焼却灰等の処理量 平均300（t / 日） エコセメント生産量 平均430（t / 日）

※ エコセメントとは、各家庭から排出された可燃ごみの焼却時に出る灰を主原料として作られるセメントのこと

3 組織・機構・所掌事務

(令和6年3月31日現在)

(1) 組織・所掌事務



業務係

事務職 6 人

現業職 8 人

(再任用 1 人含む)

- 1 一般廃棄物（動物の死体及びし尿を含む。）及び資源物の収集、運搬及び処分に関する事。
- 2 ごみ処理の苦情、相談等に関する事。
- 3 一般廃棄物の分別排出の徹底及び啓発指導に関する事。
- 4 資源物の持去り対策及び不法投棄対策（パトロールを含む。）に関する事。
- 5 クリーンセンターの管理・運営に関する事。
- 6 安全運転管理（事故処理を含む。）及び車両の整備に関する事。
- 7 粗大ごみの再利用及び利再来留館の管理・運営に関する事。
- 8 大規模建築物等の建設時における一般廃棄物保管場所の設置等に係る事前協議に関する事。
- 9 事業所等の指導及び立入調査に関する事。
- 10 ふれあい収集に関する事。
- 11 せん定枝の資源化に関する事。
- 12 一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可に関する事。
- 13 粗大ごみ、動物の死体及びし尿に係る手数料に関する事。
- 14 一般廃棄物処理業許可等手数料及び浄化槽清掃業許可等手数料に関する事。
- 15 資源物（再生品に限る。）の売払代金に関する事。

(2) 職員の配置

所属 \ 役職等	職種	課長	課長補佐	係長	主査	主任	主事	合計
課	事務	1	1					2
庶務係	事務			1	1	1	1	4
減量対策係	事務			1		4	1	6
業務係	事務			1		3	2	6
	現業					8		8
合計	事務	1	1	3	1	8	4	18
	現業					8		8
	合計	1	1	3	1	16	4	26

※ 再任用を含む。

4 保有車両一覧

(令和6年3月31日現在)

	車両番号	用途	メーカー	車両番号	初度 登録年月	燃料	備考
1	A-3	塵芥車	いすゞ自動車	多摩800せ7527	H26.2	軽油	プレスパッカー
2	A-5	塵芥車	いすゞ自動車	多摩800そ180	H29.2	軽油	プレスパッカー
3	D-1	ダンプ	いすゞ自動車	多摩100せ6000	R3.2	軽油	リース車両
4	D-11	ダンプ	いすゞ自動車	多摩400に6524	H29.2	軽油	
5	T-2	キャブオーバ	トヨタ自動車	多摩400ね1429	R3.3	ガソリン	リース車両
6	T-3	キャブオーバ	トヨタ自動車	多摩400ね1430	R3.3	ガソリン	リース車両
7	K-2	キャブオーバ	三菱自動車工業	多摩41さ6319	H15.10	ガソリン	軽自動車
8	K-3	バン	三菱自動車工業	多摩480く671	H21.6	ガソリン	軽自動車
9	K-4	バン	スズキ	多摩480く450	H21.6	ガソリン	軽自動車
10	チップパー車	塵芥車	日野自動車	多摩800そ3668	R3.2	軽油	せん定枝粉碎車 リース車両
11	K-1	キャブオーバ	ダイハツ工業	多摩480と8916	R5.3	ガソリン	軽自動車 リース車両
12	K-5	キャブオーバ	ダイハツ工業	多摩480と8917	R5.3	ガソリン	軽自動車 リース車両
13	K-6	キャブオーバ	ダイハツ工業	多摩480と8918	R5.3	ガソリン	軽自動車 リース車両

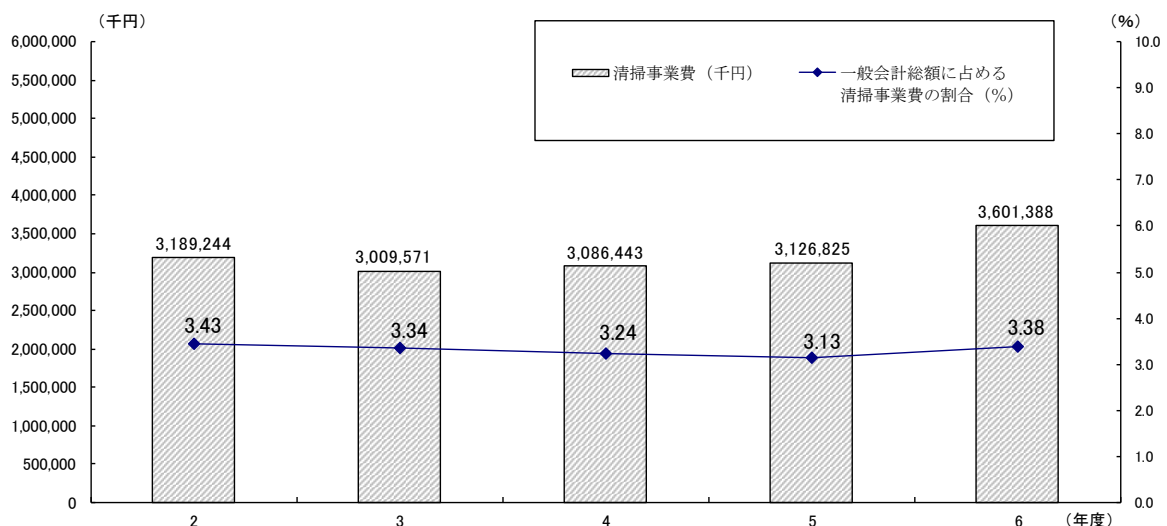
※ リース契約車両を含む

5 財政

(1) 清掃事業費当初予算額の推移

一般会計に占める清掃事業費の割合（歳出）

項 目 \ 年 度	2	3	4	5	6
清掃事業費(千円)	3,189,244	3,009,571	3,086,443	3,126,825	3,601,388
清掃総務費(千円)	493,429	440,969	439,922	447,787	433,747
塵芥処理費(千円)	2,672,632	2,545,419	2,623,338	2,655,855	3,144,458
し尿処理費(千円)	23,183	23,183	23,183	23,183	23,183
一般会計総額（千円）	92,990,000	90,120,000	95,270,000	99,770,000	106,500,000
一般会計総額に占める 清掃事業費の割合（％）	3.43	3.34	3.24	3.13	3.38



(2) 令和5年度清掃事業費決算

【総括】

これまでの市民・事業者の高い意識と行動に支えられ、ごみ減量、資源化の取組が進み、その成果は市民1人1日あたりのごみ量、総資源化率において、全国でも高水準を維持しております。

令和5年度の総ごみ量は、5万8771トンとなり、令和4年度から1854トン（国産ロケット約6機分）減少しました。また、市民1人1日当たりの総ごみ排出量は前年度から23.4g（約3%）減少し、673.5g（統計開始以降最少）になりました。

調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）の初年度として、3Rの推進を基本とした脱炭素・資源循環施策を展開しました。

新たな資源循環対策の取組として、他団体の先行事例を参考に、生ごみ資源化モデル事業について、費用対効果等の検証を進めるため、令和6年度中の開始に向け、準備を進めました。

更なるごみ減量と資源化を目指し、市報、ホームページ、ごみ対策課広報誌「ザ・リサイクル」、ごみアプリ、調布エフエム等、様々な媒体を活用し、ごみ量の現状やごみの適正排出・適正処理に向けた意識啓発を促す情報提供に努めました。また、ごみの組成分析の調査結果に基づく適正なごみの

排出方法や減量方法の周知に努めました。

環境教育推進に向けては、市内の小中学生を対象に、海洋プラスチック問題をテーマに「ザ・リサイクルジュニア第4号」を発行したほか、出前講座における講座内容について、保育課と連携し、市内の保育園・幼稚園施設へ重点的にPRを実施し、幼少期向けにクイズや清掃指導員による収集車両へのごみ投入体験を新たに導入するなど、幅広い世代に向けた啓発に努めました。また、ごみの分別等におけるDXの推進に向け、市内大学等の産学官連携により、AIを活用した新たなごみ分別等の検索ツール「調布ごみナビ（仮称）」の共同開発に取組しました。

大規模災害により発生した災害廃棄物を、早期の復旧・復興に向けて処理体制を確保し、迅速かつ適正処理する基本的な事項を定め、市民生活環境の保全、公衆衛生上の支障を防止することを目的とした「災害廃棄物処理計画」を令和6年3月に策定しました。

ごみの確実な収集、適正な処理を継続しました。ふじみ衛生組合クリーンプラザふじみの安定稼働について関係団体として取り組むとともに、焼却残さについては、東京たま広域資源循環組合エコセメント化施設による再利用を図り、最終処分（埋立）量ゼロを維持しました。ふじみ衛生組合リサイクルセンター及び東京たま広域資源循環組合エコセメント化施設の老朽化に伴う施設更新について、関係団体として連携し、検討を進めました。

安定的な廃棄物の収集・処理を図るとともに、生活環境の維持・保全に努めました。

【歳入】

令和5年度の歳入決算額は6億6500万円余で、家庭系一般廃棄物手数料の数量の減により、前年度に比べ1300万円余の減となりました。

【歳出】

令和5年度の歳出決算額は29億5000万円余で、予算現額に対する執行率は98.8パーセント、前年度に比べ、600万円余の減となりました。主な減要因は、集団回収奨励金の団体数の減少や塵芥収集車2台のリース満了によるものです。目別の決算額といたしましては、清掃総務費が4億3100万円余です。塵芥処理費は24億9400万円余で、清掃費全体の84.5パーセントを占めています。し尿処理費は2300万円余でした。

令和5年度清掃事業費決算額（歳入）

区 分	令和5年度 決算額（円） a	令和4年度 決算額（円） b	増減額（円） c=a-b	増減率（％） d=c/b
総務使用料	4,680	4,680	0	0.00
総務使用料	4,680	4,680	0	0.00
衛生手数料	540,727,998	552,416,963	-11,688,965	-2.12
衛生手数料	540,727,998	552,416,963	-11,688,965	-2.12
委託金	222,156	0	222,156	皆増
清掃費委託金	222,156	0	222,156	皆増
雑入	124,860,260	127,198,543	-2,338,283	-1.84
自動車損害共済金	0	0	0	-
実費徴収金	82,467	149,165	-66,698	-44.71
売払・頒布代金	122,504,720	124,799,711	-2,294,991	-1.84
清算返還金	49,857	95,703	-45,846	-47.90
雑入	2,223,216	2,153,964	69,252	3.22
合計	665,815,094	679,620,186	-13,805,092	-2.03

令和5年度清掃事業費決算額（歳出）

区 分	令和5年度 決算額(円) a	令和4年度 決算額(円) b	増減額(円) c=a-b	増減率 (%) d=c/b
清掃総務費	431,548,232	436,760,876	-5,212,644	-1.19
一般職人件費	212,533,589	217,451,601	-4,918,012	-2.26
一般職職員給	99,501,024	103,815,200	-4,314,176	-4.16
諸手当等	69,874,916	71,403,682	-1,528,766	-2.14
時間外勤務手当	7,867,430	6,922,158	945,272	13.66
共済費	35,290,219	35,310,561	-20,342	-0.06
クリーンセンター管理運営費	218,515,243	218,809,875	-294,632	-0.13
クリーンセンター・利再来留館管理運営業務委託料	196,799,494	198,186,802	-1,387,308	-0.70
消耗品費	536,925	438,060	98,865	22.57
光熱水費	11,024,311	12,814,064	-1,789,753	-13.97
通信運搬費	3,035,438	3,071,216	-35,778	-1.16
保守点検委託料	320,100	312,400	7,700	2.46
警備委託料	196,284	196,284	0	0.00
機器等借上料	34,320	34,320	0	0.00
維持補修費	3,951,354	22,418	3,928,936	17525.81
整備工事費	2,356,299	0	2,356,299	皆増
撤去等工事費	0	3,516,585	-3,516,585	-100.00
職員研修費	17,000	0	17,000	皆増
車両管理費	0	0	0	-
諸経費	243,718	217,726	25,992	11.94
三多摩は一つなり交流事業費	499,400	499,400	0	0.00
三多摩は一つなり交流事業費	499,400	499,400	0	0.00
塵芥処理費	2,494,997,842	2,496,073,926	-1,076,084	-0.04
廃棄物減量及び再利用促進審議会運営費	2,882,600	2,280,840	601,760	26.38
審議会委員報酬	836,600	639,200	197,400	30.88
審議会支援委託料	2,046,000	1,641,640	404,360	24.63
塵芥収集費	828,720,756	796,240,108	32,480,648	4.08
消耗品費	445,551	366,091	79,460	21.70
印刷製本費	831,050	789,140	41,910	5.31
可燃ごみ収集運搬委託料	526,982,912	525,981,456	1,001,456	0.19
不燃ごみ収集運搬委託料	102,150,998	101,150,280	1,000,718	0.99
臨時収集運搬委託料	2,966,700	1,739,100	1,227,600	70.59
動物運搬処理委託料	4,372,236	4,426,334	-54,098	-1.22
指定収集袋作製・販売等委託料	184,925,717	156,775,951	28,149,766	17.96
特定廃棄物処理券作成費	2,444,750	1,650,550	794,200	48.12
不法投棄処理費	275,320	315,050	-39,730	-12.61
指定収集袋配布費	1,714,290	1,728,183	-13,893	-0.80
塵芥処理手数料過年度還付金	217,436	679,419	-461,983	-68.00
諸経費	1,393,796	638,554	755,242	118.27

区 分		令和5年度 決算額(円) a	令和4年度 決算額(円) b	増減額(円) c=a-b	増減率 (%) d=c/b
塵芥処理費	資源物収集費	907,270,112	910,048,700	-2,778,588	-0.31
	地域回収事業奨励金	33,850,068	38,081,712	-4,231,644	-11.11
	地域回収事業管理システム管理運営費	396,000	913,000	-517,000	-56.63
	ビン類収集運搬委託料	203,300,998	202,300,560	1,000,438	0.49
	ペットボトル収集運搬委託料	106,700,000	105,699,880	1,000,120	0.95
	ビン類搬送選別処理等委託料	34,861,827	37,361,676	-2,499,849	-6.69
	カン類収集運搬委託料	203,300,998	202,300,560	1,000,438	0.49
	プラスチック収集運搬委託料	203,300,998	202,300,560	1,000,438	0.49
	牛乳パック収集運搬委託料	3,199,812	3,199,812	0	0.00
	廃棄物等処分委託料	4,257,880	4,335,507	-77,627	-1.79
	粗大ごみ収集運搬等業務費	113,883,731	113,379,433	504,298	0.44
	使用済小型電子機器等再資源化事業	217,800	176,000	41,800	23.75
	ごみ減量運動費	30,000,150	30,708,455	-708,305	-2.31
	ごみ減量・再利用啓発費	1,106,705	1,233,521	-126,816	-10.28
	ごみ減量・分別・リサイクル広報費	4,600,922	4,001,783	599,139	14.97
	リサイクルカレンダー発行費	5,131,666	5,008,973	122,693	2.45
	ごみ分別アプリ管理運営費	528,000	528,000	0	0.00
	生ごみ処理装置等購入費補助金	5,811,200	2,189,100	3,622,100	165.46
	ごみ組成分析調査委託料	2,235,750	1,579,600	656,150	41.54
	一般廃棄物処理基本計画策定費	-	4,849,800	-4,849,800	皆減
	分別収集計画策定委託料	-	583,000	-583,000	皆減
	せん定枝資源化支援業務委託料	10,264,100	10,173,240	90,860	0.89
	ごみ減量リサイクル活動支援事業費	13,960	191,646	-177,686	-92.72
	生ごみ資源化調査費	28,580	0	28,580	皆増
	エコセメント普及啓発費	94,600	123,200	-28,600	-23.21
	諸経費	184,667	246,592	-61,925	-25.11
	災害廃棄物処理計画策定費	3,157,000	-	3,157,000	皆増
	災害廃棄物処理計画策定委託料	3,157,000	-	3,157,000	皆増
	塵芥処分費	711,403,600	743,192,800	-31,789,200	-4.28
	二枚橋衛生組合承継事務費等負担金	353,600	372,800	-19,200	-5.15
	ふじみ衛生組合負担金	287,283,000	326,119,000	-38,836,000	-11.91
	東京たま広域資源循環組合負担金	423,767,000	416,701,000	7,066,000	1.70
	塵芥収集車両費	11,563,624	13,603,023	-2,039,399	-14.99
	車両賃借料	9,102,720	11,479,710	-2,376,990	-20.71
	塵芥収集車両管理費	2,460,904	2,123,313	337,591	15.90
	し尿処理費	23,182,896	23,182,896	0	0.00
	し尿処理費	23,182,896	23,182,896	0	0.00
	し尿収集運搬委託料	23,182,896	23,182,896	0	0.00
合計		2,949,728,970	2,956,017,698	-6,288,728	-0.21

(3) 清掃事業費決算額の推移

(歳入)

(単位：円)

区分 \ 年度	元	2	3	4	5
衛生費負担金	-	-	-	-	-
総務使用料	4,680	4,680	4,680	4,680	4,680
衛生手数料	542,986,288	553,649,985	558,486,318	552,416,963	540,727,998
衛生費国庫補助金	13,675,000	-	-	-	-
衛生費都補助金	-	-	-	-	222,156
雑入	106,457,441	70,561,493	116,941,745	127,198,543	124,860,260
合計	663,123,409	624,216,158	675,432,743	679,620,186	665,815,094

(歳出)

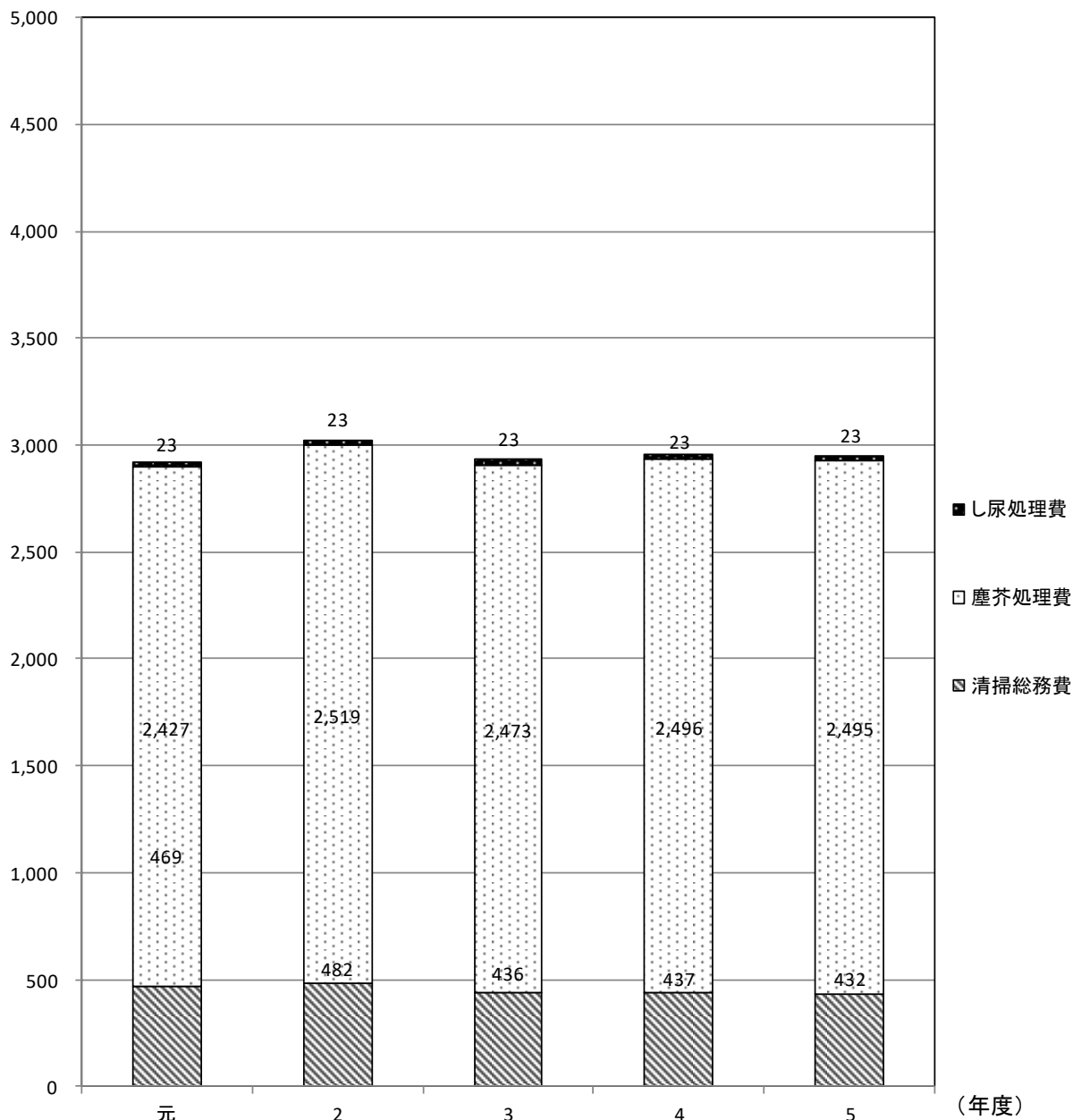
(単位：円)

区分 \ 年度	元	2	3	4	5
清掃総務費	468,971,049	481,524,332	435,585,289	436,760,876	431,548,232
一般職人件費	233,866,403	230,313,468	218,652,792	217,451,601	212,533,589
クリーンセンター 管理運営費	197,997,728	251,210,864	216,772,497	218,809,875	218,515,243
三多摩は一つなり 交流事業費	499,400	※ 0	※ 160,000	499,400	499,400
クリーンセンター 移転事業費	36,607,518	-	-	-	-
塵芥処理費	2,426,790,738	2,518,959,747	2,473,260,660	2,496,073,926	2,494,997,842
廃棄物減量及び再利用 促進審議会運営費	2,286,400	2,220,200	2,540,200	2,280,840	2,882,600
塵芥収集費	777,590,809	783,054,988	782,700,481	796,240,108	828,720,756
資源物収集費	871,055,235	888,553,012	898,145,503	910,048,700	907,270,112
ごみ減量運動費	31,718,449	25,419,311	29,603,416	30,708,455	30,000,150
ビン積替施設費	1,161,707	-	-	-	-
災害廃棄物処理計画 策定費	-	-	-	-	3,157,000
塵芥処分費	732,954,740	812,765,900	745,726,700	743,192,800	711,403,600
塵芥収集車両費	10,023,398	6,946,336	14,544,360	13,603,023	11,563,624
し尿処理費	23,243,238	23,182,368	23,181,400	23,182,896	23,182,896
し尿処理費	23,243,238	23,182,368	23,181,400	23,182,896	23,182,896
合計	2,919,005,025	3,023,666,447	2,932,027,349	2,956,017,698	2,949,728,970

※ コロナ禍により事業中止（3年度は準備経費のみ支出）

【決算額の推移（歳出）】

（百万円）



元
本稼働
新クリーンセンター

2
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う
自粛生活等による家庭ごみ量の増

3
新たな生活様式の定着
ごみ量の増加傾向

4
原油価格高騰による
指定収集袋の作製等単価増

5
新型コロナウイルス感染症の5類移行
物価高騰による買い控え
ごみ量の減少傾向

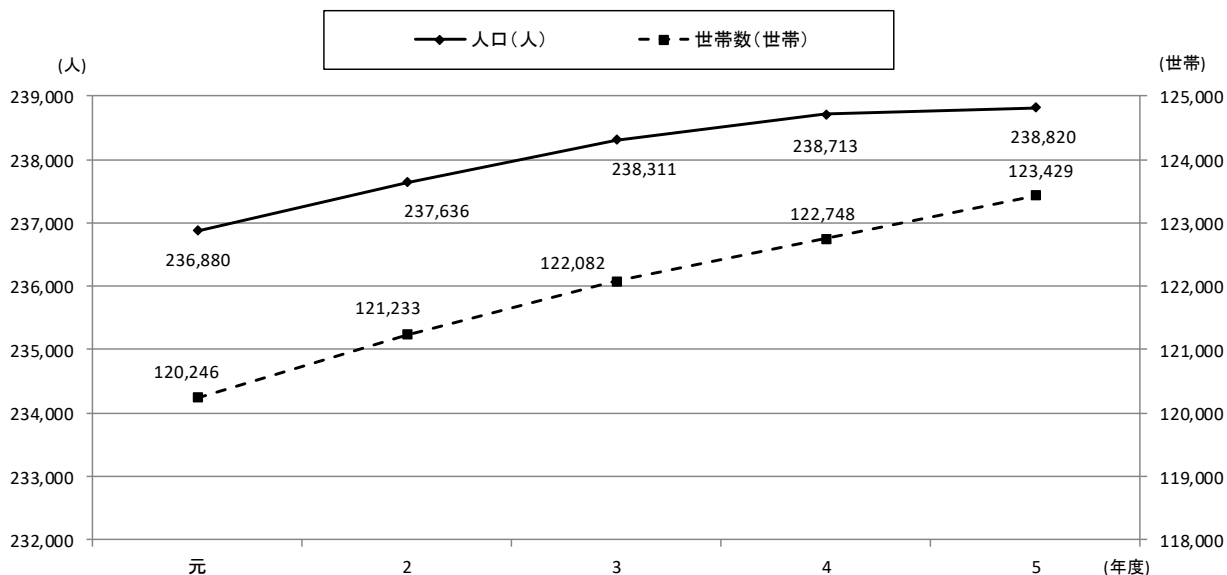
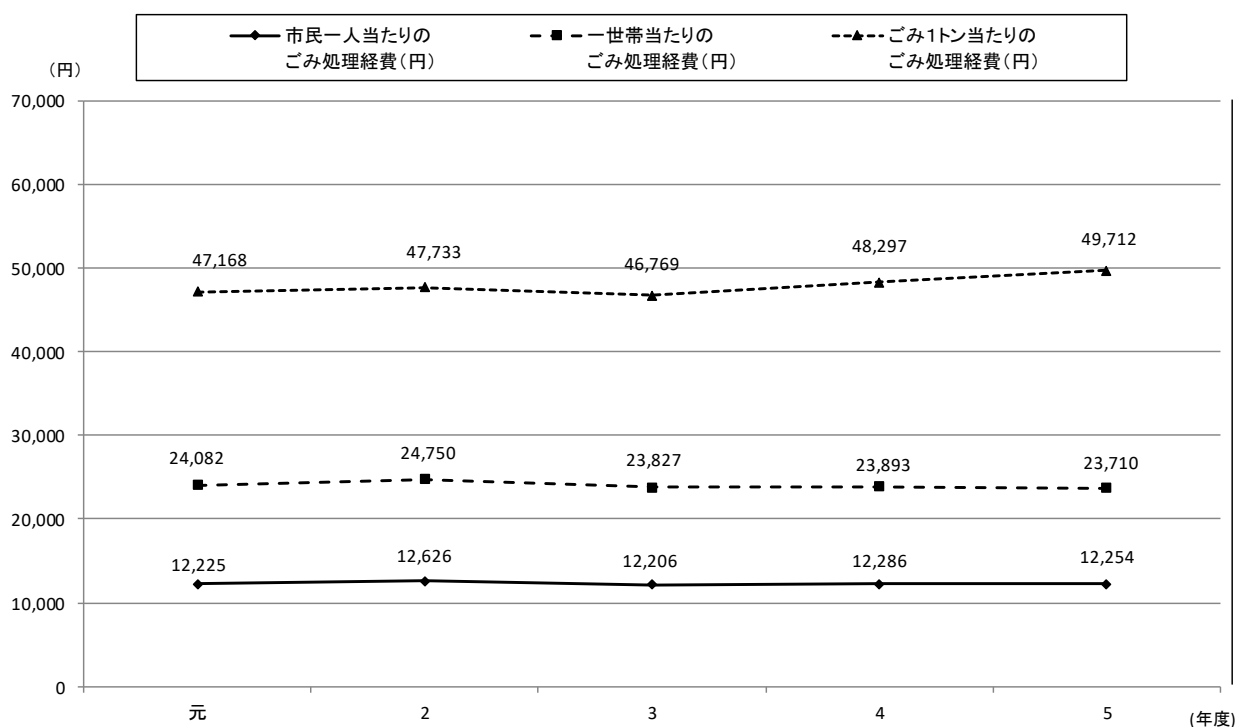
（年度）

(4) 人口・世帯数・ごみ量別清掃事業費

項 目 \ 年 度	元	2	3	4	5
人口（人）	236,880	237,636	238,311	238,713	238,820
市民一人当たりの ごみ処理経費（円）	12,225	12,626	12,206	12,286	12,254
世帯数（世帯）	120,246	121,233	122,082	122,748	123,429
一世帯当たりの ごみ処理経費（円）	24,082	24,750	23,827	23,893	23,710
総ごみ量（kg）	61,393,125	62,859,296	62,196,002	60,724,879	58,870,530
ごみ1トン当たりの ごみ処理経費（円）	47,168	47,733	46,769	48,297	49,712

※①人口・世帯は、各年度10月1日現在

②ごみ処理経費は、清掃事業費から、し尿処理費を除く。



(5) 処理処分施設負担金

(単位：千円)

年度 項目		元	2	3	4	5
ふじみ衛生組合	均 等 割	-27,540	87,454	31,181	71,938	83,408
	処 理 量 割	278,035	276,232	306,593	254,181	203,875
	計	250,495	363,686	337,774	326,119	287,283
	負担金総額（構成市全体）	486,721	702,332	668,811	640,326	567,307
	負 担 率 （ % ）	51.5	51.8	50.5	50.9	50.6
東京たま広域資源循環組合	管 理 費	20,291	20,994	24,693	22,450	22,053
	事 業 費	449,431	429,930	385,978	396,210	402,415
	精 算 額	-3,942	-2,262	-3,115	-1,959	-701
	計	465,780	448,662	407,556	416,701	423,767
	負担金総額（構成市全体）	9,330,000	8,640,000	7,820,000	7,820,000	7,820,000
	負 担 率 （ % ）	5.0	5.2	5.2	5.3	5.4
負担金合計		716,275	812,348	745,330	742,820	711,050

(6) 収集運搬費

(単位：円)

年度 項目	元	2	3	4	5
可燃ごみ収集運搬委託料	515,456,640	520,185,600	522,269,000	525,981,456	526,982,912
不燃ごみ収集運搬委託料	99,130,704	100,040,160	100,436,600	101,150,280	102,150,998
ビン類収集運搬委託料	198,261,408	200,080,320	200,871,000	202,300,560	203,300,998
ペットボトル収集運搬委託料	101,574,048	102,505,920	102,909,400	105,699,880	106,700,000
カン類収集運搬委託料	198,261,408	200,080,320	200,871,000	202,300,560	203,300,998
プラスチック収集運搬委託料	198,261,408	200,080,320	200,871,000	202,300,560	203,300,998
粗大ごみ収集運搬委託料	72,374,256	73,038,240	85,837,400	99,333,960	113,883,731
牛乳パック収集運搬委託料	3,041,100	3,148,992	3,199,812	3,199,812	3,199,812
合計	1,386,360,972	1,399,159,872	1,417,265,212	1,442,267,068	1,462,820,447

(7) 家庭系指定収集袋の作成枚数及び塵芥処理手数料

年 度			元	2	3	4	5
項目							
燃やせるごみ	S 袋	作製枚数	2, 513, 500	2, 562, 000	2, 537, 500	2, 617, 000	2, 420, 500
		金額 (円)	21, 113, 400	21, 520, 800	21, 315, 000	21, 982, 800	20, 332, 200
	M 袋	作製枚数	4, 223, 500	4, 291, 000	4, 260, 500	4, 243, 500	4, 085, 000
		金額 (円)	115, 301, 550	117, 144, 300	116, 311, 650	115, 847, 550	111, 520, 500
	L 袋	作製枚数	2, 125, 500	2, 253, 500	2, 269, 000	2, 298, 500	2, 231, 500
		金額 (円)	118, 177, 800	125, 294, 600	126, 156, 400	127, 796, 600	124, 071, 400
	L L 袋	作製枚数	811, 800	873, 000	896, 800	908, 200	919, 800
		金額 (円)	68, 191, 200	73, 332, 000	75, 331, 200	76, 288, 800	77, 263, 200
	小計	作製枚数	9, 674, 300	9, 979, 500	9, 963, 800	10, 067, 200	9, 656, 800
		金額 (円)	322, 783, 950	337, 291, 700	339, 114, 250	341, 915, 750	333, 187, 300
燃やせないごみ	S 袋	作製枚数	277, 500	278, 000	272, 000	282, 500	238, 500
		金額 (円)	2, 331, 000	2, 335, 200	2, 284, 800	2, 373, 000	2, 003, 400
	M 袋	作製枚数	393, 000	379, 500	365, 000	356, 000	306, 500
		金額 (円)	10, 728, 900	10, 360, 350	9, 964, 500	9, 718, 800	8, 367, 450
	L 袋	作製枚数	303, 500	328, 500	304, 000	298, 500	247, 500
		金額 (円)	16, 874, 600	18, 264, 600	16, 902, 400	16, 596, 600	13, 761, 000
	L L 袋	作製枚数	269, 400	291, 800	277, 400	255, 600	256, 800
		金額 (円)	22, 629, 600	24, 511, 200	23, 301, 600	21, 470, 400	21, 571, 200
	小計	作製枚数	1, 243, 400	1, 277, 800	1, 218, 400	1, 192, 600	1, 049, 300
		金額 (円)	52, 564, 100	55, 471, 350	52, 453, 300	50, 158, 800	45, 703, 050
合計		作製枚数	10, 917, 700	11, 257, 300	11, 182, 200	11, 259, 800	10, 706, 100
		金額 (円)	375, 348, 050	392, 763, 050	391, 567, 550	392, 074, 550	378, 890, 350

【参考】減免処理状況

(単位：件)

区 分	元	2	3	4	5
生活保護受給世帯等 (累計) ※	3, 634	3, 728	※ 2, 637	2, 579	2, 506
高齢者等	6, 984	7, 102	7, 265	7, 504	7, 862
身体障害者等	325	317	330	328	318

上記のほか、道路、公園の清掃活動用のボランティア袋、育児、介護用のおむつ袋を交付した。

※ 生活保護受給世帯等については、令和2年度までは2回／年交付し、累計人数を記載していたが、令和3年度以降は1回／年の交付とした。

(8) 売払・頒布代金内訳

(単位：円)

品 目 \ 年 度	元	2	3	4	5
スチール缶	4,781,883	5,290,153	9,389,193	9,818,589	8,336,185
アルミ缶	44,804,109	46,148,432	81,470,048	88,286,099	81,276,910
生ビン	132,004	135,193	138,267	115,739	126,767
新聞	2,676,946	987,448	938,443	741,858	1,056,441
雑誌 ※1	21,947,974	1,730,335	－	1,489,225	5,233,145
段ボール	12,856,139	6,313,779	6,302,541	8,208,046	7,983,122
シュレッダー紙	192,009	98,402	85,108	85,748	83,155
真鍮	151,683	126,603	130,309	228,897	240,025
銅	255,891	462,170	933,079	797,739	1,276,863
アルミニウム	412,530	592,636	1,343,737	1,181,251	1,398,980
粗大鉄	3,634,985	5,312,065	12,048,872	10,877,130	11,775,137
牛乳パック	134,035	133,485	125,290	114,180	108,680
古布	9,874,943	1,301,057	142,220	1,184,739	2,658,866
羽毛布団	345,585	272,624	260,645	196,416	343,288
家電等コード類	167,611	120,824	108,350	118,140	127,094
家電等モーター・トランス	123,704	164,065	163,801	220,880	157,960
家電等基板読取部	29,172	23,633	18,656	19,855	18,865
家電等ハードディスク	8,058	6,116	5,269	5,280	5,137
家電等金属樹脂 ※2	1,364	－	－	－	－
家電等プラスチック ※2	38	－	－	－	－
冷風機 ※2	516	－	－	－	－
使用済小型家電	127,081	116,182	126,280	103,400	100,100
粗大ごみリサイクル品 ※3	2,539,200	175,400	1,189,400	1,006,500	198,000
合 計	105,197,460	69,510,602	114,919,508	124,799,711	122,504,720

※1 雑誌の売却は、令和2年7月から無償、令和5年1月から有償となった。

※2 令和2年3月から逆有償となった。

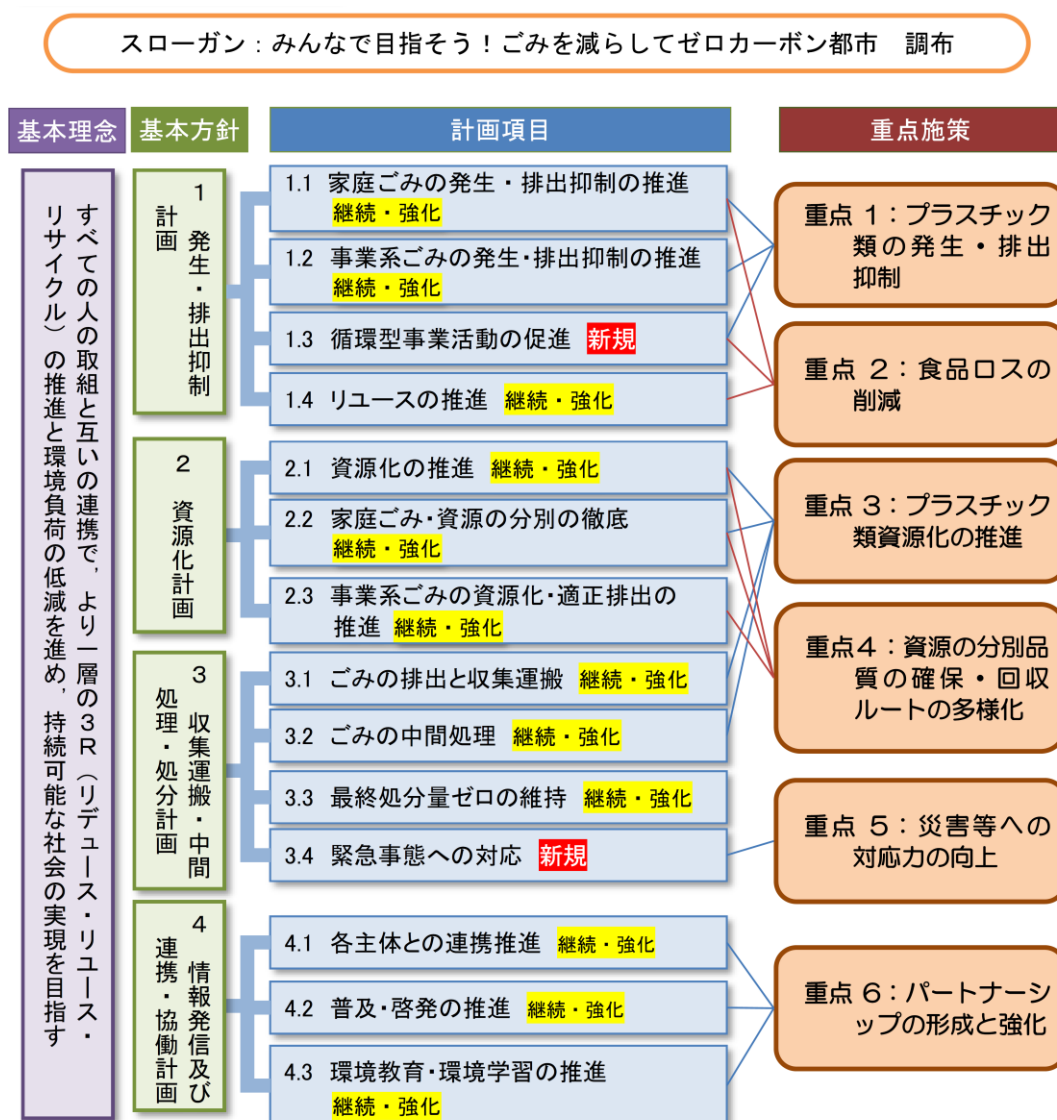
※3 利再来留館は新型コロナウイルス感染症対策への利用に伴い、令和2年4月7日から令和3年11月11日まで休館。令和4年9月16日から、中央自動車道高井戸IC～稲城IC間橋梁耐震補強工事に伴い休館（購入件数及び売払収入には、令和3年4月、令和4年10月、令和5年6月及び令和6年2月開催の臨時展示販売会の実績を含む。）

6 一般廃棄物処理基本計画（第3次）

一般廃棄物処理基本計画（第3次）（以下「基本計画」という。）は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第6条第1項に基づき、市町村の一般廃棄物処理に係る長期的な方針を定めるもの。

令和5年3月に策定した現計画は、令和5年度から令和12年度までの8年間を計画期間とし、ごみの発生・排出抑制を最優先とした3Rの推進及び廃棄物の適正かつ安定処理を継続するとともに、低炭素・循環型社会の形成に向けた取組を進めていくこととしている。

<計画の体系>



現計画では，４つの基本方針及び６つの重点施策に基づき，次のとおり
３つの数値目標を設定している。令和５年度実績については以下のとおり。

《数値目標１ 総ごみ原単位》

令和５年度	最終年度目標値 令和１２年度
６７３．５ｇ／人日	６８８ｇ／人日

《数値目標２ 二酸化炭素（ＣＯ２）削減量※》

※令和３年度（１１，６６６ｔ）基準

令和５年度	最終年度目標値 令和１２年度
１１，７２２ｔ	８，７１８ｔ

《数値目標３ 最終処分量》

令和５年度	最終年度目標値 令和１２年度
ゼロ	ゼロ

7 令和5年度 一般廃棄物処理実施計画

1 目的

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）に基づく一般廃棄物処理計画において、基本計画に当たる調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）（以下「基本計画」という。）を令和5年3月に策定した。その基本理念を「すべての人の取組と互いの連携で、より一層の3Rの推進と環境負荷の低減を進め、持続可能な社会の実現を目指す」と定めており、それぞれの目標値を達成するために、市民、事業者、各種団体と市が協働して廃棄物対策に継続して取り組む。

本計画は、一般廃棄物処理実施計画として、基本計画に基づき単年度の事業計画を定めるものである。

2 計画区域

調布市全域

3 計画期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

4 人口

調布市の人口見込み（令和5年10月1日時点）

239,823人

5 一般廃棄物の種類並びに収集・運搬計画及び処理計画

種 別 の 区 分			収 集 ・ 運 搬 計 画			処 理 計 画					
			収集 ・運搬量	主体	収集 区域	収集回数	収集 方法	中 間 処 理		最 終 処 理	
								主体	処理方法	主体	処理方法
ごみ	家庭系廃棄物（小規模事業所を含む。）	燃やせるごみ	27,800 ト	市 全 域	毎週2回	戸別収集 （※1）	ふじみ衛生組合 （クリーンプラザふじみ）	焼却	東京たま広域資源 循環組合	（焼却残渣） エコセメント化	
			燃やせないごみ		3,300 ト			隔週1回 （※3）		ふじみ衛生組合 （リサイクルセンター）	破碎・選別
		資源物	古紙		8,600 ト		毎週1回	市	選別		民間業者
			布類		1,300 ト			市			
			空き瓶		2,000 ト			市			
			空き缶		700 ト			市			
			ペットボトル		1,100 ト			ふじみ衛生組合 （リサイクルセンター）			
		容器包装プラスチック	4,300 ト		毎週1回 （※4）		ふじみ衛生組合 （リサイクルセンター）	資源化			
		小型電子機器等	4 ト		随時		市				
		有害ごみ	90 ト		隔週1回 （※3）		ふじみ衛生組合 （リサイクルセンター）		選別	委託業者（野村興産） （可燃系） 東京たま広域資源 循環組合	（焼却残渣） エコセメント化
	家庭系廃棄物	粗大ごみ	2,100 ト	随時	戸別収集 （※1） ・持込み	市	破碎・選別		（不燃系） ふじみ衛生組合 （リサイクルセンター） （鉄類） 民間業者 （羽毛布団） 民間業者	（破碎・選別残渣） クリーンプラザふじみ にて焼却	資源化
									資源化		
								資源化			
								資源化			
								資源化			
廃事業系 廃棄物系	拠点回収（紙パック）	30 ト	随時	拠点回収	市	選別	民間業者	資源化			
	集団回収	3,500 ト		—	民間業者	資源化					
	事業系可燃物	7,600 ト		—	ふじみ衛生組合 （クリーンプラザふじみ）	焼却	東京たま広域資源 循環組合	（焼却残渣） エコセメント化			
	事業系食品残さ	40 ト		—	株式会社アイル・クリーニング ック	堆肥化	—	—			
動物死体（※2）	戸別収集	600 体	随時	戸別収集	市	—	委託（慈恵院）	火葬			
	し尿	400 ト		戸別収集 ・持込み	市	希釈放流方式	東京都	再生処理			

（※1） 集合住宅における家庭系廃棄物の収集方法は、集積所収集とする。 （※2） 占有者又は管理者は自らの責任で行う。

（※3） 7月から9月までは4週に1回 （※4） 7月から9月までは4週に3回

備考 条例第34条第1項に規定する所定の場所は，次の表のとおりとする。ただし，調布市ふれあい収集実施要綱（平成16年調布市要綱第1号）に基づくふれあい収集の利用者にあつては，原則として当該利用者の住戸の入口付近の当該住戸の敷地内又は当該利用者の住戸内とする。

区分	収集方法	排出場所
戸建住宅	戸別収集	各住戸の敷地と道路（私道を含む。）の境界付近の当該敷地内
集合住宅	集積所収集	当該集合住宅の敷地内に設けられた集積所
少量排出事業所	戸別収集	各事業所の敷地と道路（私道を含む。）の境界付近の当該敷地内

注1 この表において「集合住宅」とは，共同住宅，長屋，寄宿舍，下宿その他これらに類する用途に供する建築物をいう。

注2 この表において「少量排出事業所」とは，調布市一般廃棄物の保管場所に関する要綱（平成16年調布市要綱第3号）第7第4項の規定により，収集，運搬及び処分の実施の決定を受けた事業所をいう。

注3 戸別収集及び集積所収集の収集日は，全戸に配布する「調布市ごみリサイクルカレンダー」記載のとおりとする。

6 調布市一般廃棄物処理基本計画目標値

（市民1人1日当たりの総ごみ量）

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目 標	—	—	704グラム
実 績	715グラム	見込み 708グラム	—

目標年度	令和8年度 （中間目標年度）	令和12年度 （最終目標年度）
目 標	693グラム	688グラム
実 績	—	—

7 基本計画推進のための施策

調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）を推進し、さらなるごみ減量・リサイクルに取り組むため、以下の方策を実施する。

1 徹底したごみの発生・排出抑制に向けた取組の展開

- ・1.1 家庭ごみの発生・排出抑制の推進
- ・1.2 事業系ごみの発生・排出抑制の推進
- ・1.3 循環型事業活動の促進
- ・1.4 リユースの推進

2 さらなる資源化の推進

- ・2.1 資源化の推進
- ・2.2 家庭ごみ・資源の分別の徹底
- ・2.3 事業系ごみの資源化・適正排出の推進

3 適正な処理体制の維持

- ・3.1 ごみの排出と収集運搬
- ・3.2 ごみの中間処理
- ・3.3 最終処分量ゼロの維持 最終処分量ゼロの維持
- ・3.4 緊急事態への対応

4 市民・事業者・各種団体との連携・協働の推進

- ・4.1 各主体との連携推進
- ・4.2 普及・啓発の推進
- ・4.3 環境教育・学習の推進 環境教育・学習の推進

8 収集・運搬を行わない一般廃棄物等の品目及び処理（処分）の方法

品目	種類	処理及び処分の方法
エアコン，テレビ（ブラウン管式，液晶式及びプラズマ式），電気冷蔵庫及び電気冷凍庫並びに電気洗濯機及び衣類乾燥機	特定家庭用機器再商品化法（平成10年法律第97号）に基づく特定家庭用機器廃棄物	購入した販売店，一般財団法人家電製品協会等に処理を申し込むこと。
廃パーソナルコンピュータ及びディスプレイ	資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）に基づくもの	製造業者，一般社団法人パソコン3R推進協会等に処理を申し込むこと。

廃棄自動車及び二輪車 （原動機付自転車を含む。）	使用済自動車の再資源化等に関する法律（平成14年法律第87号）並びに国内二輪車メーカー及び輸入業者の自主的取組である二輪車リサイクルシステムに基づくもの	自動車の場合は，都道府県知事等の登録等を受けた販売事業者，自動車整備事業者等の引取業者に処理を申し込むこと。二輪車の場合は，廃棄二輪車取扱店又は指定引取場所に処理を申し込むこと。
農薬，試薬，毒物，劇物等の薬品類	危険性のあるもの	製造業者，購入した販売店又は専門業者等に処分を依頼すること。
医療系廃棄物（注射針，自己注射針（使い捨てペン型インスリン注入器，採血用せん刺針，血糖測定テスター等），自己注射以外の注射針（医療用注射針，点滴針等），血液や体液が大量に付着したもの等）		
消火器及び可燃性ガス等の圧力容器		
バッテリー（モバイルバッテリーを除く。）		
石油類（ガソリン，灯油，軽油，エンジンオイル，機械油等）及び液体（ペンキ，現像液等）		
その他市長が認めるもの		
ピアノ，エレクトーン及びオルガン	処理を著しく困難にし，又は処理施設の機能に支障が生ずるもの	製造業者，購入した販売店又は専門業者等に処分を依頼すること。
直径が8センチメートル以上又は長さが40センチメートル以上の枝木及び厚さが8センチメートル以上の木製品		
自動車及び二輪車（原動機付自転車を含む。）の部品		
瓦れき類（モルタル，コンクリート，ブロック，レンガ，タイル等），石（砂利，墓石，漬物石，庭石等），土砂及びセメント		

家屋の改装等に伴うごみ (柱, 床材, 畳, 壁材, 壁紙, 断熱材, 耐火ボ ード, 石こうボード等の建 築廃材及び建具, キッチン, 風呂, 洗面, トイ レ, 給湯器, ビルトイン 型家電製品, ソーラーシ ステム等の住宅設備等)	
耐火金庫, ボウリングの 球及びF R P製品	
粗大ごみより大きいごみ (最大辺又は径が250 センチメートル以上のも の)	
その他市長が認めるもの	

9 一般廃棄物処理施設一覧

(1) 中間処理施設

	施設名	処理能力	処理方法	運営主体
燃やせるごみ	クリーンプラザふじみ	144トン／24時間 ×2基	焼却	ふじみ衛 生組合
	調布市深大寺東町7丁目50番地30			
燃やせない ごみ・粗大 ごみ	ふじみ衛生組合リサイ クルセンター	35.5トン／5時間 ×2基 破砕機 3トン／5時間 容器包装プラスチック と共用	破砕・選別	ふじみ衛 生組合
	調布市深大寺東町7丁目50番地30			
空き瓶	調布市クリーンセンタ ー	9.4トン／5時間	選別・積替・ 保管	市
	調布市野水2丁目1番地1			
空き缶	調布市クリーンセンタ ー	2.9トン／5時間	選別・圧縮・ 保管	市
	調布市野水2丁目1番地1			
ペットボト ル	ふじみ衛生組合リサイ クルセンター	7.5トン／5時間	選別・圧縮・ 梱包	ふじみ衛 生組合
	調布市深大寺東町7丁目50番地30			
容器包装プ ラスチック	ふじみ衛生組合リサイ クルセンター	不燃ごみ処理能力に準 拠	選別・圧縮・ 梱包	ふじみ衛 生組合
	調布市深大寺東町7丁目50番地30			
事業系食品 残さ(生ご み)	株式会社アイル・クリ ーンテック寄居工場	108トン／24時間	堆肥化	株式会社 アイル・ クリーン テック
	埼玉県大里郡寄居町大字三ヶ山328番地			

し尿	調布市クリーンセンター	—	希釈放流方式	市
	調布市野水 2 丁目 1 番地 1			

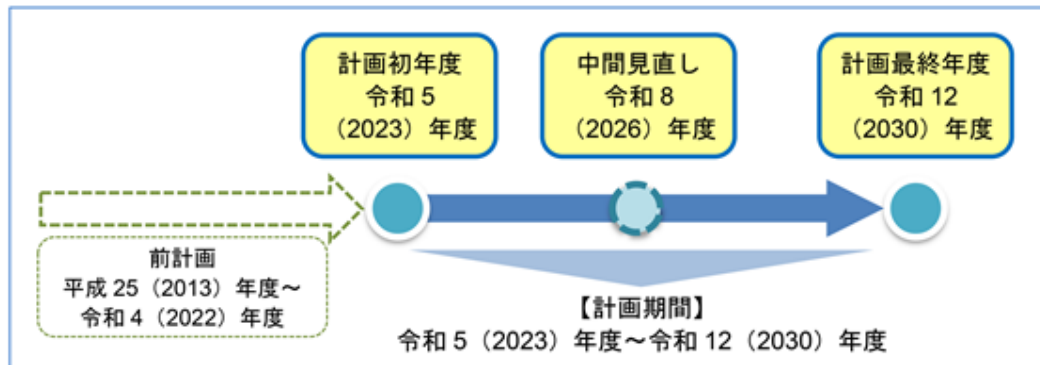
(2) 最終処分施設

	施設名	処理方法	運営主体
焼却残さ (焼却灰)	二ツ塚廃棄物広域処分場内エコセメント化施設	エコセメント化	東京たま 広域資源 循環組合
	西多摩郡日の出町大字大久野 7 6 4 2 番地 (二ツ塚処分場内)		
廃乾電池及 び廃蛍光管	野村興産株式会社イトムカ鉱業所	資源化	野村興産 株式会社
	北海道北見市留辺蘂町富士見 2 1 7 番地 1		
動物死体	宗教法人慈恵院附属多摩犬猫霊園	火葬	宗教法人 慈恵院
	府中市浅間町 2 丁目 1 5 番地 1		

8 令和5年度の特徴

1 調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）（P.19参照）

令和5年度から令和12年度の8年間を計画期間とする，調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）が開始した。計画目標を「総ごみ原単位の削減」「二酸化炭素排出量の削減」「最終処分量ゼロの継続」を達成するため，廃棄物減量及び再利用促進審議会から意見をいただきつつ，4つの基本方針及び6つの重点施策に基づく，各施策を展開した。



調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）の計画期間

2 調布市災害廃棄物処理計画の策定（P.59参照）

災害時に発生する災害廃棄物を迅速かつ適正に処理するための計画を策定したもの

令和6年3月，災害に伴い発生する廃棄物の処理体制を確保し，適正に処理することにより，市民生活環境の保全，公衆衛生上の支障を防止し，早期の復旧・復興に資するとともに，都市の持続性を確保すること及び発災後に想定される事態を平常時からあらかじめ想定しておくことにより，発災初動期の混乱を最小限にとどめることを目的として策定した。

3 第7回エコフェスタちょうふの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため，令和3年度から開催を延期していた第7回エコフェスタちょうふを令和元年度以降，4年ぶりに開催した。調布市と廃棄物減量及び再利用促進審議会が主催し，株式会社調布清掃，株式会社吉野清掃，むさし野紙業株式会社共催のもと，新たな取組としてごみ収集車両の展示・乗車体験を実施するなど，約250人が来場した。



車両展示の様子

4 夏季のペットボトルと燃やせないごみ（有害ごみ）の収集回数の変更

夏季のペットボトル排出量の増加に対応するため，令和4年度までは7月と8月の2か月に限り，ペットボトルの収集回数を臨時的に増やして対応していたが，令和5年度からは7月から9月までペットボトルの収集回数を4週に3回とし，また，燃やせないごみ（有害ごみ）の収集回数を4週に1回とした。

9 ごみ処理事業

(1) 収集作業形態

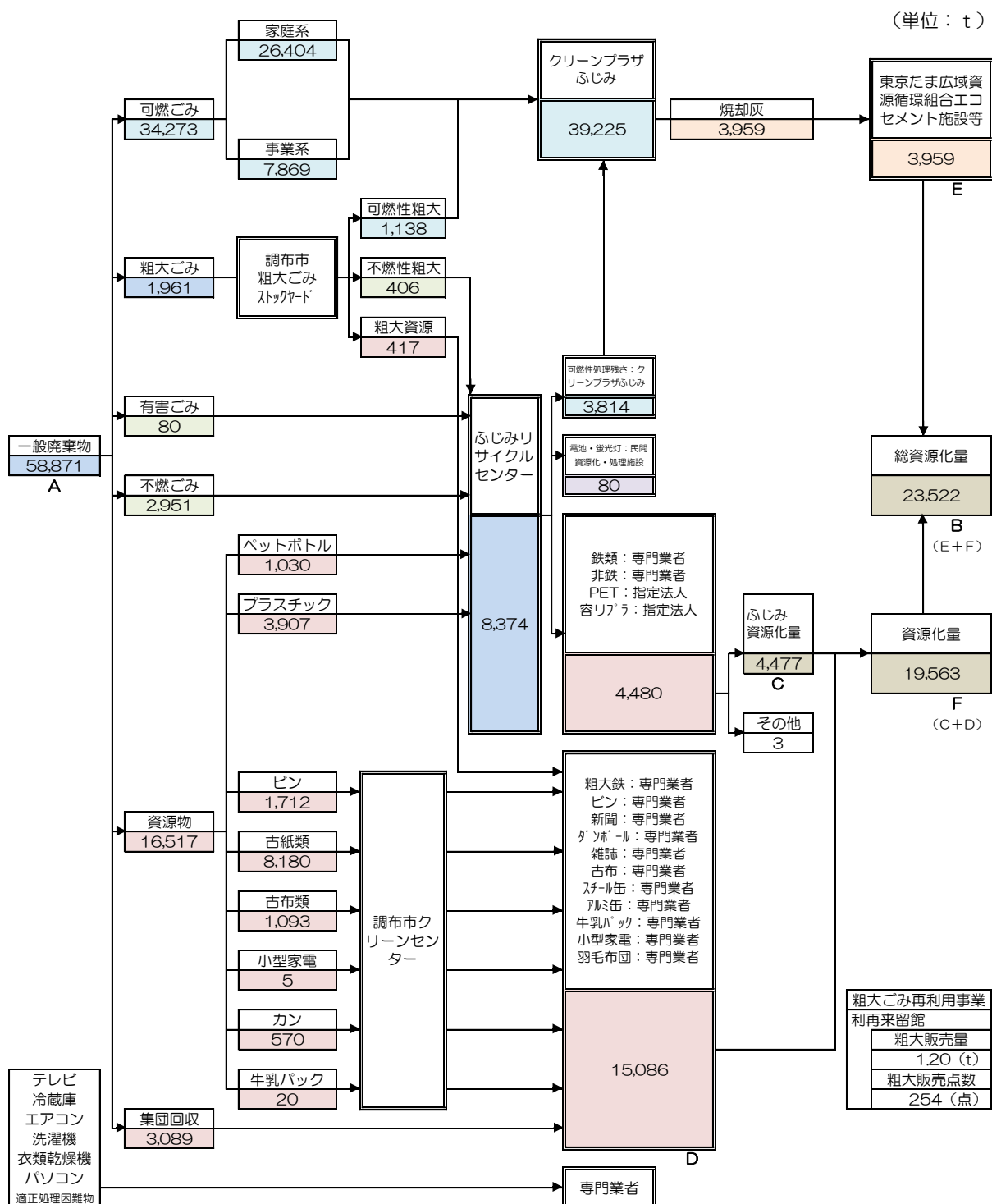
分 類		種 別	収集形態	委託収集 車両台数	収集方法	収集回数	排出方法
燃やせるごみ			委託（2業者）	26台	戸別収集	週2回	指定収集袋（有料）
燃やせないごみ			委託（2業者）	10台	戸別収集	隔週1回 （夏季7～9月は4週に1回）	指定収集袋（有料）
有害ごみ			委託（2業者）		戸別収集	隔週1回 （夏季7～9月は4週に1回）	容器
資源物							
古紙 古布			委託（2業者）	※	戸別収集	週1回	紙袋またはひも掛け 透明もしくは半透明の袋
カン			委託（2業者）	10台	戸別収集	週1回	容器
ビン			委託（2業者）	10台	戸別収集	週1回	容器
シュレッダー紙			委託（2業者）		戸別収集	週1回	透明もしくは半透明の袋
ペットボトル			委託（2業者）	10台	戸別収集	隔週1回 （夏季7～9月は4週に3回）	容器
容器包装プラスチック			委託（2業者）	10台	戸別収集	週1回	透明もしくは半透明の袋
牛乳パック			委託（1業者）	3台	拠点回収	随時	回収ボックス（51箇所）
小型家電			－	－	拠点回収	随時	回収ボックス（8箇所）
小型充電式電池			－	－	拠点回収	随時	回収ボックス（4箇所） 電器店、スーパー、ホーム センター等の協力店
インクカートリッジ			－	－	拠点回収	随時	回収ボックス（18箇所）
使い捨てコンタクトレ ンズ空ケース			－	－	拠点回収	随時	回収ボックス（17箇所） コンタクトのアイシティ店舗
粗大ごみ			委託（2業者）	4台	戸別収集	随時（申込制）	処理券（有料）貼付
動物死体			委託（2業者）	2台	戸別収集	随時（申込制）	処理券（有料）
し尿			委託（2業者）	2台	戸別収集	随時（申込制）	処理券（有料）
せん定枝 （資源化支援事業）			委託（1業者）	1台	－	随時（申込制）	枝を同じ方向に向け 直径30cm程度の束にして

※ビン以外の委託車両で対応

(2) ごみ収集運搬の現況

収集地区	町名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	仙川町, 国領町, 緑ヶ丘, 若葉町, 入間町	燃やせないごみ 有害ごみ（隔週。 夏季7～9月は4週 に1回） ペットボトル （隔週。夏季7～9 月は4週に3回）	燃やせるごみ 枝・草・葉 カン	古紙 古布	容器包装プラス チック	燃やせるごみ 枝・草・葉 ビン シュレッター紙
2	西つつじヶ丘, 野水, 東つつじヶ丘, 西町, 飛田給, 富士見町, 菊野台, 上石原	燃やせるごみ 枝・草・葉 ビン シュレッター紙	燃やせないごみ 有害ごみ（隔週。 夏季7～9月は4週 に1回） ペットボトル （隔週。夏季7～9 月は4週に3回）		燃やせるごみ 枝・草・葉 カン	容器包装プラス チック
3	深大寺東町, 深大寺北 町, 深大寺南町, 深大 寺元町, 布田, 染地	燃やせるごみ 枝・草・葉 カン	容器包装プラス チック		燃やせるごみ 枝・草・葉 ビン シュレッター紙	燃やせないごみ 有害ごみ（隔週。 夏季7～9月は4週 に1回） ペットボトル （隔週。夏季7～9 月は4週に3回）
4	調布ヶ丘, 柴崎, 八雲台, 小島町, 多摩川, 下石原, 佐須町	容器包装プラス チック	燃やせるごみ 枝・草・葉 ビン シュレッター紙		燃やせないごみ 有害ごみ（隔週。 夏季7～9月は4週 に1回） ペットボトル （隔週。夏季7～9 月は4週に3回）	燃やせるごみ 枝・草・葉 カン

(3) 令和5年度ごみ処理システム・実績 フロー図



※1 総資源化率＝総資源化量／一般廃棄物（総ごみ量）
 ※2 単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合あり。

B/A＝ 40.0%

(4) ごみ量

ア 令和5年度収集量状況

種別	形態	収集量(t)		増減(t)	総ごみ量(I)に 占める割合 (%)
		5年度	4年度		
燃やせるごみ (A)	家庭系	26,404	27,227	-823	44.85
	事業系・不定期	7,869	7,748	121	13.37
	(小計)	34,273	34,974	-701	58.22
燃やせない ごみ (B)	燃やせないごみ	2,951	3,101	-150	5.01
	有害ごみ	80	83	-3	0.14
	(小計)	3,030	3,184	-154	5.15
粗大ごみ (C)	可燃性粗大ごみ	1,138	1,224	-86	1.93
	不燃性粗大ごみ	406	427	-21	0.69
	粗大資源(D)	417	437	-20	0.71
	(小計)	1,961	2,087	-126	3.33
資源物 (E)	古紙類	8,180	8,650	-470	13.89
	古布類	1,093	1,176	-83	1.86
	ビン	1,712	1,782	-70	2.91
	カン	570	601	-31	0.97
	ペットボトル	1,030	1,002	28	1.75
	プラスチック	3,907	4,045	-138	6.64
	牛乳パック	20	21	-1	0.03
	小型家電	5	5	0	0.01
	(小計)	16,517	17,281	-764	28.06
収集量 合計(F)=(A)+(B)+(C)+(E)		55,781	57,527	-1,746	94.75
集団回収 (G)	古紙類	2,604	2,723	-119	4.42
	古布類	282	267	15	0.48
	ビン	64	66	-2	0.11
	カン (スチール)	32	31	1	0.05
	カン (アルミ)	91	94	-3	0.15
	牛乳パック	16	17	-1	0.03
	(小計)	3,089	3,198	-109	5.25
総資源物量(粗大資源+ 資源物+集団回収) 合計(H)=(D)+(E)+(G)		20,023	20,916	-893	34.01
総ごみ量(燃やせるごみ+燃やせないごみ等+ 粗大ごみ+資源物+集団回収) 合計(I)=(F)+(G)		58,871	60,725	-1,854	100.00

※単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合あり

イ 収集量の推移

(単位：t)

種 別	形態	収集量									
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
燃やせる ごみ (A)	家庭系	26,671	26,787	26,515	26,608	26,591	27,455	28,351	27,920	27,227	26,404
	事業系・不定期	5,334	5,492	5,841	6,164	6,406	7,104	6,769	7,429	7,748	7,869
	(小 計)	32,005	32,279	32,356	32,771	32,997	34,560	35,120	35,349	34,974	34,273
燃やせない ごみ等 (B)	燃やせないごみ	3,664	3,630	3,489	3,419	3,467	3,377	3,655	3,365	3,101	2,951
	有害ごみ	81	79	78	86	88	92	95	87	83	80
	(小 計)	3,745	3,710	3,567	3,505	3,555	3,469	3,750	3,452	3,184	3,030
粗大ごみ (C)	可燃性粗大ごみ	929	989	843	888	882	1,023	1,031	1,159	1,224	1,138
	不燃性粗大ごみ	154	156	334	310	393	381	420	431	427	406
	粗大資源(D)	403	362	361	362	365	441	459	475	437	417
	(小 計)	1,486	1,507	1,537	1,559	1,639	1,845	1,909	2,066	2,087	1,961
資源物 (E)	古紙類	10,329	10,565	9,850	9,523	9,285	9,114	9,324	8,869	8,650	8,180
	古布類	1,179	1,232	1,147	1,143	1,161	1,218	1,383	1,293	1,176	1,093
	ビン	1,904	1,967	1,950	1,914	1,827	1,776	1,960	1,899	1,782	1,712
	カン	594	584	582	578	581	593	651	640	601	570
	牛乳パック	30	26	26	24	25	25	24	23	21	20
	ペットボトル	818	828	879	909	935	954	975	1,012	1,002	1,030
	プラスチック	4,255	4,177	4,204	4,255	4,325	4,181	4,251	4,223	4,045	3,907
	小型家電	1	2	2	3	4	3	5	6	5	5
	(小 計)	19,110	19,380	18,640	18,351	18,143	17,863	18,573	17,964	17,281	16,517
収集量 合計 (F)=(A)+(B)+(C)+(E)		56,346	56,877	56,100	56,186	56,334	57,738	59,352	58,831	57,527	55,781
集団回収 (G)	古紙類	3,763	3,567	3,508	3,443	3,289	3,110	3,002	2,870	2,723	2,604
	古布類	266	264	274	278	280	304	277	277	267	282
	ビン	100	103	113	116	109	106	82	71	66	64
	カン (スチール)	27	27	29	29	27	29	32	32	31	32
	カン (アルミ)	89	89	89	90	89	91	98	99	94	91
	牛乳パック	17	17	17	17	16	16	16	16	17	16
	(小 計)	4,263	4,066	4,030	3,973	3,811	3,655	3,507	3,365	3,198	3,089
総資源物量 (粗大資源+ 資源物+集団回収) 合計 (H)=(D)+(E)+(G)		23,776	23,809	23,032	22,686	22,318	21,960	22,539	21,805	20,916	20,023
総ごみ量 (燃やせるごみ+燃やせない ごみ等+粗大ごみ+資源物+集団回収) 合計 (I)=(F)+(G)		60,609	60,943	60,130	60,159	60,145	61,393	62,859	62,196	60,725	58,871

※単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合あり

ウ 資源化率の推移

(単位：t)

区 分 \ 年 度	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
行政収集分	18,449	19,311	18,423	18,119	17,869	18,105	18,906	18,182	17,348	16,474
焼却灰のエコセメント化量	4,383	4,100	4,105	4,080	4,296	4,260	4,347	4,306	4,206	3,959
集団回収分	4,263	4,066	4,030	3,972	3,811	3,655	3,507	3,365	3,198	3,089
総資源化量(A)	27,095	27,476	26,557	26,171	25,976	26,021	26,760	25,854	24,752	23,522

(単位：t)

区 分 \ 年 度	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
総資源物量(B)	23,776	23,809	23,031	22,685	22,318	21,960	22,539	21,804	20,916	20,023
総ごみ量(C)	60,609	60,943	60,130	60,159	60,145	61,393	62,859	62,196	60,725	58,871

(単位：%)

区 分 \ 年 度	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
分別リサイクル率(D)=(B)/(C)	39.2	39.1	38.3	37.7	37.1	35.8	35.9	35.1	34.4	34.0
総資源化(リサイクル)率(E)=(A)/(C)	44.7	45.1	44.2	43.5	43.2	42.4	42.6	41.6	40.8	40.0

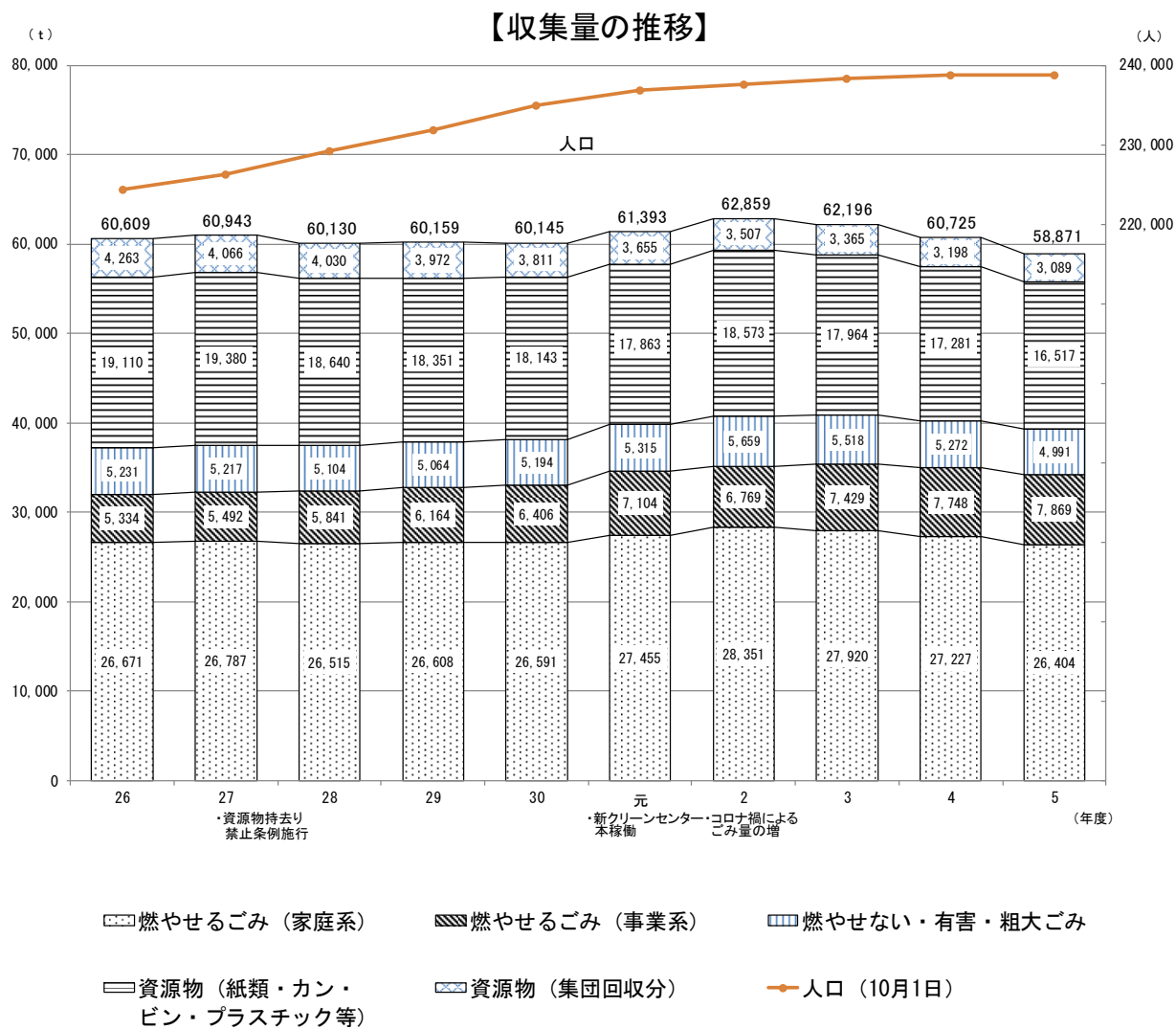
(単位：%)

区 分 \ 年 度	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
家庭系ごみ資源化率	42.3	42.3	41.8	41.4	40.9	39.6	39.4	38.9	38.7	38.4

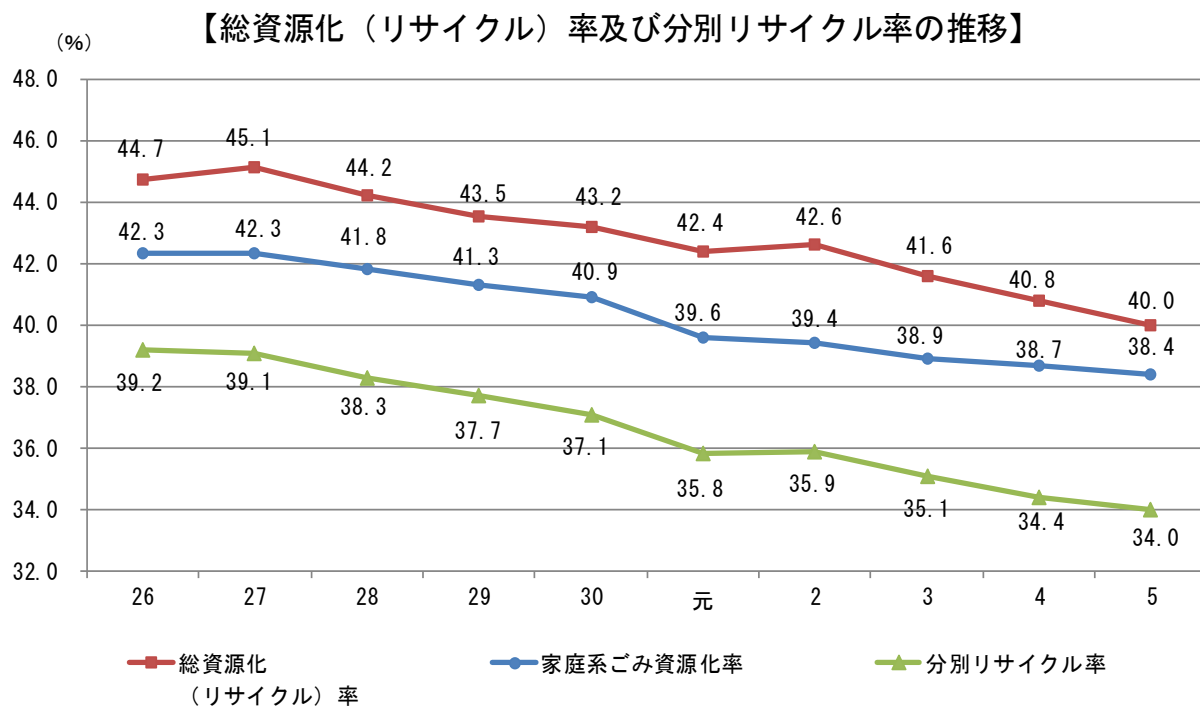
※単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合あり

※総資源物量(B)＝粗大資源＋資源物収集量＋集団回収量

※家庭系ごみ資源化率＝(資源物収集量＋集団回収量)÷(総ごみ量－事業系燃やせるごみ)



※単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合あり



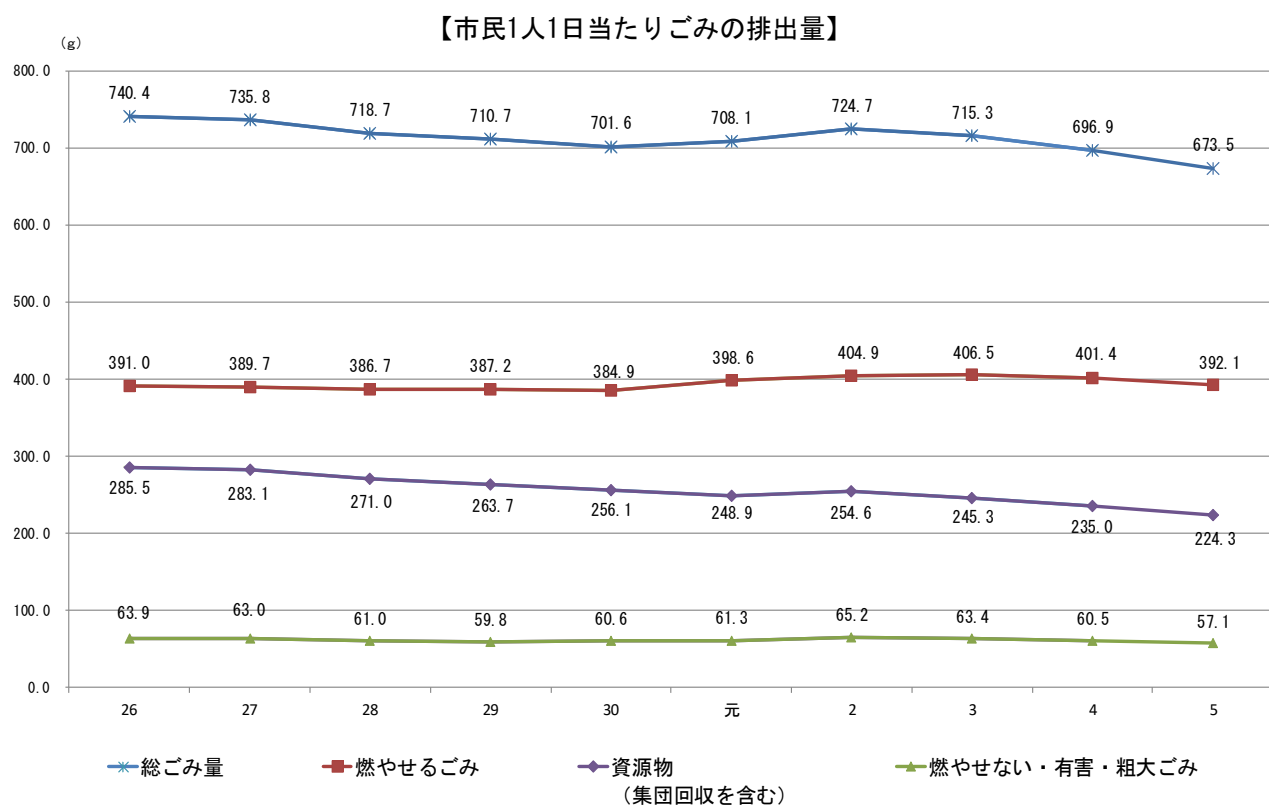
エ 市民1人1日当たりごみの排出量の推移

年 度			26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
区 分												
人口（10月1日現在）			224,283	226,291	229,220	231,904	234,867	236,880	237,636	238,235	238,713	238,820
燃やせる ごみ	燃やせるごみ （家庭系）	収集量（t）	26,671	26,787	26,515	26,608	26,591	27,455	28,351	27,920	27,227	26,404
	燃やせるごみ （事業系）	収集量（t）	5,334	5,492	5,841	6,164	6,406	7,104	6,769	7,429	7,748	7,869
	燃やせるごみ総収集量（t）		32,005	32,279	32,356	32,771	32,997	34,560	35,120	35,349	34,974	34,273
	市民1人1日当たりの排出量（g）		391.0	389.7	386.7	387.2	384.9	398.6	404.9	406.5	401.4	392.1
燃やせない ごみ 有害ごみ 粗大ごみ	燃やせないごみ	収集量（t）	3,664	3,630	3,489	3,419	3,467	3,377	3,655	3,365	3,101	2,951
	有害ごみ	収集量（t）	81	79	78	86	88	92	95	87	83	80
	粗大ごみ	収集量（t）	1,486	1,507	1,537	1,559	1,639	1,845	1,909	2,066	2,087	1,961
	燃やせないごみ等総収集量（t）		5,231	5,217	5,104	5,064	5,194	5,315	5,659	5,518	5,272	4,991
	市民1人1日当たりの排出量（g）		63.9	63.0	61.0	59.8	60.6	61.3	65.2	63.4	60.5	57.1
資源物	資源物 （行政収集）	収集量（t）	19,110	19,380	18,640	18,351	18,143	17,863	18,573	17,964	17,281	16,517
	集団回収	収集量（t）	4,263	4,066	4,030	3,972	3,811	3,655	3,507	3,365	3,198	3,089
	資源物総収集量（t）		23,373	23,446	22,670	22,323	21,953	21,518	22,080	21,329	20,479	19,606
	市民1人1日当たりの排出量（g）		285.5	283.1	271.0	263.7	256.1	248.9	254.6	245.3	235.0	224.3
総合計	年間収集量（t）		60,609	60,943	60,130	60,159	60,145	61,393	62,859	62,196	60,725	58,871
	市民1人1日当たりの 家庭系ごみ総排出量（g）		389.7	386.4	377.9	374.2	370.8	378.0	392.1	384.6	373.0	359.2
	市民1人1日当たりの排出量（g）		740.4	735.8	718.7	710.7	701.6	708.1	724.7	715.3	696.9	673.5

※①ごみ量の単位は住民1人1日当たりの排出量を除きトンで表すものとする。

※②数値で四捨五入している場合には、表示している次の位を四捨五入した。

※③単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合あり



(5) 有害ごみの処理状況

年 度		元	2	3	4	5
区 分						
乾電池	収集量 (t)	68.0	71.8	67.4	65.7	62.9
	比率 (%)	73.6	75.6	77.4	79.0	78.9
蛍光管	収集量 (t)	16.0	15.2	12.7	10.7	10.4
	比率 (%)	17.3	16.0	14.6	12.8	13.0
エアゾール 缶	収集量 (t)	8.4	8.0	7.0	6.8	6.5
	比率 (%)	9.1	8.4	8.0	8.2	8.1
収集量合計 (t)		92.4	95.0	87.1	83.2	79.8

(6) 粗大ごみの処理状況・受付件数

年 度		元	2	3	4	5
区 分						
処理件数 (件)		76,130	81,223	81,564	78,965	78,272
処理点数 (点)		230,898	242,993	253,359	241,574	233,213

(単位：件)

年 度		元	2	3	4	5
区 分						
受付件数	電話	58,598	48,052	49,525	79,371	47,719
	インターネット	103,049	148,925	114,251	75,779	76,440
	合計	161,647	196,977	163,776	155,150	124,159

※システム変更に伴い、令和3年10月からインターネット受付時の仮登録の件数を含まない。

(7) 動物死体の処理状況

(単位：頭)

年 度		元	2	3	4	5
区 分						
動物	飼主あり	62	51	38	55	57
	飼主なし	414	414	438	480	477
	合 計	476	465	476	535	534

(8) し尿等の処理状況

(単位：t)

項 目 \ 年 度	元	2	3	4	5
し尿	260.34	217.89	248.28	236.40	267.43
浄化槽汚泥	69.93	57.17	59.73	50.01	64.07
合 計	330.27	275.06	308.01	286.41	331.50

(9) 一般廃棄物収集運搬業務における車両火災・事故等の発生状況

(単位：件)

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
火 災	2	5	3	2	2
事 故	人 身	2	1	4	2
	物 損	8	7	13	9
合 計	12	13	20	13	28



《 消火活動 》



《 車両火災の原因 》

※近年は、モバイルバッテリーや小型充電式電池などの発火が原因の事案もある。

10 ゴミ減量・リサイクルの取組

(1) 啓発活動

ア 市報・広報誌等による啓発

(ア) 広報誌（P. 111～124参照）

ゴミ対策課広報誌「ザ・リサイクル」第93号から第95号までを発行し、市内全戸配布した。
また、「ザ・リサイクルジュニア」第4号を令和6年3月末に発行し、市立小中学校及び一部の私立小学校全生徒に配布した。

(イ) ゴミリサイクルカレンダー

ゴミの適正排出やリサイクル推進を促すため、地域・日別の収集カレンダー、分別方法、指定収集袋使用方法など、ゴミ出し全般のルールを記載した令和6（2024）年度版ゴミリサイクルカレンダーを発行し、1団体・1事業者に委託して市内全戸に配布した。

(ウ) 調布エフエム放送・J:COM調布テレビ

「調布市ほっとインフォメーション」に全8回・「テレビ広報ちょうふ」に全3回出演し、ゴミの減量・リサイクルに関する時期や内容について、ターゲットを絞った広報活動を行った。

(エ) ゴミ減量啓発作品（ポスター）（P. 114, 118, 裏表紙参照）

市内在住・在学の小中学校を対象に、「食品ロスを減らそう」「プラスチック・ペットボトルゴミを減らそう」「ゴミ収集車・収集員さん」「ゴミ減量・リサイクル」の4つのテーマからポスター作品を募集した。令和5年度は231点の応募があり、その中から優秀作品を選出し、広報啓発に活用した。

(オ) ちょうふエコ川柳（P. 114, 118, 裏表紙参照）

ゴミの減量やリサイクルをテーマにした「ちょうふエコ川柳」を募集した。令和5年度は262句の応募があり、その中から優秀作品及び特別賞（調布市長賞）を選出し、ゴミ減量やリサイクルの啓発に活用した。

(カ) ゴミ探検隊

啓発事業として、「普段私たちが捨てているゴミがどこへ運ばれて、どのように処理されているか考えたことはありますか」ということで、市内在住の小学生を対象とし、家庭から出されたゴミの行方を追って、ゴミ焼却施設や処分場を見学する「ゴミ探検隊」を実施した。

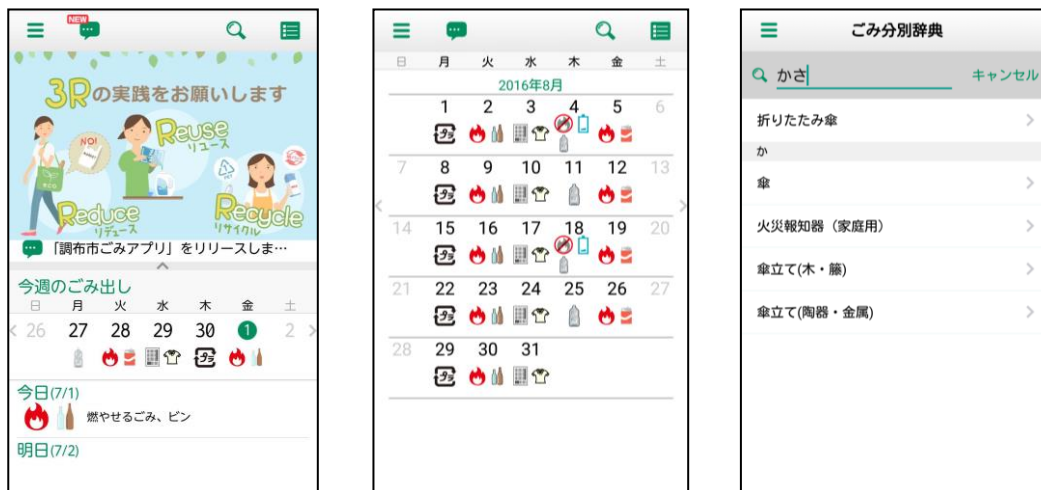
年度 名称	元		2		3		4		5	
	開催日	人数	開催日	人数	開催日	人数	開催日	人数	開催日	人数
ゴミ探検隊	8月13日	39	※	—	※	—	※	—	7月24日	20
	8月14日	37	—	—	—	—	—	—	7月25日	20

※ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い実施なし

(キ) ごみアプリ

ごみと資源物の分別促進によるごみ減量や排出マナーの向上を図るため、「調布市ごみアプリ」の配信を行っている（平成28年8月から開始）。

<画面イメージ>



ごみアプリダウンロード数

年度 区分	元	2	3	4	5
件 数	8,329	9,631	9,742	11,623	10,812
累 計	28,496	38,127	47,869	59,492	70,304

(ク) エコセメント普及啓発事業

市民に対し、エコセメント事業を周知し、同事業への理解を深めるとともに、市民のリサイクル意識の向上を図ることを目的に、エコセメントを用いたコンクリート製品を使用した公共事業の中から東京たま広域資源循環組合の補助金を活用し、エコセメント普及啓発説明板を設置した（平成29年度から開始）。

年度 区分	元	2	3	4	5
設 置 場 所	鬼太郎ひろば	調布市 適応指導教室 「太陽の子」	調布市立 富士見台小学 校	調布市立 染地児童館	調布市立 布田小学校
		調布市立 ゆずのき 学童クラブ	調布市立 かみいしわら 学童クラブ		

※ エコセメントとは、各家庭から排出された可燃ごみの焼却時に出る灰を使用して製造されるセメントのこと。

(ケ) ごみ減量・リサイクルキャラクター

幅広い世代における3Rの取組や子ども達への環境教育の推進に向けて、相互友好協力協定に基づく白百合女子大学との共同事業により、令和4年度に誕生したごみ減量・リサイクルキャラクター「リサッチョ」を活用し、ごみリサイクルカレンダーやごみ対策課広報誌「ザ・リサイクル」などに幅広く掲載した。

令和5年度は、新たなキャラクターを作成し、名称については、令和6年度に白百合女子大学の学生等から案を出していただき、出前講座に参加いただく子どもたちからの投票により決定する予定。



調布市ごみ減量・リサイクルキャラクター
リサッチョ

イ 地域懇談会・説明会及び施設見学会の実施

(ア) 地域懇談会・説明会・出前講座等

年度		元	2	3	4	5
区分	回数(回)	6	10	6	11	25
	参加人数(人)	715	665	478	423	1,020



《 出前講座の様子 》



《 ごみ収集車見学・体験の様子 》

(イ) ごみ処理施設等見学会

年度		元	2	3	4	5
区分	回数(回)	13	※	11	20	20
	参加人数(人)	957	—	824	1,912	1,972
各種団体	回数(回)	11	※	1	5	3
	参加人数(人)	282	—	13	51	50

ふじみ衛生組合のクリーンプラザふじみ等を見学

※ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い実施なし

ウ ごみ減量キャンペーン

市民にごみ減量への意識向上を図ることを目的に実施するもの。令和2年度以降、広報を中心とした方法に改め、クリーンセンター・市役所2階ごみ対策課窓口及び市内公共施設（神代出張所・地域福祉センター・公民館・市民プラザあくろす、ふじみ交流プラザ）の窓口での水切りネット配布について、来庁者に利用を呼びかけた。更に、「これならできるごみ減量とリサイクル」令和5年度入賞作品のごみ減量ポスター及びちょうふエコ川柳（優秀作品）（P.118参照）に「減量キャンペーン開催中」の帯を付け、クリーンセンター・市役所2階ごみ対策課窓口・市内公共施設（神代出張所・地域福祉センター・公民館・市民プラザあくろす、ふじみ交流プラザ）及び市内小中学校に掲出した。

エ 三多摩は一つなり交流事業

廃棄物を排出する側である調布市民と最終処分場のある日の出町民が、文化等交流事業を通じ、ごみについての相互理解をより一層深め、円滑な一般廃棄物広域処分事業の推進に寄与することを目的として実施するもの

令和5年度は、日の出町民を招待し「深大寺散策と落語鑑賞」を実施した。併せて「二ツ塚処分場見学とクリーンプラザふじみ見学」を実施した。



《 落語鑑賞の様子 》

(2) 資源物地域集団回収事業

資源の再利用とごみの減量運動を推進するため、資源物の集団回収を行っている団体に奨励金を交付している（昭和55年1月から開始）。

令和6年3月31日現在、225団体が登録し資源物の回収を行っており、回収後は、資源物を登録業者に直接、引き渡している。

奨励金の交付手続は、団体（子ども会、自治会、集合住宅等の管理組合等）の代表者が登録業者から受け取った仕切伝票（買上げ伝票）を、資源物地域集団回収事業奨励金交付申請書に添えて6か月に1回、市に申請する。市では、提出された交付申請書及び仕切伝票を確認し、翌月に奨励金を交付する（回収業者登録23業者）。

ア 資源物地域集団回収事業奨励金交付実績 ※1

区 分 \ 年 度		元	2	3	4	5	
支払団体数		1, 049	994	978	956	※3 454	
回収量 (kg)	古紙類	3, 110, 171	3, 002, 200	2, 870, 382	2, 722, 835	2, 374, 220	
	カン (スチール)	28, 718	32, 239	31, 752	30, 878	33, 863	
	ビン	106, 191	81, 723	70, 800	66, 250	61, 480	
	カン (アルミ)	90, 897	98, 198	99, 138	94, 068	91, 515	
	古布類	303, 613	277, 059	277, 096	267, 415	245, 244	
	牛乳パック	15, 752	15, 631	15, 879	16, 603	16, 457	
	合 計	3, 655, 342	3, 507, 050	3, 365, 047	3, 198, 049	2, 822, 779	
奨励金額 (円)	団体分	古紙類	24, 881, 368	24, 017, 600	22, 963, 056	21, 782, 680	18, 993, 760
		カン (スチール)	229, 744	257, 912	254, 016	247, 024	270, 904
		ビン	849, 528	653, 784	566, 400	530, 000	491, 840
		カン (アルミ)	727, 176	785, 584	793, 104	752, 544	732, 120
		古布類	2, 428, 904	2, 216, 472	2, 216, 768	2, 139, 320	1, 961, 952
		牛乳パック	126, 016	125, 048	127, 032	132, 824	131, 656
		割りばし搬送料※2	54, 732	44, 464	41, 030	-	-
		小 計	29, 297, 468	28, 100, 864	26, 961, 406	25, 584, 392	22, 582, 232
	業者分	古紙類	12, 263, 524	11, 678, 440	11, 178, 128	10, 614, 900	9, 474, 960
		カン (スチール)	111, 744	123, 288	122, 008	118, 980	135, 148
		ビン	418, 092	324, 556	283, 200	265, 000	245, 920
		カン (アルミ)	355, 856	376, 532	380, 392	362, 568	365, 044
		古布類	1, 195, 372	1, 094, 036	1, 108, 384	1, 069, 460	980, 936
		牛乳パック	63, 008	62, 488	63, 516	66, 412	65, 828
		小 計	14, 407, 596	13, 659, 340	13, 135, 628	12, 497, 320	11, 267, 836
	合 計		43, 705, 064	41, 760, 204	40, 097, 034	38, 081, 712	33, 850, 068

※1 単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合あり

※2 令和3年度第4期から割りばし搬送料の実施なし

※3 令和5年度から奨励金の支払回数を4回から2回に変更

イ 1 kg当たりの奨励金単価の推移 (団体分)

区 分 \ 年 度		昭和60～63	平成元～2	平成3～令和5
1 kg当たりの単価 (円)	古紙類	5	8	8
	カン (スチール)	5	8	8
	ビン	5	8	8
	カン (アルミ)	6	8	8
	古布類	6	8	8
	牛乳パック	—	—	8

※ 1 kg 当たりの奨励金単価 (業者分) 令和6年3月31日現在 4円

ウ 資源物地域集団回収の登録団体数及び登録業者数の推移

年 度 区 分	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
団体数(団体)	273	271	271	274	267	264	255	245	238	225
業者数(業者)	24	24	26	28	27	24	24	23	24	23

(3) ごみ減量装置等補助金交付状況

ごみ減量の一環として、ごみの自家処理を促進し、併せて生活環境の保全を図るため、生ごみ処理機など、ごみ減量装置等の購入に要する費用の一部補助を行っている（平成7年4月から開始）。

年 度 区 分		元	2	3	4	5
生ごみ たい肥化容器	件 数(件)	7	24	23	27	21
	金 額(円)	16,700	116,500	89,500	103,300	85,500
生ごみ処理剤	件 数(件)	16	31	45	66	58
	金 額(円)	23,400	49,400	63,600	94,600	88,300
生ごみ処理装置	件 数(件)	75	169	177	123	270
	うち法人用	3	0	0	0	2
	金 額(円)	2,513,800	2,384,600	2,734,300	1,991,200	5,637,400
	うち法人用	1,500,000	0	0	0	1,000,000
合 計	件 数(件)	98	224	245	216	349
	金 額(円)	2,553,900	2,550,500	2,887,400	2,189,100	5,811,200

※ 令和5年度については、9月中旬に予算の上限に達したため、申請受付を一旦終了したが、11月から申請受付を再開した。

(4) 粗大ごみ再利用事業

収集した粗大ごみの中から再利用可能な家具等を簡易修繕し、利再来留館及び環境フェア等において展示、売却を行っている（平成10年7月から開始）。

年 度 区 分	元	2	3	4	5
来館者数（人）	5,723	※ 127	※ 2,688	※ 2,729	※ 0
購 入 数（件）	1,249	※ 143	※ 660	※ 619	※ 148
販売点数（点）	2,070	※ 176	※ 1,128	※ 1,039	※ 255
販売金額（円）	2,539,200	※ 175,400	※ 1,189,400	※ 1,006,500	※ 198,000

※ 新型コロナウイルス感染症対策への利用に伴い、令和2年4月7日から令和3年11月11日まで休館。令和4年9月16日から、中央自動車道高井戸IC～稲城IC間橋梁耐震補強工事に伴い休館（購入件数及び売払収入には、令和3年4月、令和4年10月、令和5年6月及び令和6年2月開催の臨時展示販売会の実績を含む。）

(5) ごみ減量・リサイクル協力店認定制度

小売販売店からの認定申請を受け、ごみ減量・リサイクル協力店の認定要件を満たしているかを審査し、満たしている店舗には認定証及びリサイクル協力店ポスターを提供している（平成13年11月から開始）。

ごみ減量・リサイクル協力店一覧（17店）

（令和6年3月31日現在）

店 舗 名	回 収 品 目			
	カン	牛乳パック	トレイ	ペットボトル
西友仙川店		○	○	
クイーンズ伊勢丹仙川店		○	○	○
京王ストア仙川駅ビル店		○	○	○
マルエツ国領店		○	○	
I n a 2 1 調布染地店		○	○	○
株式会社ダイエー グルメシティ神代店	○	○	○	○
フレッシュマーケット トップ深大寺店		○	○	
調布とうきゅう		○	○	○
コープみらい 西調布店	○	○	○	○
西友調布入間町店		○	○	○
コープみらい 柴崎店	○	○	○	○
ミニコープ緑ヶ丘店	○	○	○	○
スーパーオザム調布多摩川店		○	○	
キッチンコート西調布店（京王ストア）		○	○	○
イトーヨーカドー国領店		○	○	○
マルエツ調布店		○	○	○
株式会社AOKI成城店	不用となったスーツ、フォーマル、コートなどの回収			

（認定証）

第2号様式（第3関係）
認定番号 _____

「調布市ごみ減量・リサイクル協力店」

認 定 証

様

貴店を調布市ごみ減量・リサイクル協力店として認定いたします
 ごみの減量及びリサイクルの推進に向けなお一層の
 御協力をお願いいたします

年 月 日

調布市長 印

（リサイクル協力店ポスター）



(リサイクル協力店認定要件)

リサイクル協力店認定要件

協力として認定を受けることができるものは、次の各号に掲げる要件のうち、3以上の活動を実施している市内の小売販売店とする。

- (1) 商品の包装を簡易なものにしていること。
- (2) 使い捨て容器の使用及び販売を控えていること。
- (3) 紙パックの回収を行っていること。
- (4) 食品トレイの回収を行っていること。
- (5) 空き缶及び空き瓶の回収を行っていること。
- (6) レジ袋の回収を行っていること。
- (7) ペットボトルの回収を行っていること。
- (8) 買物袋の持参運動をしていること。
- (9) 量り売りの推進をしていること。
- (10) 環境にやさしい商品を販売していること。
- (11) リサイクル製品を販売していること。
- (12) 当該小売販売店が販売した商品で、購入者が不用になったものを回収していること。
- (13) その他、ごみの減量及びリサイクル活動として市長が認めるもの

(6) 調布エコ・オフィス認定制度

事業所等からの認定申請を受け、ごみ減量及びリサイクル活動への取組状況に応じて審査し、ゴールド、シルバー、ブロンズの3段階のランクに区分してエコ・オフィスとして認定する制度（平成13年11月から開始）

認定した事業所等には認定証及びエコシールを交付（29事業所）

（令和6年3月31日現在）

認定ランク	認定事業所	
ゴールドランク （15事業所）	アフラック生命保険㈱	鹿島建設㈱技術研究所
	富士フイルムイメージングプロテック㈱	㈱調布清掃
	斉藤倉庫㈱	調布郵便局
	共進倉庫㈱本社倉庫本館	㈱浜食
	㈱角川大映スタジオ	㈱パルコ調布店
	白百合女子大学	ホッピービバレッジ㈱
	味の素スタジアム	㈱東急ストア調布店
	アドバンスドソフトウェア㈱	
シルバーランク （8事業所）	㈱伊藤園調布支店	福祉作業所しごと場大好き
	㈱吉野清掃	㈱マルエス佐藤電気
	市野歯科医院	㈱三菱UFJ銀行調布支店
	なかや化粧品店	朝寿司国領店
ブロンズランク （6事業所）	㈱西調布増田屋	調布エフエム放送㈱
	深大寺そば組合（加盟店25店舗）	㈱関口商店
	調布市立染地小学校	きざき酒店

（認定証）

第2号様式（第4関係）

認 定 証

「調布エコ・オフィス」

認定ランク：

貴事業所を調布エコ・オフィスとして認定いたします
ごみの減量及びリサイクルの推進を図り地球環境の保
全に向けなお一層の御協力をお願いいたします

年 月 日

調布市長 印

（エコシール）



(認定基準)
調布市エコ・オフィス認定基準

No	要件
ごみ減量部門	1 ごみ減量化の推進
	例
	・ 詰め替え製品を積極的に購入している。
	・ 事務用品などの紙の使用量を積極的に抑制している。
	・ 両面コピーを実施している。
	・ 封筒、メモ用紙の再使用を行っている。
	・ 生ごみ類を堆肥化又は分解消滅させている。
	・ 生ごみ類の水切りを励行している。
	・ 環境にやさしい容器又は包装材（リサイクルしやすい、リサイクルされた又は焼却時に有害物質を発生しない素材）の積極的な購入を図っている。
	・ 紙、プラスチック等使い捨て容器の購入や使用を自粛している。
リサイクル部門	2 リサイクルの推進
	例
	・ 空き缶、ビン、新聞、雑誌、段ボール等を分別し独自のルートで資源化している。
	・ ペットボトルを分別し、施設等へ自己搬入するなど資源化している。
	・ 発泡スチロール類を分別し、資源化している。
	・ 事務所等に古紙回収ボックスを設置し、資源化している。
	・ コンピュータ用紙等を資源化している。
	・ 機密文書を資源化している。
	・ 地域の集団資源回収活動に対し、敷地提供などの協力をしている。
	・ 事業活動で発生する資源物のリサイクルの推進を図っている。
	3 再生品の利用促進
	例
	・ 再生紙や再生された商品の使用を積極的に行っている。
	・ エコマーク商品・グリーンマーク商品などの環境保全商品の購入を促進している。
	・ 広告・チラシや事務用紙等への再生紙利用を積極的に行っている。
	4 地球環境に配慮した生産活動の推進
	例
	・ 地球にやさしい製品づくりを推進している。
	・ 再生原料の利用を促進している。
	・ 製品の修理サービスを促進している。
意識啓発部門	5 ごみ減量化及びリサイクルに関する情報発信の推進
	例
	・ 社内あげてごみ減量資源化の取組みをしている。
	・ 自社の広告チラシ等にごみ減量又は再資源化の呼びかけを行っている。
	・ 従業員に対するごみ減量や環境保全に向けた社内教育を実施し、意識啓発をしている。
	・ 環境保全に関するイベントなどを実施している。
	・ 社内にごみ減量や資源化を推進する委員会組織を設置している。
	・ 廃棄物処理管理者を設置している。
	6 地球環境保全への協力
	例
	・ 地域の清掃など、環境美化活動に協力している。
	・ 地域イベントに参加し、リサイクル啓発活動している。
	・ 事業所周辺又は駐車場の清掃をしている。
	7 その他この制度の目的に沿った事業活動
	例
	・ 環境保全に関する管理体制を事業所内に確立している。

(7) せん定枝資源化支援事業

自らせん定した枝木の自家処理を促進するため、申込みのあった各家庭へせん定枝破碎・粉碎車（チップパー車）で伺い、枝木をチップにし、排出者に戻す事業を平成19年10月から開始した。

平成26年1月から集合住宅・事業所も対象とした。

区分 \ 年度	元	2	3	4	5
申 込 件 数 (件)	243	297	278	332	194
処 理 量 (kg)	34,273	49,451	41,033	31,545	28,055



(チップパー車)

この車で皆様のお宅へ伺い、
枝・木をチップにします。



チップ化した枝

(8) 家電製品の資源化事業

粗大ごみとして収集した家電製品の資源化を進めるため、金、銀、銅やレアメタルを含む電子基板やハードディスクなどの部品を取り出して、資源再生事業者へ売却した。

ア 開始時期

平成22年11月（都内自治体で初めて）

イ 対象家電製品

DVDプレイヤー、ビデオデッキ、プレイヤー、プリンター、ワープロ、電子レンジ、扇風機、掃除機

※ 粗大ごみとして収集した40cm以上の家電製品で、家電リサイクル法などの対象家電製品を除く。

ウ 対象部品

モーター、トランス、マグネトロン、電子基板、DVD読取部、ハードディスク、電源コード類、プラスチック、冷風機（素材別）

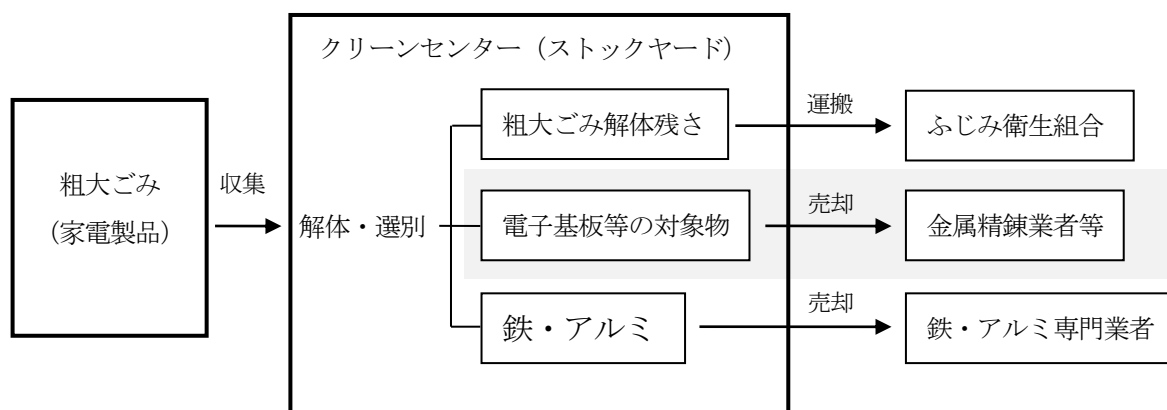
エ 家電製品の取組実績

単位（重量：kg，金額：円）

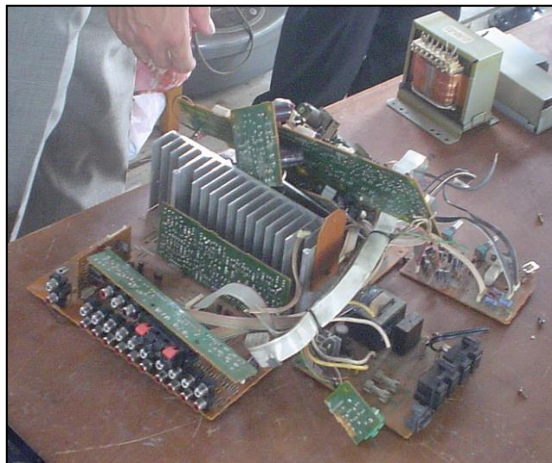
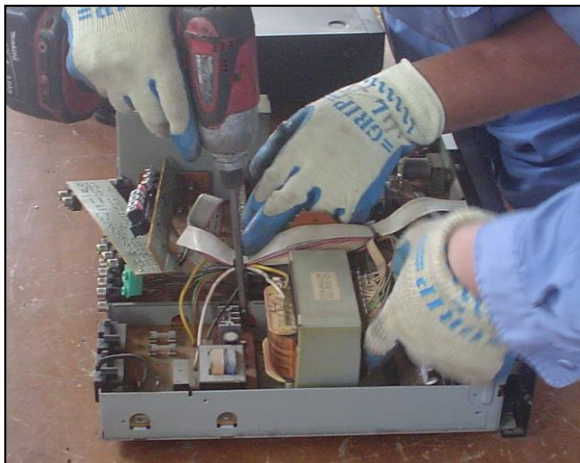
年 度		元	2	3	4	5
項 目	重 量	5,450	5,992	6,070	5,370	5,777
	金 額	167,611	120,824	108,350	118,140	127,094
モーター・トランス	重 量	11,330	16,628	18,890	20,080	14,360
	金 額	123,704	164,065	163,801	220,880	157,960
基板読取部	重 量	4,680	4,965	4,820	3,610	3,430
	金 額	29,172	23,633	18,656	19,855	18,865
ハードディスク	重 量	400	610	620	480	467
	金 額	8,058	6,116	5,269	5,280	5,137
金属樹脂	重 量	13,390	11,460	12,250	10,490	9,290
	金 額	1,364	0	0	0	0
プラスチック	重 量	446	593	490	390	563
	金 額	38	0	0	0	0
冷風機	重 量	5,030	5,085	5,540	5,200	5,003
	金 額	516	0	0	0	0
合 計	重 量	40,726	45,333	48,680	45,620	38,890
	金 額	330,463	314,638	296,076	364,155	309,056

オ 資源化の流れ

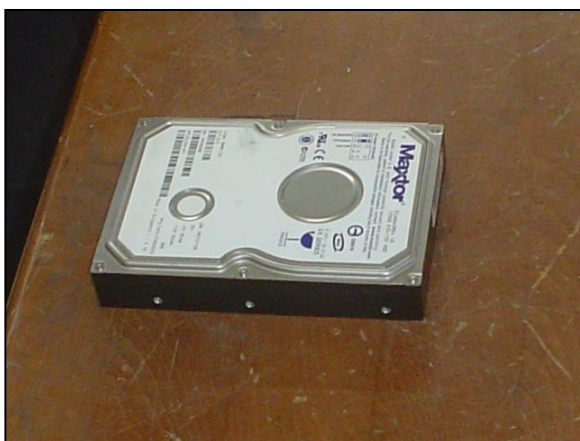
家電製品の資源化フロー



● 解体作業



● 売却する部品 〈ハードディスク〉



(9) 使用済小型家電製品の拠点回収

使用済小型家電製品に含まれる有用金属の再資源化を推進するため、平成26年9月から市内3箇所の公共施設内に専用の回収ボックスを設置して拠点回収を試行的に開始した。回収した使用済小型家電製品を専門業者に引き渡すことにより、有用金属の再資源化を図った。

ア 設置箇所（令和6年3月31日現在 8箇所）

平成26年 9月 調布市役所2階ごみ対策課窓口，神代出張所，クリーンセンター

平成28年10月 利再来留館

平成31年 2月 染地児童館

令和 2年10月 金子地域福祉センター

令和 4年10月 ふじみ交流プラザ

令和 5年10月 西部公民館

※ 利再来留館は令和4年9月16日から中央自動車道高井戸IC～稲城IC間橋梁耐震補強工事に伴い休館

イ 回収実績

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
回収量 (kg)	3,054	5,281	5,740	4,700	4,550
売払収入 (円)	127,076	116,182	126,280	103,400	100,100

ウ 拠点回収の対象品目

使用済小型電子機器等の回収対象品目は、専用ボックスの投入口（横 30cm×縦 15cm）に入る大きさの小型家電製品とする。

	回収する品目一覧
1	電話機，ファクシミリ
2	携帯，ノートパソコン
3	タブレット型情報通信端末
4	ラジオ，ＩＣレコーダ
5	DVDレコーダ，カメラ，ビデオカメラなどの映像用機器
6	CD・MDプレーヤー，ヘッドホン，補聴器などの音響用機器
7	USBメモリ，メモリーカードなどの補助記憶装置
8	電子辞書，電卓，電子書籍端末
9	電子体温計，電子血圧計，ヘルスメーターなどの計量・測定用機器
10	ヘアドライヤー，電気カミソリ，電動歯ブラシなどの理容機器
11	時計
12	ゲーム機など電子玩具及び電動式玩具
13	カーナビ，ＥＴＣ車載ユニット
14	リモコン，ＡＣアダプタ，ケーブル，充電器などの付属品



使用済小型家電製品
回収ボックス

(10) 羽毛布団リサイクル事業

粗大ごみとして収集している布団のうち、リサイクル可能な羽毛布団を専門業者に引き渡し、再資源化を図っている（平成２７年９月から開始）。

回収実績

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
回収量 (kg)	1,530.1	1,000.3	873.7	929.2	1,461.5
売払収入 (円)	345,585	272,624	260,645	196,416	343,288

(11) 使用済みインクカートリッジ回収事業

プラスチックごみの減量と資源化を推進するため、使用済みインクカートリッジの回収を行っている（平成30年4月から開始）。

ア 設置箇所（令和6年3月31日現在 18箇所）

平成30年4月 調布市役所2階ごみ対策課窓口

平成31年2月 染地児童館

令和4年2月 調布市クリーンセンター，神代出張所，
金子地域福祉センター，緑ヶ丘地域福祉センター

令和4年8月 各公民館

令和5年12月 市民プラザあくろす，
各地域福祉センター

（金子地域福祉センター，緑ヶ丘地域福祉センターを除く。）



回収ボックス

イ 回収実績

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
回収量 (kg)	61	80	89	134	338

(12) 家庭系一般廃棄物指定収集袋（LLサイズ）のばら売り

本庁舎ごみ対策課窓口，調布市クリーンセンター及び一部取扱店（令和6年3月31日現在 47店舗）にて，家庭系一般廃棄物指定収集袋LLサイズ（可燃・不燃）のばら売りを行っている。

(13) 組成分析調査

ごみ減量及び適正処理に向けた施策の基礎資料とするため，市内から排出されたごみの組成分析調査を実施した。（分析調査結果 P.120参照）

(14) 粗大ごみ臨時展示販売

利再来留館が臨時休館となり，再生品の展示・販売が出来ない状況下で再開への問い合わせや，臨時展示販売会の開催を要望する声が多数寄せられたことから，令和5年6月に環境フェアにて，令和6年2月にふじみ交流プラザにて粗大ごみリサイクル品の臨時展示販売を行った（販売件数：148件，販売品数255点）。

(15) 使い捨てコンタクトレンズ空ケースの拠点回収

リサイクルが可能な使い捨てコンタクトレンズの空きケースを対象に、プラスチックごみの削減と資源再生の意識を啓発していくことを目的に下記場所に回収ボックス（ボトル）を設置し、プラスチックごみの減量・リサイクルの推進を行うもの

ア 設置箇所（令和6年3月31日現在 17箇所）

- (ア) 調布市役所2階ごみ対策課窓口 (イ) クリーンセンター
(ウ) 中央図書館（分館10箇所含む） (エ) 各公民館
(オ) ふじみ交流プラザ

その他 回収ボックス（ボトル）設置箇所
コンタクトのアイシティ店舗など

イ 回収実績

区分 \ 年度	4	5
回収量 (kg)	81.2	117.5

※上記ア(ア)～(オ)の
回収実績



回収ボックス

回収ボトル

(16) 小型充電式電池の拠点回収

小型充電式電池の誤った排出（「容器包装プラスチック」や「燃やせないごみ」への混入）を起因とした、廃棄物の収集運搬や中間処理時の発火事故等（車両含む。）の防止による、安定的なごみの収集・処理事業を目的に小型充電式電池の回収ボックスを公共施設に設置し、リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池の回収を行っている。

ア 設置箇所（令和6年3月31日現在 4箇所）

- (ア) 調布市役所2階ごみ対策課窓口 (イ) クリーンセンター
(ウ) 利再来留（りさいくる）館
(エ) 北部公民館

※ 利再来留館は令和4年9月16日から中央自動車道
高井戸IC～稲城IC間橋梁耐震補強工事に伴い休館

その他 回収ボックス設置箇所
市内の電器店など回収協力店



回収ボックス

イ 回収実績

区分 \ 年度	4	5
回収量 (kg)	350.1	388.2

※上記ア(ア)～(ウ)の回収実績

対象電池

リチウムイオン電池



主な用途
● ノートパソコン
● ビデオカメラ など

ニカド電池



主な用途
● 電動工具
● コードレステレホン など

ニッケル水素電池



主な用途
● 電動アシスト自転車
● デジタルカメラ など

1 1 適正排出への取組

(1) 適正排出の指導・管理

ア 不法投棄処理及びごみ排出指導の状況

(単位：件)

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
不 法 投 棄 処 理	195	285	226	181	108
排 出 指 導	1,578	1,828	1,291	1,320	1,520

イ 不法投棄対策事業

定期的に重点警戒地域を中心にパトロールを実施したほか、不法投棄されやすい集合住宅のごみ置場や駐車場等を指導員が巡回し、不法投棄防止の看板設置等の対策を集合住宅の所有者・管理者に依頼した。

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
不法投棄禁止看板設置（件）	0	0	0	0	0
不法投棄禁止等シール配布（枚）	116	80	43	73	40

ウ ごみ置場の移動数及びごみ置場申請数

(単位：件)

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
ご み 置 場 の 移 動 数	6	8	21	7	10
戸建住宅ごみ置場申請数	427	440	457	383	367
集合住宅ごみ置場申請数	71	70	70	71	69
合 計	504	518	548	461	446

エ 開発事業指導要綱に関するごみ置場協議件数

(単位：件)

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
集 合 住 宅	32	32	27	9	20

(2) ふれあい収集

ごみ置場にごみを排出することが困難な要介護認定者及び障害者等を対象に、職員等が玄関先まで伺い収集を行っている（平成16年4月から開始）。

また、粗大ごみについても高齢者等を対象に職員が屋内から持ち出し収集を行っている。

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
家庭ごみ収集利用世帯（世帯）	348	371	372	353	374
粗大ごみ収集件数（件）	454	351	356	385	310

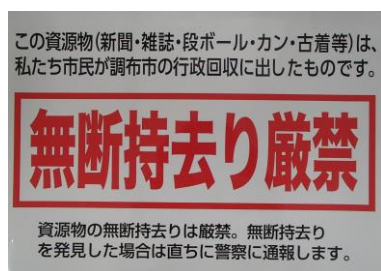
(3) 資源物の持去り対策

資源物の持去り対策を強化するため、「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」の一部を改正し、平成27年4月1日に施行した。

条例で禁止している資源物の持去り行為を防止するため、重点警戒地域を中心に計1回（令和5年9月13日）早朝パトロールを実施した。

（単位：件）

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
注意書の交付件数	0	0	0	0	0
警告書の交付件数	0	0	0	0	0
命令書の交付件数	0	0	0	0	0



持去り厳禁ステッカー



1 2 廃棄物減量及び再利用促進審議会

(1) 概要

調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第72条の規定により設置。市長が諮問する一般廃棄物の減量，再利用の促進等に関する事項について検討・協議し，答申（建議）するもの

(2) 委員構成等

市民（3人），学識経験者（2人），市内で事業を営む者（4人），市内のリサイクル推進団体が推薦する者（4人）及び市職員（1人）をもって組織。男9人，女5人

(3) 開催内容

審議会開催8回

回	開催日	主な検討事項
第1回	令和5年 6月12日	(1) ペットボトルの減量・リサイクル推進について (2) 令和5年度審議会について (3) 令和4年度ごみ量について (4) 令和5年度一般廃棄物処理実施計画及び重点的な取組について (5) 令和4年度一般廃棄物処理実施計画に基づく重点事項の実績
第2回	令和5年 7月25日	(1) 環境教育・環境学習の推進について (2) 令和5年度小中学生ポスター作品の募集について (3) 令和5年度ちょうふエコ川柳の募集について (4) ザ・リサイクル(令和5年7月20日発行 第93号)の発行
第3回	令和5年 9月29日	(1) 答申（案）について
第4回	令和5年 11月10日	(1) 答申（案）について (2) 第7回エコフェスタちょうふについて (3) 生ごみ資源化モデル事業について (4) 調布市環境保全審議会に係る報告について
第5回	令和5年 12月21日	(1) 答申書提出 (2) 第7回エコフェスタちょうふについて (3) ごみ減量啓発作品の審査結果について (4) ザ・リサイクル(令和5年11月20日発行 第94号)の発行
第6回	令和6年 1月9日	(1) 第7回エコフェスタちょうふに伴う部会 ア 古紙部会 イ 収集車・危険物部会
	令和6年 1月11日	(1) 第7回エコフェスタちょうふに伴う部会 ア 容プラ・市・小型家電・くじ引き部会
第7回	令和6年 1月27日	(1) 第7回エコフェスタちょうふ開催
第8回	令和6年 3月27日	(1) 第7回エコフェスタちょうふの振り返り (2) 調布市家庭系ごみ等詳細組成分析調査(令和5年度)等について (3) ザ・リサイクル(令和6年3月20日発行 第95号)の発行 (4) ザ・リサイクルジュニア(令和6年3月発行 第4号)の発行 (5) 令和6年度審議会について

1 3 廃棄物減量及び再利用促進員（略称「促進員」）

(1) 概要

平成7年から、調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第80条の規定により設置。自主的な資源循環型まちづくりを推進するため、市民と市とのパイプ役として活躍していただく方（主に自治会や各種団体等から推薦された方、または、市民公募で応募した方）を「調布市廃棄物減量及び再利用促進員」として市長が委嘱している。

地域では、主に下記のことについて活動している。

ア ごみの減量・リサイクルの推進に向けての活動及びPR

各家庭における積極的なごみ減量とリサイクルの推進や、ごみの分別指導など

イ ごみ減量・リサイクル活動の参加・開催

ごみ減量キャンペーン等への参加や、地域清掃活動、集団回収の実施など

ウ ごみ対策課への地域情報の提供

不法投棄や古紙の持去りなどを発見した際、ごみ対策課への通報や、地域で困っていることなどをごみ対策課へ情報提供する。

(2) 定数等

社会的信望があり、かつ、一般廃棄物の適正な処理に熱意と見識を有する者のうちから市長が委嘱する。定数は550人以内とし自治会等の各種団体からの推薦によるものとする。

（参考）第15期廃棄物減量及び再利用促進員

任期 令和5年7月1日から令和7年6月30日まで

62人（令和6年3月31日現在）

(3) 主な活動実績

ア ごみ減量キャンペーン

令和5年度「ごみ減量ポスター」作品及び「ちょうふエコ川柳」作品の投票

イ 促進員施設見学会及び懇談会

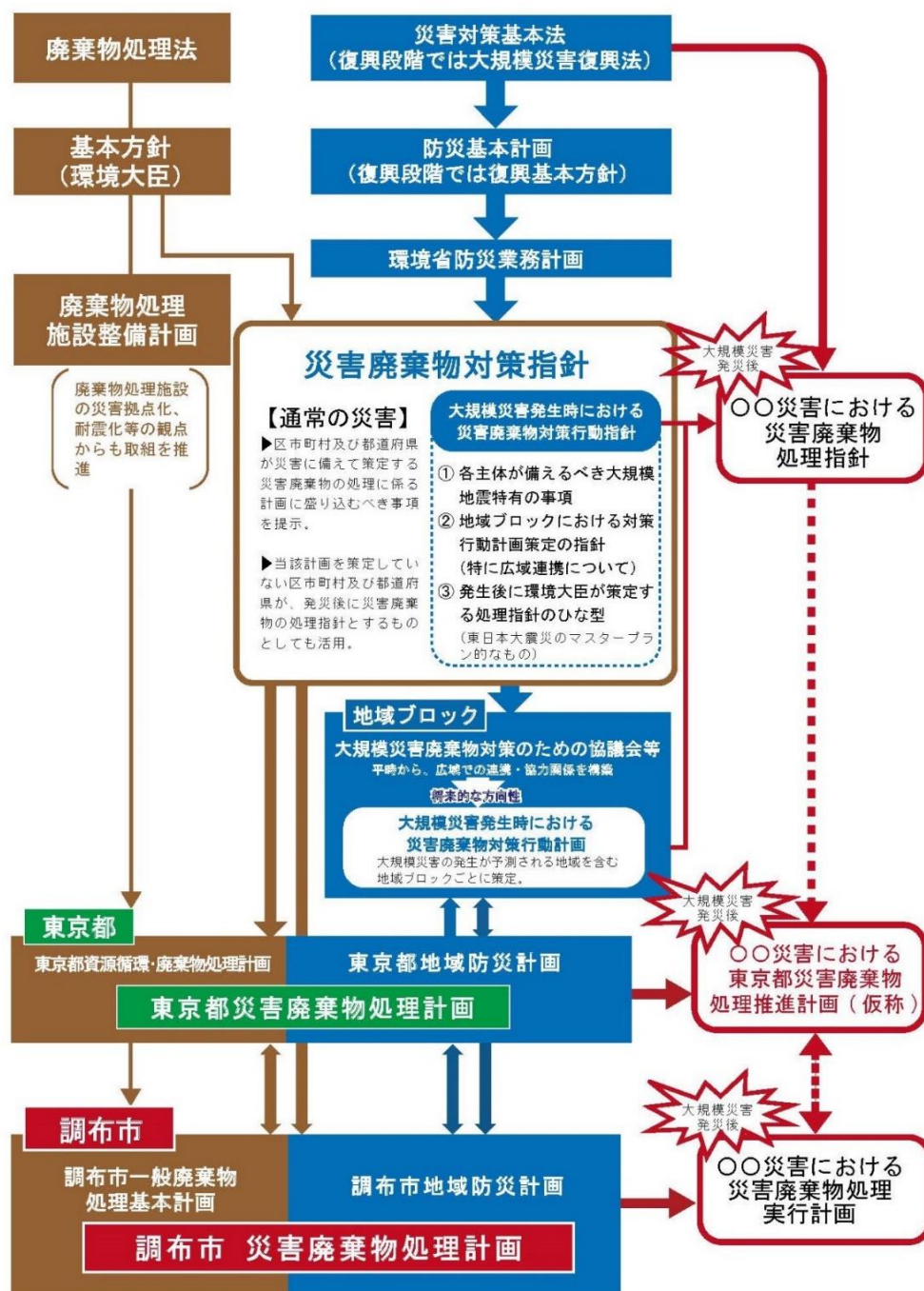
調布市廃棄物減量及び再利用促進員向けに、他市の資源化施設や環境センターを見学し、ごみ減量とリサイクル意識の高揚を目的として行うもの

令和5年度の見学先は、ジット株式会社 山梨本社（インクカートリッジ再生事業施設）

1 4 災害廃棄物処理計画

災害時に発生する災害廃棄物を迅速かつ適正に処理するための計画を策定したもの
令和6年3月、災害に伴い発生する廃棄物の処理体制を確保し、適正に処理することにより、市民生活環境の保全、公衆衛生上の支障を防止し、早期の復旧・復興に資するとともに、都市の持続性を確保すること及び発災後に想定される事態を平常時からあらかじめ想定しておくことにより、発災初動期の混乱を最小限にとどめることを目的として策定した。

地震編と水害編に分けて、発災前の平常時から発災後の初動期、復旧・復興期までの経過に応じた対策等を掲載している。



資料編

1 清掃事業の沿革

2 ごみ量等の推移

3 広報関係

(1) ザ・リサイクル（第93号，第94号，第95号）

(2) ザ・リサイクルジュニア第4号

4 例規集（抜粋）

(1) 調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に
関する条例

(2) 調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に
関する条例施行規則

5 許可業者等一覧表

(1) 一般廃棄物収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者

(2) 資源物地域集団回収業者登録一覧表

1 清掃事業の沿革

本市の沿革において、基本的な主要事業及びポイントとなる事業を下記の5項目とし、太字掲載とする。

項目	主な業務名等
手数料	手数料に関すること
団体	特別地方公共団体（二枚橋衛生組合、ふじみ衛生組合、東京たま広域資源循環組合）
施設	ごみ対策課所管の施設・土地に関すること
収集	収集体制に関すること
組織	組織体制に関すること（班体制の変更は除く）
事業	上記5項目のほか、ごみ対策課の施策における新規事業及び事業の廃止

年	月	項目	沿革
【明治33年～昭和39年】			
明治33年	3月		▶ 「汚物掃除法」が制定され、清掃行政の第一歩が始まる（当時は、土壌改良及び肥料として農村還元や、住民による自家処理にたよっていた）。
昭和29年	4月		▶ 「汚物掃除法」が廃止され、「清掃法」が施行される。この結果、市町村は特別清掃区域内の収集及び処分を行うことが義務づけられる。
昭和30年	4月		▶ 調布町と神代町が合併し調布市が誕生。同時に特別清掃区域として指定される。 ▶ 衛生課で清掃業務を行うことになり、ごみについては、ごみ箱によりリヤカーで各戸収集し、市内に埋立処分。し尿については、桶によりリヤカーで各戸収集し、農家の溜めに持込み農家還元。
昭和32年	2月	団体	調布市、府中市、小金井市の三市により、二枚橋衛生組合を設立
昭和33年	4月	団体	二枚橋衛生組合にて1日37.5tのごみ焼却を開始
昭和35年	1月	団体	調布市及び三鷹市の二市により、ふじみ衛生組合を設立し、1日当り288kℓの処理能力を有するし尿処理施設が昭和36年10月に完成
昭和36年	10月		▶ 二枚橋衛生組合で焼却炉を増設 （1日75tの能力を有することとなり、焼却炉は、岩本式自然通風C型固定炉基16室である。）
昭和38年	6月		▶ 機構が改革され、総務、財政経済、民生、建設、水道の5部が新設され、民生部に清掃課が設置される。
昭和39年	5月		▶ 深大寺町1900番地に清掃事務所が完成

【昭和40年代】			
昭和42年	4月		▶ 一般家庭ごみ処理手数料が無料化される。
	5月		▶ 焼却能力1日300tを有する連続燃焼式焼却炉が二枚橋衛生組合に完成
	7月		▶ 紙袋定置収集モデル地区設定（富士見町、上石原の一部約1,700戸について、従来不定期収集であったものを週2回の定期収集にする）
	8月		▶ 不燃物収集を委託化し、完全分別収集の基礎づくりを行い、月3回収集を実施し、市有地（緑ヶ丘）へ埋立処分
	11月		▶ 第2次紙袋定置収集地区拡大（飛田給、上石原、下石原、小島町の約7,000戸）。
昭和43年	2月		▶ 第3次紙袋定置収集地区拡大（小島町、上布田、下布田、国領、染地、佐須、深大寺の一部約7,500戸）
	4月		▶ 持込みごみ搬入許可を開始（日量6t）
	5月		▶ 第4次紙袋定置収集地区を全市に拡大（一部団地を除く）
		収集	紙袋による雑・厨芥混合収集及び不燃物完全分別収集実施
	6月		▶ 清掃監視員制度発足
	7月		▶ 紙袋定置収集週3回に間隔短縮
	9月		▶ 不燃物収集を予告収集とする。市内を14の収集地区に分け、月3回収集を知らせるステッカーを全世帯へ配布 ▶ 清掃業務を主管する都下の市の部課長により、「都市清掃協議会」が結成された。
	10月		▶ 機構改革により清掃部新設、管理課、作業課が設置される。
昭和44年	11月		▶ 不燃物終末処理を稲城市坂浜の山間へ行う。
	4月		▶ 高層住宅団地紙袋定置収集実施、全市紙袋定置収集完全実施 ▶ 犬猫死体処理を多磨犬猫霊園に委託、埋葬処理開始。
昭和45年	4月		▶ 一般家庭し尿処理手数料を無料化。

年	月	項目	沿 革
昭和46年	11月	収集	▶ 機構改革により清掃部を廃止し、環境衛生部が新設され、清掃第一課、清掃第二課が設置される。
昭和47年	4月		▶ 不燃物収集回数を毎週1回へ変更
			廃棄物の処理及び清掃に関する法律の制定に伴い「調布市廃棄物の処理および清掃に関する条例」を制定
	5月		▶ 祝日のごみ収集全面廃止（不燃物は収集日が祝日にあたる場合は翌日収集）
	7月		▶ 塵芥収集地区を全市25地区へ変更
	8月		▶ 不燃物臨時中継地を市内染地2丁目48番地に設置
			▶ 瑞穂町、箱根ヶ崎に不燃物終末処理を移動
			▶ 新法制定にともない、し尿浄化槽清掃業を許可
			▶ 塵芥収集車両にバックマスター車を導入
	10月		▶ 新法制定にともない、一般廃棄物処理業を許可
昭和48年	4月		▶ 不燃物中継地を市内染地2丁目52番地に移転
			▶ 家庭雑排水収集運搬経費の住民負担軽減措置実施
	7月		▶ 瑞穂、羽村両町に埋立処分を行う20市2町により、廃棄物終末処理対策協議会を設立
	12月		▶ 二枚橋衛生組合、ごみ計量自動化実施
昭和49年	3月		▶ 不燃物中継地を市内染地2丁目51番地に移転
	4月		▶ 不燃物は収集日が祝日にあたる場合は、次週の同じ曜日に収集することを決定
	10月		▶ し尿浄化槽清掃料金軽減措置実施

【昭和50年代】

昭和50年	2月		▶ アパート用収集日ステッカーの配布開始
	3月		▶ 羽村町羽字武蔵野に不燃物終末処理を移動
	5月		▶ 塵芥収集車両のバックマスター化完了
	10月		▶ 新清掃事業所完成
昭和51年	12月		▶ くすのき団地建設に伴い大型バック車導入
昭和52年	4月		▶ 切替工事に伴うし尿浄化槽清掃経費軽減措置実施
昭和55年	1月		「調布市資源物地域集団回収事業奨励金交付要綱」制定。資源物集団回収事業開始
	11月	団体	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合発足
	12月		▶ ふじみ衛生組合にリサイクルセンター完成（56年1月稼動開始）
昭和56年	3月		▶ 切替工事に伴うし尿浄化槽清掃経費軽減措置廃止
	5月		▶ 構造改革により環境衛生部廃止、生活環境部新設
昭和58年	11月		▶ 有害ごみ（乾電池）の手選別をリサイクルセンターにおいて開始
			▶ 歩行収集の試行実施
昭和59年	4月	団体	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合谷戸沢（日の出町）最終処分地第1期工事完了、投棄開始
	5月	収集	▶ 機構改革により、清掃第一課、清掃第二課を廃止し、清掃事務所を新設
			▶ し尿収集の直営を廃止し、全面委託
			有害ごみの分別収集を開始
	11月		▶ ステップ乗車を廃止、完全歩行収集を実施

【昭和60年代】

昭和60年	4月		▶ 事務事業見直しにより、4系のうち2係を廃止し、庶務係・業務系の2係を設置
-------	----	--	--

年	月	項目	沿 革
昭和 6 0 年	4 月	▶	「調布市資源物地域集団回収事業奨励金交付要綱」の改正
	7 月	▶	仙川商店街の早出ごみ収集業務を開始
昭和 6 1 年	1 月	▶	年始多量ごみにより二枚橋焼却場搬入不能となり、武三保衛生組合に焼却の協力
昭和 6 2 年	4 月	▶	不燃ごみ収集の直営を廃止し全面委託
昭和 6 3 年	4 月	手数料	一般廃棄物処理手数料の改正。多量搬出ごみ20円、自己搬入分10円
		▶	ふじみ衛生組合し尿処理場の閉鎖
	7 月	▶	生ごみ堆肥器（コンポスト）をモニターとして貸出開始
		▶	「クリーンシティ推進委員」の制度を制定し、第 1 回目として392人に委嘱
	8 月	▶	「調布市無公害ごみ袋購入奨励金交付要綱」制定
		▶	空カン回収機「空カン鳥」を設置

【平成元年度】

平成元年	4 月	収集	し尿収集の有料化実施
		▶	清掃事務所に清掃指導員（3 人）を配置
	5 月	収集	「古紙・ダンボール類」分別収集を開始
		▶	「調布市焼却炉購入費補助金交付要綱」制定
		▶	「調布市資源物地域集団回収事業奨励金交付要綱」の改正
	1 2 月	収集	「空きビン」分別収集を開始
平成 2 年	3 月	▶	「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」策定

【平成 2 年度】

平成 2 年	5 月	▶	「クリーンシティ推進委員」（2 期目）を委嘱（507人）
	7 月	▶	西秋川衛生組合へ可燃ごみの一部焼却を依頼するため搬送開始
	1 1 月	▶	「調布市ごみ減量及びリサイクル推進本部」設置
	1 2 月	収集	「空きカン」分別収集を開始
		▶	「ゴミ非常事態宣言」発令
平成 3 年	2 月	▶	「調布市ゴミ憲章」制定

【平成 3 年度】

平成 3 年	4 月	▶	清掃事務所にゴミ問題対策担当を 2 人配置（2 人増で12人体制）
	8 月	▶	「調布市廃プラスチック等減容機設置工事業補助金交付要綱」制定
	1 0 月	収集	「牛乳パック」の回収を開始（市内10店舗）。「全国リサイクルの日シンポジウム」を実施
		▶	ゴミ問題地域懇談会を開始
	1 2 月	事業	クリーンセンター広報誌「ザ・リサイクル」創刊号を発行
平成 4 年	3 月	▶	空カン回収機「空カン鳥」を廃止

【平成 4 年度】

平成 4 年	4 月	団体	二枚橋衛生組合管理者が調布市長から小金井市長に。
	6 月	▶	「クリーンシティ推進委員」（3 期目）を委嘱（549人）
		▶	「調布市ごみ散乱防止ネット貸与要綱」の制定
		▶	古紙等資源の徹底回収やごみ減量にむけて、市内自治会の懇談会の本格的実施を開始
		▶	「資源化倍増アクションプラン」策定
	7 月	▶	仙川商店街、多摩川桜丘睦会の 2 地域について、資源物の回収増をはかるため、可燃ごみ、週 2 回収集のモデル地区としての試行を開始
	9 月	▶	簡易穴掘器「ここ掘れワンワン」の貸与を開始

年	月	項目	沿 革
平成4年	10月	事業	ごみ収集日カレンダー及びごみの出し方リーフレットの全戸配布を開始 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合から、埋め立てごみ量の配分計画が発表され、構成各市町へ割り当て配分量の遵守を求められる。 ▶ ごみ減量・リサイクル促進のための地域懇談会を集中的に行い、市全管理職により、各種団体等へ家庭訪問による要請行動を実施 ▶ 市管理職による駅頭キャンペーンの実施
		収集	「布類」収集を開始 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ごみ減量・リサイクルの促進のため収集体制変更の試行開始 (可燃週2回、古紙類毎水曜日、ビン・カン・不燃物週1回) ▶ ごみ行政の充実をはかるため清掃指導員を4人体制配置 ▶ 生ごみ保管容器の購入助成 ▶ 市全管理職等により早朝ごみステーションの立ち番指導を実施
平成5年	1月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 試行中の収集方式について1,000人を対象にアンケートを実施 ▶ ごみ減量いろはカルタを作製し、市内の小学校等に配布 ▶ ヤクルト球団「荒木大輔投手」をモデルにごみ減量ポスターを作製
	2月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ リサイクル条例検討委員会の設置
	3月	施設	資源回収選別処理施設としてのストックヤード完成 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 資源回収箱洗浄機施設の建設

【平成5年度】

平成5年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 収集体制変更の本格実施 ▶ ごみ減量・リサイクル担当が13人体制へ1人増員 ▶ 技能長・技能主任制度を取入れ、班体制へ変更 ▶ 土曜日が閉庁となる。 ▶ 二枚橋衛生組合焼却場の基幹的施設整備（焼却炉、排ガス処理設備等）に着手し、平成7年8月完成予定
	5月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 二枚橋焼却場改築工事に伴い搬入制限のため事務所敷地内に生ごみが野積される。
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 清掃事務所職員（2人）奥尻島へ災害派遣される。 ▶ リサイクル条例の答申が出される。
	9月	組織	「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」通称リサイクル条例が制定される（平成6年4月1日から施行）。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 可燃ごみ（及び直営資源物）の祝日収集を開始 ▶ 二枚橋焼却場改築のため搬入制限が出され、2t車で西秋川衛生組合に搬入を開始
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事務所敷地内に生ごみの野積みがたびたび行なわれる。 ▶ 平成6年4月から施行されるリサイクル条例にそなえて、地域懇談会を活発に開催 ▶ ふじみ衛生組合のリサイクルセンター建設着工（81t/5hr）し、平成6年12月末竣工
平成6年	12月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 二枚橋焼却場改築のため町田市にも可燃ごみの焼却処分を依頼
	3月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大型生ごみ処理装置を、大町小学校と第二小学校に導入 ▶ 粗大ごみの申込み（無料分）が殺到

年	月	項目	沿 革
平成 6 年	3 月	<div><div>▶</div><div>リサイクル条例施行にむけてクリーンシティ推進委員により駅頭及び地域キャンペーンが行われる。</div></div> <div><div>▶</div><div>リサイクル条例施行規則制定</div></div>	

【平成 6 年度】

平成 6 年	4 月	組織	リサイクル条例が施行される。
		手数料	一般廃棄物処理手数料の改正 多量搬出ごみ 27円 自己搬入分 17円 ・事業所のごみ（可燃・不燃）が完全有料化（市指定袋の使用） ・粗大ごみが有料（シール・1回100kgまで1,000円）
	6 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 二枚橋焼却場改築工事のため、一般持込みごみが11月まで制限される。 ▶ 「事業系一般廃棄物収集袋」及び「粗大ごみ処理券」の収納を調布市商業協同組合に委託し、契約を締結。同取扱店は、たばこ店を中心に市内150店で開始 ▶ 「クリーンシティ推進委員」（4期目）の委嘱（525人） ▶ 「リサイクルまつり」でPR、粗大抽選会を開催
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会委員」を一般公募 ▶ 指定袋未使用の事業系ごみ袋についてイエローカードの使用を開始 ▶ 二枚橋焼却場補修工事につき、その他処理として町田市へ搬送開始（9月まで）
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会委員」一般公募者を抽選にて4人決定
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市内商店会へ事業系指定袋のPRビラを配布 ▶ 市内主要商店会の事業系指定袋使用の調査を実施（未使用についてはイエローカードを貼り指導）。「リサイクルまつり」でPRを実施
		事業	「調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会委員」15人の委嘱式を開催。同時に第1回会議が開催され、市長から諮問を受ける。
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「消費者まつり」でPR、粗大ごみ再生品の展示抽選会を開催
平成 7 年	1 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業系ごみ袋抜き取り重量調査を実施（Lのみ461袋平均8.01kg）
	3 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「事業系ごみ袋・粗大ごみ処理券取扱店事務連絡会」を実施 ▶ 「クリーンシティ推進委員総会」を開催し、「調布市廃棄物減量及び再利用促進員」の説明を行い、クリーンシティ推進制度を廃止 ▶ 市内駅頭にて、クリーンシティ推進委員が可燃ごみ一部地区収集日変更の周知用ビラを配布 ▶ 二枚橋焼却場補修工事につき、その他処理として町田市へ搬送再開（4月まで）

【平成 7 年度】

平成 7 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 組織改正に伴い「クリーンセンター」に名称変更。管理課に庶務係・安全管理係を、減量対策課に減量対策係・業務係・指導係を設置 ▶ 直営収集業務員を102人から68人へ削減し、それに伴い収集車両17台の減車 ▶ 清掃指導員10人に増員 ▶ 可燃ごみ収集業務を委託、不燃ごみ収集業務を直営に変更することにより、一部の地区で可燃ごみの収集日を変更 ▶ 「調布市ごみ減量装置等補助金交付要綱」公布
--------	-----	--

年	月	項目	沿 革
平成 7 年	6 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「環境フェア」にて粗大ごみ再生品の展示抽選会及び生ごみ処理容器等の展示を開催 ▶ 「調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会促進員」の募集を実施 ▶ クリーンセンター組織改正に伴い、3 階事務室の改修工事を施工
	7 月	事業	「調布市廃棄物減量及び再利用促進員」の委嘱式及び発足会を開催
	9 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ ふじみリサイクルセンターにて廃プラの資源化が開始される。 ▶ 「クリーン・リサイクル・タウン」として厚生大臣表彰を受賞
	10 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国勢調査に伴い「ちょうふ市のごみ出しルール」を全市民に配布 ▶ 「TEPCOリサイクルデイ」を後援 ▶ 「多摩市民連邦とことん討論会」を後援
	11 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「消費者まつり」にて粗大ごみ再生品の展示抽選会を開催 ▶ 再応募の「調布市廃棄物減量及び再利用促進員」の委嘱式を開催
	12 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会」中間答申のための校正会が開催される。
	平成 8 年		
	1 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会」から、市長の諮問に対しての中間答申がなされる。
	2 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市廃棄物減量及び再利用促進員」の再募集を実施
	3 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 入間町 2 丁目にてリサイクルフェアを開催 ▶ 「事業系ごみ袋・粗大ごみ処理券取扱店事務連絡会」を実施 ▶ 「集団回収事業参加団体事務取扱説明会」を開催 ▶ 事業系焼却炉の補助金交付要綱を廃止

【平成 8 年度】

平成 8 年	6 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 再利用計画に伴う事業所等の管理用電算機器を導入 ▶ 「環境フェア」にて粗大ごみ再生品の展示抽選会を開催 ▶ 三鷹市と合同でごみ処理基本計画への取組を開始
	10 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「TEPCOリサイクルデイ」を後援
	11 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「消費者まつり」で粗大ごみ再生品の展示抽選会を開催 ▶ 容器包装リサイクル法の分別収集計画を、ふじみ衛生組合から東京都へ提出
	平成 9 年		
	2 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会」の最終答申の編集会が開催される。
	3 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会」から、市長の諮問に対しての答申がなされる。 ▶ 「調布市ごみ管理基本計画」策定 ▶ 第 2 回「春がくるくるリサイクル DAY」を開催（クリーンセンター駐車場で粗大ごみ再生品の展示抽選会／フリーマーケット） ▶ 「事業系ごみ袋・粗大ごみ処理券取扱店事務連絡会」を実施 ▶ 第一期粗大ごみリサイクル倉庫（利再来留（りさいくる）館（かん））建設

【平成 9 年度】

平成 9 年	4 月	手数料	消費税 5 %に伴い、ごみ処理手数料を外税扱いとする。
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「硝和ガラス」での選別処理終了のため搬送終了
	5 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ ふじみリサイクルセンターにおいてガラスの砂化を実施 ▶ 粗大ごみの再利用を図るため、班編成を 4 班体制、粗大車両 3 台へ変更 ▶ 三鷹市と協調し、ごみ処理施設基本構想策定の取組を開始
	6 月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 粗大ごみの受付センターを設置、NTTテレマーケティングに委託 ▶ 小学校 4 年生の施設見学会を集中的に実施

年	月	項目	沿 革
平成 9 年	6 月		▶ 第 1 回「くるくる回そうりサイクルDAY」をクリーンセンター駐車場において開催
	7 月		▶ 「調布市ごみ減量及びリサイクル推進本部」を再開 ▶ 「調布市ごみリサイクル推進会」を開催し、「調布市廃棄物減量及び再利用促進員委嘱式」と「集団回収団体事務取扱説明会」を実施（アトラクションとしてパント末吉の「環境コント」を上演する）
	8 月		▶ 第 2 回「くるくる回そうりサイクルDAY」をクリーンセンター駐車場において開催 ▶ 第二期、粗大ごみリサイクル倉庫（利再来留館）建設 ▶ 調布市ごみ減量リサイクル推進本部幹事会において「調布市古紙使用ガイドライン」を決定
	1 2 月		▶ 「ダイオキシン」問題で厚生省から、ごみ焼却場の新設炉は0.1～5ナノグラムに、既設炉は5年後から1～10ナノグラムにすることが義務づけられる。
平成 1 0 年	1 月	団体	ニッ塚廃棄物広域処分場への搬入開始
	3 月		▶ 「調布市ごみ処理施設基本構想」策定 ▶ 毎日地方自治大賞奨励賞受賞（資源化倍增アクションプラン） ▶ 焼却炉補助金要綱廃止 ▶ 広報誌「ザ・リサイクル」1号～21号までの縮刷版「ザ・リサイクルのあゆみ」を発行 ▶ 牛乳パックの委託を「バック連」から福祉作業所（4団体）による「リサイクル連絡会」に委託

【平成 1 0 年度】

平成 1 0 年	4 月	団体	調布市長・三鷹市長との間で、ごみの共同処理を行っていく旨の確認を行う。
	5 月		▶ 三多摩で初めて、エコマーク付きのペットボトル再生リサイクル作業服を導入
	6 月		▶ 大型生ごみ処理器を金子団地内にモニターとして設置
	7 月	施設	「調布市粗大ごみ再利用事業実施要綱」策定 利再来留（リサイクル）館を本格的に運営
	9 月		▶ 「調布市ごみ減量及びリサイクル推進本部会」の開催 ▶ 「調布市ごみ減量及びリサイクル推進本部幹事会」の開催 ▶ 調布市議会全員協議会に、三鷹市と可燃ごみの共同処理を行っていく旨の方針を報告
	1 0 月		▶ 「くるくる回そうりサイクルDAY」をクリーンセンター駐車場において開催 ▶ 「TEPCOリサイクルデイ」を後援 ▶ 「くるくる回そうりサイクルDAY」をクリーンセンター駐車場において開催 ▶ 第14回調布市まちづくり市民会議に、「埋立てに依存しないまちの実現」のテーマについて諮問
	1 1 月		▶ 「くるくる回そうりサイクルDAY」をクリーンセンター駐車場において開催
平成 1 1 年	3 月		▶ 「くるくる回そうりサイクルDAY」をクリーンセンター駐車場において開催

【平成 1 1 年度】

平成 1 1 年	5 月		▶ 「くるくる回そうりサイクルDAY」を市内金子団地において開催
	7 月		▶ 調布駅南口広場で「リサイクルフェスティバル」開催（市町村自治調査会補助事業）

年	月	項目	沿 革
平成11年	7月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文化会館たづくりで集団回収団体と再利用促進員合同の「リサイクル推進大会」開催 ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（広域処分組合補助事業）の一環として、日の出町の町民約100人を招いて花火大会見学を実施
	8月	団体	調布市と三鷹市が焼却処理施設建設の覚書を取り交わす（8月20日）。
	9月		▶ 第14期まちづくり市民会議の環境部会から、「埋立に依存しないまちの実現」について答申を受ける。
	10月		▶ 「くるくる回そうリサイクルDAY」をクリーンセンター駐車場において開催
	11月		▶ TEPCO「みんなでリサイクルDAY」を後援
	12月		▶ 平成12年4月1日から「塵芥処理手数料改正」に向け、議会で承認を得る。 「調布市一般廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」改正
平成12年	2月		▶ 塵芥処理手数料変更に伴う「事業系有料袋及び粗大ごみ処理券取扱店」説明会を開催
	3月		▶ 三鷹市と共同で「新ごみ処理施設整備基本計画素案」の中間報告を作成

【平成12年度】

平成12年	4月	手数料	廃棄物処理手数料を改定（税別） ・市が収集する場合 1kg 27円→31円 ・持ち込みの場合 1kg 17円→20円 ・粗大ごみを品目別料金（300円・600円・900円・1500円・1800円の6区分）に改定
		手数料	事業系有料袋の価格改定 M（4kg入り）100円→120円 L（8kg入り）200円→240円
	5月		▶ 「くるくる回そうリサイクルDAY」をクリーンセンター駐車場において開催
	7月		▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（広域処分組合補助事業）で日の出町の町民約100人を招待し花火大会見学を実施
	10月		▶ 「くるくる回そうリサイクルDAY」をクリーンセンター駐車場において開催
平成13年	1月	収集	「調布市一般廃棄物の処理及び再利用の促進に関する規則」改正。 冷蔵庫、洗濯機、テレビ及びエアコンを規則品目（別表）から削除
	3月		▶ 二枚橋焼却場の施設老朽化を訴える「ごみ減量のお知らせ」を京王線駅頭及び市内で配布 ▶ 家電リサイクル法（平成13年4月施行）及びペットボトルの分別収集（平成13年4月実施）に伴うPR活動を市内全域で実施 ▶ 三鷹市と共同で「新ごみ処理施設整備基本計画素案報告書」を作成

【平成13年度】

平成13年	4月	事業	家電リサイクル法に基づく家電4品目（冷蔵庫、洗濯機、テレビ及びエアコン）のリサイクル開始
		収集	ペットボトルの資源回収を隔週で開始するとともに、ビン類の収集を毎週から隔週での収集へ変更
			▶ 二枚橋衛生組合による焼却場基幹整備工事のため、多摩川衛生組合・多摩ニュータウン環境組合・柳泉園組合へ可燃ごみの広域支援が要請される。それに伴い、計画的に可燃ごみを搬送
	7月		▶ 「新ごみ処理施設整備基本計画素案説明会」を調布市民対象に開催(7月18日)
	10月		▶ 調布市内の駅前の事業所を中心に「戸別収集モデル事業」を実施（約600事業所）

年	月	項目	沿 革
平成13年	10月		▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（広域処分組合補助事業）の一環として、日の出町の町民約100人を招いて、楽焼体験・花火大会見学を実施
	11月		▶ 「調布市ごみ減量・リサイクル協力店認定制度実施要綱」制定
平成14年	1月		▶ 「調布市調布エコ・オフィス認定制度実施要綱」制定
		事業	▶ 家庭ごみ有料化を目指し、1万人との対話を目標に「ごみ懇談会」を開始
	2月		▶ 「新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」に、有識者3人・調布市民10人・三鷹市民10人・行政4人の計27人が委嘱され、第1回検討委員会が開催される。
	3月		▶ 「家庭ごみ有料化検討委員会」発足
			▶ 「第2回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（3月26日）。

【平成14年度】

平成14年	4月	事業	▶ 調布市内駅前事業所の「戸別収集モデル地区」を「指定地区」へ移行
			▶ 「リサイクル推進大会」にて調布エコ・オフィス37事業所、調布市リサイクル協力店14店舗を認定
			▶ 毎月第2・第4月曜日、調布エフエムへの定期的出演を開始
	5月		▶ 不燃物処理場用地として管理していた市内染地2丁目51番地を多摩川市民広場として用途変更し、環境部緑と公園課に移管
			▶ 「第3回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（5月28日）。
	6月		▶ 「分別収集計画」策定
			▶ 「環境フェア」へ出展、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催
	7月		▶ 「家庭ごみ有料化検討委員会」から答申を受ける。
			▶ 「ごみ減量市民意識調査」を郵送アンケート及び街頭ヒアリングにより実施
			▶ 「第4回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（7月23日）。
平成15年	8月		▶ 「調布市ごみ管理基本計画改定検討委員会」に有識者1人・市民委員11人・行政委員1人の計13人が委嘱され、第1回検討委員会が開催される。
	9月		▶ 「第5回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（9月10日）。
	10月		▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（広域処分組合補助事業）の一環として、日の出町の町民約120人を招いて楽焼体験・花火大会見学を実施
			▶ 持ち出し収集の試行のため、粗大班に持ち出し収集担当を設置
			▶ 「消費者まつり」へ出展、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催
	11月		▶ 「市長と市民のごみ懇談会」（全11回）を市内全地域福祉センターにて実施（11月から15年1月まで）
			▶ 「第6回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（11月19日）。
	12月		▶ 「第1回二枚橋衛生組合施設更新計画等検討協議会」が開催される。（12月25日） 調布市・府中市・小金井市（各市3人）と二枚橋事務局による施設更新に関する
	1月		▶ 「第7回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（1月28日）。
	2月		▶ 「第1回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会シンポジウム」を三鷹市公会堂別館にて開催（2月15日）
平成15年	3月		▶ 「調布市ごみ管理基本計画」策定
			▶ 「第8回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（3月26日）。

【平成15年度】

平成15年	4月		▶ 組織改正に伴いクリーンセンター減量対策課及び管理課がごみ対策課に統合され、管理係・減量対策係・指導係の3係が設置される。
		収集	燃やせないごみ収集業務を委託

年	月	項目	沿 革
平成15年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 班編成を2班体制（リサイクル班・指導班）へ変更 ▶ クリーンセンター館内分煙化開始
	5月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「第9回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（5月13日）。 ▶ 「市民参加による二枚橋ごみ排出状況調査」（全3回）を実施
	6月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「ごみゼロのまち「調布」シンポジウム」を調布市文化会館たづくり2階くすのきホールにて開催 ▶ 「第1回駅頭いってらっしゃいキャンペーン」（延べ4日間）を実施 ▶ 「戸別収集モデル事業」（6月から7月末まで）を実施 ▶ 「環境フェア」へ出展、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「第10回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（7月15日）。 ▶ 二枚橋衛生組合により、焼却場基幹整備工事のため、多摩ニュータウン環境組合へ可燃ごみの広域支援が要請される。それに伴い、計画的に可燃ごみを搬送（同年8月・10月・11月・平成16年1月に実施） ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（広域処分組合補助事業）の一環として、日の出町の町民約100人を招いて、神代植物公園見学・楽焼体験・花火大会観覧を実施 ▶ 「リサイクル推進大会」を調布市文化会館たづくり2階くすのきホールにて開催 ▶ 「第2回駅頭いってらっしゃいキャンペーン」（7月から8月末まで、全38回）を実施
	9月	手数料	<p>「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」改正 家庭ごみの一部（燃やせるごみ・燃やせないごみ）を有料とする（平成16年4月から施行）。</p> <p>指定収集袋 S袋（5$\frac{1}{2}$リットル相当） 8円 M袋（15$\frac{1}{2}$リットル相当） 26円 L袋（30$\frac{1}{2}$リットル相当） 53円 LL袋（45$\frac{1}{2}$リットル相当） 80円 ※表示額は税抜額、S袋については「燃やせるごみ」のみ。</p>
		手数料	<p>「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する規則」改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみの品目 69品目→116品目 ・品目別料金 6区分（300円～1,800円）→9区分（300円～4,500円） ・パーソナルコンピュータを規則品目（別表）から削除
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市家庭から排出される廃パーソナルコンピュータに係る一般廃棄物再生利用業の指定に関する規則」制定 ▶ 「第11回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（9月16日）。 ▶ 「アパート・マンションごみ排出場所実態調査」を実施 ▶ 再利用計画に伴う事業所等の管理用電算機器を更改。それに伴い、事業所管理、資源回収管理、塵芥・し尿処理手数料管理、廃棄物収集実績統計管理の各システムを導入
	10月	収集	<p>使用済パソコンのメーカーによる自主回収の取組が開始される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 東京都ディーゼル車排ガス規制開始に伴い、不適合車両の関連施設（クリーンセンター・二枚橋焼却場・ふじみリサイクルセンター）内での走行を禁止 ▶ クリーンセンター館内禁煙化実施 ▶ ふれあい収集の実施に向けて、リサイクル班にふれあい収集担当（5人）を設置 ▶ 「消費者まつり」へ出展、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催 ▶ 市報特集号にて、指定収集袋及び粗大ごみ処理券取扱店を追加募集（約100店舗予定）

年	月	項目	沿 革
平成15年	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「戸別収集及び家庭ごみの一部有料化説明会」を開催（11月から3月末まで、全262回） ▶ 「アパート・マンションごみ排出場所実態調査」を基に、市内全域の集合住宅の管理者へごみ置場の設置の要請を開始 ▶ 「戸別収集・家庭ごみ一部有料化リーフレット」（12万部）を全戸配布 ▶ 「調布市ごみ減量装置等購入費補助金交付要綱」を改正。補助対象に屋外用ごみ保管容器を追加 ▶ 「第12回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（11月26日）。 ▶ 「戸別収集・家庭ごみ一部有料化パンフレット」（5万部）を説明会及び窓口で配布
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市ごみ散乱防止ネット貸与要綱」を改正。ごみ散乱防止ネットの貸与対象を集合住宅に限定 ▶ 「指定収集袋及び粗大ごみ処理券取扱店説明会」を調布市文化会館たづくり8階映像シアターにて開催（全3回） ▶ 調布駅南口広場及び品川通り二小前の歩道橋など（全3箇所）に戸別収集・有料化実施の周知用横断幕を掲示 ▶ 市内各関係箇所に戸別収集・有料化実施の周知用のぼり旗設置 ▶ 庁用車の車体に戸別収集・有料化実施の周知用ボディパネル及びフロント幕掲示
平成16年	1月	手数料	<p>「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する規則」を改正 ◆廃棄物処理手数料の減免措置の拡充 ※家庭系指定収集袋について、既存の制度に下記の世帯を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢福祉年金受給世帯 ・75歳以上年金収入のみの世帯 ・愛の手帳（1・2度）を所持し市民税が非課税の世帯 ・精神障害者保健福祉手帳（1級）を所持し市民税が非課税の世帯 ・身体障害者手帳（1・2級）を所持し市民税が非課税の世帯 <p>※「ボランティア袋」及び「おむつ袋」を作成</p>
		事業	<p>◆一般廃棄物処理業の許可要件の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市一般廃棄物の保管場所に関する要綱」を全部改正。路上のごみ置場を廃止 ▶ 「調布市ふれあい収集実施要綱」制定 ▶ 「第13回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（1月21日）。 ▶ 「第2回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会シンポジウム」を調布市文化会館たづくり2階くすのきホールにて開催（1月24日） ▶ 調布エフエム放送で戸別収集・家庭ごみ一部有料化について放送を実施（1月から3月まで）
	2月	団体	<p>二枚橋衛生組合議会において「二枚橋衛生組合施設更新の概要」が示される。（22年度施設更新、施設規模200t/日、枠組みは継続協議）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 調布市議会第1回定例会施設近代化特別委員会にて、二枚橋衛生組合から「二枚橋衛生組合施設更新の概要」の報告がなされる（2月16日）。 ▶ 「第14回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（2月24日）。 ▶ 戸別収集の実施に向けた空き缶処理施設改修工事が完了、稼動開始

年	月	項目	沿 革
平成16年	2月	収集	牛乳パックを除くすべての収集体制を戸別収集に変更 「有害ごみ」, 「燃やせないごみ」を隔週収集 「ビン」を毎週収集 「有害ごみ」を「燃やせないごみ」と同時収集 地区割を6地区から4地区に再編成
		▶	動物死体収集業務を委託
		収集	「プラスチック」の分別収集を業務委託により開始
		収集	家庭系指定収集袋の販売開始（取扱店舗数：265店舗）
		手数料	廃棄物処理手数料の減免世帯への家庭系指定収集袋の配布及びボランティア袋・おむつ袋の窓口配布（各地域福祉センター・神代出張所）開始
	3月	▶	「第15回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」が開催される（3月17日）。
		▶	「新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会」から、調布・三鷹両市長へ検討結果の答申がなされる（3月23日）。

【平成16年度】

平成16年	4月	収集	家電リサイクル法が改正され、4品目のうちの冷蔵庫とあわせて冷凍庫が対象とされる。
		事業	「ふれあい収集」事業を開始。「調布市ふれあい収集利用申請等認定会議設置要領」を制定
		収集	指定収集袋による家庭ごみ一部有料化（「燃やせるごみ」, 「燃やせないごみ」）実施
		事業	公共施設等の減免制度の廃止
		収集	粗大ごみの受付業務を財団法人東京都環境整備公社に委託し、粗大ごみ受付システムを導入。それに伴いインターネット受付を開始
		▶	不法投棄防止のための夜間パトロールを業務委託により実施（4月1日から5月31日までの毎日）
	5月	▶	多摩環境フェスティバルに参加
	6月	▶	「リサイクル推進大会」を調布市文化会館たづくり2階くすのきホールにて開催
		▶	環境フェアに出展、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催
	7月	▶	「三多摩は一つなり交流事業」（広域処分組合補助事業）の一環として、日の出町の町民約80人を招いて、神代植物公園・新選組フェスタ見学及び花火大会観覧を実施
	8月	▶	「調布市新ごみ処理施設整備基本計画策定検討委員会要綱」を制定
		▶	調布市・三鷹市職員による事務レベルのプロジェクトチーム「新ごみ処理施設整備基本計画策定推進チーム」を立上げ、基本計画策定に向けた作業を開始
		▶	二枚橋衛生組合議会において「二枚橋衛生組合施設更新の概要の検討結果（中間報告）」が示される。
		▶	「調布市一般廃棄物処理手数料の減免に伴う一般廃棄物指定収集袋交付事務取扱要領」を制定
平成16年	9月	手数料	「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する規則」を改正 家庭系指定収集袋のサイズの変更（燃やせないごみS袋の追加）
		事業	原動機付自転車を収集品目から削除（二輪車リサイクル対応）

年	月	項目	沿 革
平成16年	9月	▶	「ディスプレイ排水処理システムから排出される廃棄物の処理に係る取扱基準」を策定
	10月	▶	メーカー等により二輪車リサイクルの自主取組が開始
		▶	「調布市ごみ減量装置等購入費補助金交付要綱」を改正
		▶	消費者まつりに出展、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催
	11月	団体	二枚橋衛生組合議会において「二枚橋衛生組合施設更新の概要の検討結果」が示され、平成21年度までに調整が整い次第、二枚橋衛生組合を解散することとなった。
		▶	二枚橋衛生組合による焼却場基幹整備工事のため、多摩川衛生組合へ可燃ごみの広域支援が要請される。それに伴い、計画的に可燃ごみを搬送
		▶	一般公募によるごみ処理施設見学会の実施
	12月	団体	調布市・三鷹市にて、新ごみ処理施設の稼動を平成25年度目標とすることで合意
		手数料	家庭系指定収集袋（燃やせないごみS袋）販売開始
		▶	市内5箇所「二枚橋衛生組合施設更新の概要の検討結果」等について住民説明会を行う。
平成17年	1月	事業	自動車リサイクル法施行
	2月	▶	不法投棄防止・放火等防止のための夜間パトロールを直営により実施（2月25日から3月25日までのうち5日間）
	3月	▶	「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する規則」、「調布市廃パーソナルコンピュータに係る一般廃棄物再生利用業の指定に関する規則」及び「調布市地域集団回収事業奨励金交付要綱」を一括改正（不動産登記法関係）。 「不動産登記法」の改正に伴い、各例規条文中的「登記簿謄本」を「登記事項証明書」に変更
		▶	「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する規則」及び「調布市廃パーソナルコンピュータに係る一般廃棄物再生利用業の指定に関する規則」を改正。 行政処分に係る様式（許可通知、納付書、指定通知等）への教示文の追加（行政不服審査法、行政事件訴訟法関係）
		▶	「調布市ごみ減量装置等購入費補助金交付要綱」を改正
		▶	「調布市粗大ごみ再利用事業実施要綱」を改正
		▶	「調布市粗大ごみ再利用事業実施内規」を廃止し、「調布市粗大ごみ再利用事業実施要領」を制定
		▶	「調布市一般廃棄物保管ケース等購入費補助金交付要綱」を改正
		▶	「ごみ対策課情報セキュリティ対策基準」を策定

【平成17年度】

平成17年	4月	▶	「新ごみ処理施設整備基本計画の策定に係る中間報告書」作成
	6月	▶	「分別収集計画」策定
		▶	環境フェアに出展、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催
		▶	調布市一般廃棄物保管ケース等購入費用補助金交付要綱を改正（住民基本台帳や、外国人登録票に記載されていなくても、市内居住の個人・法人を補助の対象とする）
	8月	▶	「新ごみ処理施設整備基本計画の策定に係る建設候補地選定報告書」作成
	9月	▶	「新ごみ処理施設整備に係る処理方式選定委員会」による検討期間。⇒11月答申

年	月	項目	沿 革
平成17年	10月	▶	「リサイクル推進大会」を調布市文化会館たづくり2階くすのきホールにて開催
	12月	▶	不法投棄防止のための夜間パトロールを業務委託により実施（12月1日から12月31日までの毎日）
平成18年	3月	▶	「新ごみ処理施設整備基本計画（素案）」の作成
		団体	「新ごみ処理施設整備基本計画」の策定 ▶ 「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」改正（審議会に部会を置くことができる旨改正） ▶ 「調布市クリーンセンターの管理に関する規則」制定 ▶ 「調布市地域ごみ減量リサイクル活動支援事業補助金交付要綱」制定 ▶ 「調布市新ごみ処理施設整備検討委員会要綱」制定 ▶ 「調布市新ごみ処理施設整備基本計画策定検討委員会要綱」の廃止 ▶ 「調布市家庭ごみ有料化検討委員会要綱」の廃止 ▶ 「調布市ごみ管理基本計画改定検討委員会設置要綱」の廃止 ▶ たづくり映像シアターにて、一般廃棄物収集運搬許可業者向けに説明会を開催（二枚橋衛生組合の現状説明と紙ごみの分別について依頼）

【平成18年度】

平成18年	4月	▶	粗大ごみの収集を直営方式から業者2社への委託に変更
	5月	▶	調布市ごみ処理施設と周辺まちづくりに関する要綱を制定
	6月	団体	ふじみ衛生組合規約を変更（組合の共同処理する事務を変更した。現在、可燃物の焼却施設の経営に関しては、三鷹市は単独で、調布市は二枚橋衛生組合において他の組合構成市と共同で経営（運営）を行っている） (1)それぞれの施設が存する間、両市はそれぞれの施設に限り経営（運営）を行う。 (2)新しい可燃物処理施設が建設できるまでの間は共同で処理する廃棄物には可燃物を除く。
	7月	▶	環境フェア展、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催
		▶	平成18年度第1回廃棄物減量及び再利用促進審議会を開催（「調布市ごみ管理基本計画の見直しについて諮問」）
		▶	調布市ごみ減量装置等購入費補助金交付要綱を一部改正
	8月	▶	循環型社会形成推進地域計画策定協議会（環境省、東京都、ふじみ衛生組合、調布市、三鷹市）を開催
	9月	手数料	調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部改正（塵芥処理手数料） ・事業系廃棄物手数料（持込の場合） 1kg 20円（外税）→31円（内税）（平成19年4月1日施行）
	10月	組織	調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する規則を一部改正（条例改正を受けて規定の整備を行った。平成19年4月1日施行） ▶ 調布市廃棄物手数料の収納事務の委託に関する要綱を制定 ▶ 多摩ニュータウン環境組合地域説明会を開催（3回）
		▶	消費者まつり、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催
		団体	二枚橋衛生組合の焼却炉が順次停止することに伴い、調布市の家庭系燃やせるごみの処理について、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱に基づき、三鷹市へ二枚橋衛生組合を通じ広域支援を要請

年	月	項目	沿 革
平成18年	10月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 一般廃棄物収集運搬許可業者を対象に「事業系一般廃棄物処理手数料の改定及び古紙の資源化」についての説明会を開催（たづくり映像シアター） ▶ 循環型社会形成推進地域計画策定
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 三多摩は一つなり交流事業の実施（東京たま広域資源循環組合補助事業の一環として、日の出町を始め広域支援の関係市である三鷹市、八王子市、町田市、多摩市及び調布市の少年サッカーチームを招待し、F C東京のコーチによるサッカー教室とJリーグの試合観戦を実施。味の素スタジアムほか）
		団体	<p>二枚橋衛生組合の焼却炉が順次停止することに伴い、調布市の家庭系燃やせるごみの処理について、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱に基づき、多摩ニュータウン環境組合へ二枚橋衛生組合を通じ広域支援を要請</p>
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 二枚橋衛生組合同規約を変更（二枚橋衛生組合の共同事務を変更し、組合に収入役を置いていたものを、会計管理者を置くものとする。平成19年4月1日施行） ▶ 東京たま広域資源循環組合同規約を変更（組合に収入役を置いていたものを、会計管理者を置くものとする。平成19年4月1日施行） ▶ ふじみ衛生組合同規約を変更（組合に収入役を置いていたものを、会計管理者を置くものとする。平成19年4月1日施行） ▶ 不法投棄防止の夜間パトロール（12月15日から31日まで）を業務委託により実施
平成19年	1月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ ごみ減量駅前キャンペーン（1月22日から26日まで京王線各駅にて、水切りネットを11,000枚配布し、啓発） ▶ 二枚橋焼却場において、事業系可燃ごみの抜き取り調査・分別指導（1月22日から2月2日まで）を実施
	2月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 調布市ごみ管理基本計画の改訂について－中間まとめ－を発表 ▶ 一般廃棄物収集運搬許可業者を対象に「事業系一般廃棄物処理手数料の改定及び古紙の資源化」についての説明会を開催（たづくり映像シアター） ▶ 粗大リサイクル品の展示売却会を開催（若葉小学校体育館）
	3月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 広域支援体制に伴い、燃やせるごみを積替え、その後各施設に運搬するための施設として調布市一般廃棄物積替施設（調布市西町290番地3）の建設を着工
		団体	<p>二枚橋衛生組合焼却炉全炉停止</p>

【平成19年度】

平成19年	4月	団体	<p>二枚橋衛生組合の焼却炉が全炉停止したことに伴い、調布市の家庭系燃やせるごみの処理について、多摩地域ごみ処理広域支援実施要綱に基づき、三鷹市及び多摩ニュータウン環境組合への広域支援を要請。また、事業系一般廃棄物の処理については埼玉県及び茨城県にある民間の施設へ委託</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 調布市一般廃棄物積替施設が完成するまでの間、暫定的に二枚橋衛生組合でのプラットホームを活用し、多摩ニュータウン環境組合へ搬送する家庭系燃やせるごみについて、収集車（2t）から大型搬送車（10t）への積替を一部実施 ▶ 調布市一般廃棄物積替施設（仮設）にて、埼玉県及び茨城県へ搬送する事業系一般廃棄物を収集車から大型搬送車（10t）への積替えを実施
		手数料	<p>調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例を一部改正（塵芥処理手数料を改定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業系廃棄物手数料（持込の場合）1kg 20円→31円

年	月	項目	沿 革
平成19年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「調布市ごみ管理基本計画の改訂について（中間まとめ）」に対するパブリックコメントを調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会において実施（意見募集期間4月5日～4月26日） ▶ 4月5日号市報から毎月5日発行の市報に「緊急！ごみダイエット通信」を掲載。ごみ処理の現状等についてお知らせするとともに、ごみの減量やリサイクルの推進を広く市民や事業者に応用を行った。
	6月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成18年度に引き続き平成19年度第8回廃棄物減量及び再利用促進審議会を開催（パブリックコメント及び市民アンケート結果の確認） ▶ 「分別収集計画（平成20年度～平成24年度）」を策定
		施設	調布市一般廃棄物積替施設を6月29日に竣工 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境フェアにおいて、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、不法投棄監視ウィークに伴う写真の展示、ごみ減量チラシの配布、利再来留館のPRを実施
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成19年度第9回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会を開催（答申まとめ） ▶ 調布市一般廃棄物積替施設にて、多摩ニュータウン環境組合へ搬送する家庭系燃やせるごみについて、収集車（2t車）から大型搬送車（10t車）への積替えを実施 ▶ リサイクル推進大会を調布市グリーンホール小ホールにて開催
	8月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会から「調布市ごみ管理基本計画の見直し」についての答申を受ける。
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「緊急ごみダイエット ごみゼロ目指し、1人1人が行動を」を標語に掲げたのぼり旗を作製し、公共施設や京王線各駅前に掲示し、ごみ減量のPRを実施
	10月	事業	せん定枝資源化支援事業開始 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「事業系一般廃棄物等処理手数料（持込）及び事業系指定収集袋による廃棄物処理手数料の見直しについて」の説明会を市内37商店街を中心に27箇所で開催（10月15日～11月12日まで） ▶ 「ごみ処理非常事態宣言 緊急ごみダイエット ごみゼロ目指し、1人1人が行動を！」を標語に掲げたポスターを作製し、公共施設や京王線各駅に掲示し、ごみ減量のPRを実施
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）の一環として、日の出町を始め、広域支援の関係市である三鷹市、八王子市、町田市、多摩市及び調布市の少年サッカーチームを招待し、FC東京のコーチによるサッカー教室とJリーグの試合を観戦。その後、FC東京の清掃ボランティアの方と参加者（156人）が味の素スタジアム内の清掃を実施 ▶ 「ごみ減量キャンペーン」（11月19日～30日）を市内17店舗の大型スーパーマーケットの入口周辺において実施。ごみの減量を訴えるとともに「ごみの減量のPRチラシ」及び「水切りネット」を配布
	12月	手数料	「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」を一部改正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業系一般廃棄物等処理手数料（持込） 1kg当たり 31円→49円 ・ 事業系指定収集袋による廃棄物処理手数料（変更） M袋1枚 126円→196円 L袋1枚 252円→392円 ・ 事業系指定収集袋による廃棄物処理手数料（追加） S袋1枚 98円 (平成20年7月1日施行)

年	月	項目	沿 革
平成19年	12月		▶ 不法投棄防止の夜間パトロール（12月15日～31日）を業務委託により実施
平成20年	1月		▶ 調布市一般廃棄物積替施設において事業系可燃ごみの抜き取り調査・分別指導を実施（1月22日～2月2日）
	2月		▶ 「調布市ごみ管理基本計画(平成20年度～平成24年度)」改訂
			▶ 「事業系一般廃棄物等処理手数料（持込等）及び事業系指定収集袋による廃棄物処理手数料の改定について」説明を小・中学校や幼稚園，特別養護老人ホーム等を皮切りに，市内全事業所（6,744）を対象に平成20年6月30日まで実施（平成20年6月30日現在3,154事業所を訪問）
	3月	組織	「調布市災害廃棄物処理計画」を策定
		事業	「災害時におけるし尿の収集及び搬送に関する協定書」を(有)調布清掃及び(株)吉野清掃と締結
			▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（菊野台地域福祉センター，下石原地域福祉センター）

【平成20年度】

平成20年	5月		▶ 味の素スタジアム感謝デーに出展し，粗大ごみリサイクルの取組についてPRを行った。
	6月		▶ 環境フェアにおいて，粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに，ごみ減量チラシの配布，利再来留館のPRを実施
			▶ 社会福祉協議会と連携し，市内3か所で水切りネットを配布（社会福祉協議会会員募集チラシと併せて配布）
	7月	手数料	調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例を一部改正（塵芥処理手数料を改定に伴い） ・ 事業系指定収集袋による廃棄物処理手数料 M袋1枚 126円→196円 L袋1枚 252円→392円 S袋1枚 98円（S袋の販売は平成20年6月から開始）
			▶ 調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例を一部改正（塵芥処理手数料を改定）の施行を受け，旧事業系指定収集袋については，不足金額に相当する調布市事業系一般廃棄物指定収集袋差額シールが貼ってある袋を収集するものとした（差額シールの販売は平成20年6月から開始）。
		手数料	調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例を一部改正（塵芥処理手数料を改定に伴い） ・ 事業系一般廃棄物等処理手数料（持込） 1kg 31円→49円
	8月		▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（入間地域福祉センター）
	9月		▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（染地地域福祉センター）
	10月		▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）の一環として，日の出町を始め，広域支援の関係市である三鷹市，多摩市及び調布市の少年サッカーチームを招待し，FC東京のコーチによるサッカー教室とJリーグの試合を観戦。その後，FC東京の清掃ボランティアの方と参加者（124人）が味の素スタジアム内の清掃を実施 ▶ 消費者まつりに参加し，粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに，せん定枝資源化支援事業の実演及び写真の展示，ごみ減量チラシの配布，利再来留館のPRを実施 ▶ 「オールトヨタ体感フェア2008in味の素スタジアム」に出展し，せん定枝資源化支援事業と利再来留館のPRを実施

年	月	項目	沿 革
平成20年	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業系ごみの減量推進を目的とした、事業所資源回収が梅の湯商店会で開始 ▶ 生ごみ資源化の共同研究に関する覚書を府中市と交わす。 ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭） ▶ 多摩ニュータウン環境組合主催の地域交流ふれあい事業「たまかんフェスタ」に参加。調布市職員共済会の深大寺そば打ち倶楽部の協力を得て、そば打ち講習会を実施。併せてイベント会場において、深大寺そばの販売を行った。
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭） ▶ 不法投棄防止のための夜間パトロール（12月16日～30日）を業務委託により実施
平成21年	1月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「ごみ減量キャンペーン」（1月27日～2月4日）を市内14店舗の大型スーパーマーケットの入口周辺において実施。ごみの減量を訴えるとともにごみの減量のPRチラシ及び水切りネットを配布
	2月	事業	屋外用ごみ保管容器購入費用補助金を廃止（調布市一般廃棄物保管ケース等購入費用補助金交付要綱を平成21年2月2日要綱第7号により廃止、平成21年10月1日から施行）
	3月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）

【平成21年度】

平成21年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	5月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「アースデイin調布」に出展し、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施 ▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展し、ごみ減量のPRチラシ及び水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施
	6月	組織	ごみ対策課の事務機能（環境部清掃担当副参事（ごみ対策課長事務取扱）、ごみ対策課長補佐、庶務係及び減量対策係）の一部が調布市水道庁舎（布田4丁目17番地5）に移転
		事業	おむつ袋のMサイズを導入
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 調布市し尿処理施設及び粗大ごみストックヤードほか新築工事着工 ▶ 環境フェアにおいて、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施 ▶ 第8期調布市廃棄物減量及び再利用促進員大会（リサイクル推進大会）を調布市グリーンホール小ホールにて開催し、促進員委嘱式を行う。 ▶ 社会福祉協議会と連携し、市内3か所で水切りネットを配布（社会福祉協議会会員募集チラシと併せて配布） ▶ 「ごみ減量キャンペーン」（7月23日～31日）を市内14店舗の大型スーパーマーケットの入口周辺において実施。ごみの減量を訴えるとともに、水切りネットを配布 ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 調布市利再来留館新築工事着工
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 調布市クリーンセンター土壌概況調査実施（結果、土壌汚染がないことを確認）
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）の一環として、日の出町民及び調布市民を招待（参加人数82人）して、「深大寺散策と落語鑑賞」を行った。 ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	8月		
	9月		

年	月	項目	沿 革
平成 2 1 年	1 0 月	▶	屋外用ごみ保管容器購入費用補助金を廃止（調布市一般廃棄物保管ケース等購入費用補助金交付要綱を平成21年 2 月 2 日要綱第 7 号により廃止，平成21年10月 1 日から施行）
		▶	多摩ニュータウン環境組合主催の地域交流ふれあい事業「たまかんフェスタ」に参加。調布市職員共済会の深大寺そば打ち倶楽部の協力を得て，そば打ち講習会を実施。併せてイベント会場において，深大寺そば等の販売・パネル展示を行った。
		▶	調布市し尿処理施設及び粗大ごみストックヤードほか新築工事竣工（10月30日）
		▶	消費者まつりに参加し，粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに，せん定枝資源化支援事業の実演及び写真の展示，水切りネットの配布，利再来留館の P R を実施した。
		▶	「オールトヨタ体感フェア2009in味の素スタジアム」に出展し，せん定枝資源化の取組と利再来留館の P R を実施した。
		▶	粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）。（ 4 日開催）
	1 1 月	施設	利再来留館が休館
		▶	調布市クリーンセンター事務所棟賃貸借開始
		組織	ごみ対策課の事務機能（クリーンセンター担当課長及び業務係）が調布市深大寺東町 7 丁目 47 番地 1 に移転
		▶	調布市クリーンセンター（既存施設）解体工事着工
平成 2 2 年	1 2 月	▶	調布市深大寺東町 7 丁目 50 番地 40 の土地について，ふじみ衛生組合に無償譲与する契約を締結し，所有権移転登記を行った。
		▶	粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
		施設	調布市利再来留館新築工事竣工（12月21日）
	1 月	▶	不法投棄防止のための夜間パトロール（12月16日～30日）を業務委託により実施
		▶	粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	2 月	施設	利再来留館運営再開
	3 月	▶	資源ごみストックヤード緑化工事着工
		▶	「第17回 T A M A とことん討論会」を同実行委員会との共催により，調布市グリーンホールにおいて開催
		施設	資源ごみストックヤード緑化工事竣工（3月26日）
		施設	調布市クリーンセンター解体工事竣工（3月30日）
		団体	二枚橋衛生組合解散
		▶	粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
		▶	市民課及び神代出張所にて，ごみ減量啓発のため転入者への水切りネット配布を開始
		▶	「調布市せん定枝資源化支援事業実施要綱」制定

【平成 2 2 年度】

平成 2 2 年	4 月	団体	二枚橋組合解散後の施設解体等の事務を，構成市を代表し管理者の市である小金井市が実施。 組合解散により，構成市による汚染負荷量賦課金納付開始
	5 月	▶	「アースデイin調布」に出展し，粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに，水切りネットの配布，利再来留館の P R 等を実施

年	月	項目	沿 革
平成 2 2 年	5 月		▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展し、ごみ減量の P R チラシ及び水切りネットの配布、利再来留館の P R 等を実施
	6 月		▶ 「オールトヨタ体感フェア2010in味の素スタジアム」に出展し、せん定枝資源化の取組と利再来留館の P R を実施
			▶ 環境フェアにおいて、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館の P R 等を実施
			▶ 緑ヶ丘自治会の協力を得て、水切りネット使用によるごみ減量効果測定を行った（第 1 回目：6 月 25 日～7 月 22 日）。
	7 月		▶ 社会福祉協議会と連携し、市内 2 か所で水切りネットを配布（社会福祉協議会会員募集チラシと併せて配布）
			▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	8 月	団体	ふじみ衛生組合新ごみ処理施設建設工事開始（工期：平成 25 年 3 月）
	9 月		▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）の一環として、日の出町民及び調布市民を招待（参加人数 70 人）して、「深大寺散策と落語鑑賞」を行った。
			▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	1 0 月		▶ 「ごみ減量キャンペーン」（10 月 15 日～25 日）を市内 14 店舗の大型スーパーマーケットの入口周辺において実施。ごみの減量を訴えるとともに、水切りネットを配布
			▶ 多摩ニュータウン環境組合主催の地域交流ふれあい事業の一環として、調布市職員共済会の深大寺そば打ち倶楽部の協力を得て、そば打ち講習会を実施
			▶ 多摩ニュータウン環境組合主催の地域交流ふれあい事業「たまかんフェスタ」に参加。ごみ減量パネル展示、剪定枝チップカーの展示・実演、レクリエーションゲーム等を行った。
平成 2 3 年			▶ 消費者まつりに参加し、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、せん定枝資源化支援事業の実演及び写真の展示、水切りネットの配布、利再来留館の P R を実施
			▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）。（4 日開催）
			▶ 緑ヶ丘自治会の協力を得て、水切りネット使用によるごみ減量効果測定を行った（第 2 回目：10 月 25 日～11 月 19 日）。
	1 1 月		▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
		収集	家電製品の資源化事業開始
	1 2 月		▶ 不法投棄防止のための夜間パトロール（12 月 16 日～30 日）を業務委託により実施
平成 2 3 年			▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	2 月		▶ 旧二枚橋衛生組合施設解体等工事開始（工期：平成 25 年 3 月）
	3 月		▶ 文化会館たづくりにて「生ごみ堆肥化講習会」を開催
			▶ 事業系一般廃棄物の搬出先 2 か所のうち、茨城県にある民間処理施設が東日本大震災により受入不能になったため、長野県の民間処理施設に事業系可燃ごみの一部を搬出
【平成 2 3 年度】			
平成 2 3 年	4 月		▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）

年	月	項目	沿 革
平成23年	4月		▶ 東日本大震災により事業系可燃ごみの受入不能になっていた茨城県の民間処理施設が受入可能になったため、以後埼玉県、長野県、茨城県の3か所に事業系可燃ごみを搬出する。
	5月		▶ 「アースデイin調布」に出展し、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施 ▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展し、ごみ減量のPRチラシ及び水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施
	6月		▶ 環境フェアにおいて、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施 ▶ 東日本大震災による避難世帯に対する廃棄物処理手数料の減免を開始
	7月	事業	「調布市ごみ散乱防止ネット貸与要綱」（平成23年7月29日）廃止 ▶ 「ごみ減量キャンペーン」（7月21日～29日）を市内14店舗の大型スーパーマーケットの入口周辺にて実施。ごみの減量を訴えるとともに、水切りネットを配布
			▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	9月		▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）の一環として、日の出町民及び調布市民を招待（参加人数77人）し、「深大寺散策と落語鑑賞」を実施 ▶ 「オールトヨタ体感フェア2011 in味の素スタジアム」に出展し、せん定枝資源化の取組と利再来留館のPR及び水切りネットの配布を実施 ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	10月		▶ 消費者まつりに参加し、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、せん定枝資源化支援事業の実演及び写真の展示、水切りネットの配布、利再来留館のPRを実施 ▶ 多摩ニュータウン環境組合主催の地域交流ふれあい事業「たまかんフェスタ」に参加。調布市職員共済会の深大寺そば打ち倶楽部の協力を得てのそば打ち講習会、ごみ減量パネル展示、レクリエーションゲーム等を行った。
	11月		▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	12月		▶ 不法投棄防止のための夜間パトロール（12月21日～30日）を業務委託により実施
	平成24年 2月		▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	3月		▶ 多摩川自治会及び自治会8地区C（緑ヶ丘地区）の協力を得て、水切りネット使用によるごみ減量効果測定を行った（3月1日～27日）。 ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭） ▶ 文化会館たづくり、東部公民館及びクリーンセンターにて「生ごみ堆肥化講習会」を開催（参加人数46人）

【平成24年度】

平成24年	4月	▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭） ▶ 東日本大震災による避難世帯に対する廃棄物処理手数料の減免を継続
	5月	▶ 小島町第4自治会の協力を得て、水切りネット使用によるごみ減量効果測定を行った（5月11日～6月5日）。
	6月	▶ 環境フェアにおいて、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施

年	月	項目	沿 革
平成24年	6月		▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展し、ごみ減量のPRチラシ及び水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施
	7月		▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭） ▶ 平成24年度第3回廃棄物減量及び再利用促進審議会を開催。廃棄物減量及び再利用促進審議会が次期一般廃棄物処理基本計画における施策について、市長から諮問 ▶ 廃棄物減量及び再利用促進員の協力により「ごみ減量キャンペーン」（7月11日～20日）を市内14店舗の大型スーパーマーケットの入口周辺にて実施。ごみの減量を訴えるとともに、水切りネットを配布
	8月		▶ 古紙ストックヤード入口拡張工事開始（工期：10月12日） ▶ ビン積替場所移転に先立ち移転予定地周辺自治会連合会役員に対し説明会を開催
		団体	ふじみ衛生組合の平成24年第3回組合議会定例会において、ふじみ衛生組合廃棄物処理に関する条例の一部改正を可決。これまで構成市である調布市及び三鷹市は、各市の条例で事業系一般廃棄物等処理手数料を定めていたが、平成25年4月からの新ごみ焼却施設稼働に伴い、ふじみ衛生組合にて事業系一般廃棄物等処理手数料（持込分）を定めることとした。平成25年4月1日施行
	9月		▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）の一環として、日の出町民及び調布市民を招待（参加人数74人）して、「深大寺散策と落語鑑賞」を行った。 ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
		手数料	「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」を一部改正（平成25年4月1日施行） ・平成25年4月から事業系一般廃棄物等処理手数料（持込分）の削除（ふじみ衛生組合にて徴収） ・一般廃棄物等保管場所設置基準の改定 ・し尿処理手数料の改定（仮設便所のみ） ・共通の廃棄物処理券導入（特定廃棄物処理券） 粗大ごみ、し尿、動物死体処理について、共通の廃棄物処理券対応 ・事業系一般廃棄物処理手数料（指定収集袋）の改定
			▶ 「わたしにもできるごみ減量やリサイクル」をテーマとした市内在住・在学の小学生から募集したポスターを、文化会館たづくり北ギャラリー及びみんなの広場にて展示（9月28日から10月4日まで）
	10月		▶ 消費者まつりに参加し、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、せん定枝資源化支援事業の実演及び写真の展示、水切りネットの配布、利再来留館のPRを実施 ▶ 古紙ストックヤード入口拡張工事竣工（10月12日） ▶ 多摩ニュータウン環境組合主催の地域交流ふれあい事業「たまかんフェスタ」に参加。ごみ減量パネル展示、レクリエーションゲームを行った。あわせて調布市職員共済会の深大寺そば打ち倶楽部の協力を得てそば打ち講習会を実施
	11月		▶ ビン積替場所移転に先立ち、移転予定地周辺自治会員を対象に説明会を開催 ▶ ビン積替場所移転に先立ち、調布市西町714-4財務省関東財務局所管の調布基地跡地を借り受け、土地整備を実施 ▶ クリーンプラザふじみでの試験焼却開始に伴い可燃系一般廃棄物搬送及び処理委託が終了

年	月	項目	沿 革
平成24年	11月	団体	クリーンプラザふじみ稼働に伴い多摩ニュータウン環境組合への広域支援終了。埼玉県及び茨城県の民間施設へ依頼していた事業系一般廃棄物の処理委託終了
	12月	施設	<p>▶ 一般廃棄物積替施設解体工事開始（工期：平成25年5月31日）</p> <p>ビン積替場所を調布市西町714-4財務省関東財務局所管の調布基地跡地に移転</p> <p>▶ ビン積替場所に関する説明会を富士見町全世帯を対象に開催</p> <p>▶ 廃棄物減量及び再利用促進審議会から、次期一般廃棄物処理基本計画における施策の方向性について市長が答申を受ける。</p>
平成25年	1月	施設	<p>調布駅南口事務所移転（布田4丁目17番地5から、布田4丁目20番地2調布シティビル2階へ）</p> <p>▶ 「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」一部改正（平成25年4月1日施行、事業系一般廃棄物処理手数料、事業系指定収集袋及び特定廃棄物処理券の変更）に伴い、事業者及び指定収集袋等取扱店に対し説明会を実施（事業者向け説明会：9回、参加299社。取扱店向け説明会：3回、参加者39店舗）</p> <p>▶ ペルー視察受入れ</p>
	2月		▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）
	3月		<p>▶ 調布市クリーンセンター機能移転に関する調査報告書発行</p> <p>▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前庭）</p> <p>▶ 不法投棄防止のための夜間パトロールを業務委託により実施（3月22日～31日の金・土・日 午後6時～午前0時）</p>
		団体	<p>小金井市が二枚橋衛生組合構成市を代表して実施をしていた同組合施設解体工事等が竣工</p> <p>▶ 文化会館たづくりにて「生ごみ堆肥化講習会」を開催（参加人数32人）</p> <p>▶ ビン積替場所に関する説明会を富士見町全世帯を対象に開催</p> <p>▶ 平成25年度から34年度を計画期間とする「調布市一般廃棄物処理基本計画」を策定</p>

【平成25年度】

平成25年	4月	団体	ふじみ衛生組合の新ごみ焼却施設「クリーンプラザふじみ」本稼働
		収集	分別区分の変更。皮製品・布製品・ゴム類を不燃ごみから可燃ごみへ。スプレー缶をカンから有害ごみへ。
		団体	ふじみ衛生組合廃棄物処理に関する条例の一部改正 廃棄物処理手数料（持込分）を350円/10kgに規定
		手数料	「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」から事業系一般廃棄物等処理手数料（持込分）の規定を削除（ふじみ衛生組合にて徴収）
		手数料	<p>調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例を一部改正（事業系一般廃棄物処理手数料の改定）</p> <p>・事業系指定収集袋による廃棄物処理手数料</p> <p>S袋1枚 98円→50円</p> <p>M袋1枚 196円→125円</p> <p>L袋1枚 392円→285円</p> <p>※事業系指定収集袋の色を赤色から緑色に変更</p>

年	月	項目	沿 革
平成25年	4月	手数料	事業系指定収集袋を使用して排出している事業所に対し、事業所で所有している旧事業系指定収集袋（赤色）を新事業系指定収集袋（緑色）に等価交換を開始。等価交換は、平成25年度末まで対応。交換場所は、4月のみ調布市役所2階市民ロビーにて対応。あわせて、市内各地域福祉センターにて通年交換対応
		事業	粗大ごみ・し尿・動物死体処理について、共通の廃棄物処理券対応開始。これにより、従来の「粗大ごみ処理券」から「特定廃棄物処理券」に変更
		手数料	仮設便所のし尿処理手数料変更 ・ 1 便槽 5,250円→7,560円 ・ 納付方法は、納付書から特定廃棄物処理券での支払いに変更
			▶ 東日本大震災による避難世帯に対する廃棄物処理手数料の減免を継続
		収集	おむつの排出について、専用のおむつ袋のほか、透明または半透明の袋でも排出できるように変更 ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前）
	5月	施設	一般廃棄物積替施設解体工事完了 ▶ 「アースデイin調布」に出店し、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施
	6月		▶ 環境フェアにおいて、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施 ▶ 市民団体「調布ごみ市民会議」の協力を得て、調布市染地2丁目50番地の市有地にて、生ごみ堆肥化モデル事業を開始。平成27年3月までの予定
	7月		▶ 第10期調布市廃棄物減量及び再利用促進員大会を開催し、促進員委嘱式及び活動報告を実施 ▶ 廃棄物減量及び再利用促進員の協力により「ごみ減量キャンペーン」（7月23日～31日）を市内14店舗の大型スーパーマーケットの入口周辺にて実施。ごみの減量を訴えるとともに、水切りネットを配布 ▶ 市内在住・在学の親子を対象とした「夏休み企画 第1回ごみ探検隊」を開催（施設見学 クリーンプラザふじみ・ニッ塚最終処分場） ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前）
	8月		▶ 市内在住・在学の親子を対象とした「夏休み企画 第2回ごみ探検隊」を開催（施設見学 クリーンプラザふじみ・ニッ塚最終処分場）
	9月		▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前） ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）の一環として、日の出町民及び調布市民を招待（参加人数80人）して、「深大寺散策、落語鑑賞及びクリーンプラザふじみ見学（日の出町民対象）」を実施 ▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとした市内在住・在学の小学生から募集したポスターを、文化会館たづくりみんなの広場にて展示（9月28日から10月3日まで）
	10月		▶ 調布市ふれあい収集実施要綱の一部改正により、利用対象者を拡充 ▶ 廃棄物減量及び再利用促進員を対象としたクリーンプラザふじみ見学会及び懇談会を3回実施（参加者46人） ▶ モザンビーク視察受入れ
	11月		▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展し、ごみ減量のPRチラシ及び水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施

年	月	項目	沿 革
平成25年	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前） ▶ ふじみ衛生組合主催の「第1回ふじみまつり」に参加。ごみ減量パネル展示，レクリエーションゲーム，チップカーの展示・実演を実施 ▶ 消費者まつりに参加し，粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに，水切りネットの配布，利再来留館のPRを実施
	12月	団体	三鷹・調布地域循環型社会形成推進地域計画を策定し，東京都を経て環境省に提出 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ビン積替場所移動に先立ち，舗装工事及び擁壁設置工事を実施し，砂塵防止や安全対策を図る。 ▶ ビンの積替作業をより広い場所で行うため，ビン積替場所として財務省関東財務所管の調布基地跡地の別区画を借用 ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前）
平成26年	1月	収集	調布市せん定枝資源化支援事業実施要綱の一部改正 ・ 利用対象者に集合住宅及び事業所を追加 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ビン積替場所を財務省関東財務所管の調布基地跡地の同跡地内に移動 ▶ 緑ヶ丘団地自治会の協力を得て，水切りネット使用によるごみ減量効果測定を実施（1月20日～2月14日） ▶ 文化会館たづくりにて，市内事業所を対象に事業所懇談会を開催
	2月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文化会館たづくりにて「生ごみ堆肥化講習会」を開催（参加人数のべ23人）。2月18日と3月6日の2日間を初級者編とし，受講者は2日間受講。3月13日にレベルアップ編を開催
	3月	組織	「調布市災害廃棄物処理マニュアル」策定 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 不法投棄防止のための夜間パトロール（3月20日・3月22日～3月30日の金・土・日）を業務委託により実施 ▶ 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（市役所前）

【平成26年度】

平成26年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 東日本大震災による避難世帯に対する廃棄物処理手数料の減免を継続 ▶ 東京たま広域資源循環組合規約を変更（東京自治会館（府中市）内にあった事務所を二ツ塚処分場内へ移転。平成26年4月1日施行） ▶ 調布市新ごみ処理施設整備検討委員会要綱を廃止 ▶ せん定枝資源化支援事業業務委託開始
	5月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 仙川親和会の協力を得て，水切りネット使用によるごみ減量効果測定を実施（5月13日～6月6日） ▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展し，ごみ減量のPRチラシ及び水切りネットの配布，利再来留館のPR等を実施 ▶ 「アースデイin調布」に出店し，粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに，水切りネットの配布，利再来留館のPR等を実施
	6月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 開催予定だった環境フェアは，荒天により中止 ▶ 市内で降ひょう。特に被害が多かった東つつじヶ丘1丁目地域を中心に，ごみ処理手数料を一部減免
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市内在住・在学の小学生の子どもと保護者を対象とした「夏休み企画 第1回ごみ探検隊」を開催（施設見学 クリーンプラザふじみ・二ツ塚最終処分場）

年	月	項目	沿 革
平成26年	8月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 個人情報の保護を図るため、また、適正排出を促進するため、特定廃棄物処理券の書式を変更。受付番号（氏名に代わるもの）、部屋番号及び収集日の記入欄を追加。8月1日施行 ▶ 市立第八中学校にて粗大ごみ再生品の展示売却会を開催 ▶ 市内在住・在学の小学生の子どもと保護者を対象とした「夏休み企画 第2回ごみ探検隊」を開催（施設見学 クリーンプラザふじみ・ニッ塚最終処分場）
		収集	<p>有用金属のさらなる再資源化を図るため、「燃やせないごみ」として収集している使用済小型家電製品について、専用の回収ボックスによる拠点回収の試行を開始（本庁ごみ対策課窓口・神代出張所・クリーンセンターの3か所）</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）の一環として、日の出町民及び調布市民を招待（参加人数74人）して、「深大寺散策、落語鑑賞及びクリーンプラザふじみ見学（日の出町民対象）」を実施
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとした市内在住・在学の小・中学生から募集したポスターを、文化会館たづくりみんなの広場にて展示（6日から14日まで）。展示数は123点 ▶ スマートライフフェスタ（平成25年度までは「消費者まつり」）に参加し、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館のPRを実施
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 廃棄物減量及び再利用促進員の協力により「ごみ減量キャンペーン」（10日～18日）を市内14店舗の大型スーパーマーケットの入口周辺にて実施。ごみの減量を訴えるとともに、水切りネットを配布 ▶ ふじみ衛生組合主催の「第2回ふじみまつり」に参加。ごみ減量パネル展示、レクリエーションゲーム、チャッパ車の展示・実演を実施
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとしたポスター作品について、学校の授業の一環として取り組んだ飛田給小学校に対し、感謝状を贈呈
		事業	<p>「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」を一部改正。資源物の持去り行為を禁止し、禁止命令に違反した場合の罰則を規定。平成27年4月1日施行</p>
平成27年	1月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 廃棄物減量及び再利用促進員を対象とした小型廃家電処理施設（株式会社リーテム東京工場）見学会を実施（参加者26人）
	3月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文化会館たづくりにて「生ごみ堆肥化講習会」を開催（1日・4日・10日の3回開催。参加人数延べ33人） ▶ 平成27年3月で終了予定であった生ごみ堆肥化モデル事業について、継続を決定（平成28年3月末まで）。今後は1年毎に事業継続を検討することとした。 ▶ 不法投棄防止のための夜間パトロール（3月20日、3月22日～3月29日の金・土・日）を業務委託により実施

【平成27年度】

平成27年	4月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 資源物持去り禁止条例施行 ▶ 東日本大震災による避難世帯に対する廃棄物処理手数料の減免を継続
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ アースデイ出展。粗大ごみ再生品展示売却会を開催（調布駅南口広場）
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境フェアにおいて、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施

年	月	項目	沿 革
平成27年	6月		▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展し、ごみ減量のPRチラシ及び水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施
	7月	手数料	調布市一般廃棄物処理手数料収納事務委託料単価を改定（消費税8%に対応） <ul style="list-style-type: none"> ・家庭系燃やせるごみ・燃やせないごみ <ul style="list-style-type: none"> S袋1組（10枚） 8.4円→8.6円 M袋1組（10枚） 27.3円→28.0円 L袋1組（10枚） 55.6円→57.2円 LL袋1組（10枚） 84円→86.4円 ・事業系指定収集袋 <ul style="list-style-type: none"> S袋1組（10枚） 50円→51.4円 M袋1組（10枚） 125円→128.5円 L袋1組（10枚） 285円→293.1円 ・特定廃棄物処理券 <ul style="list-style-type: none"> 315円券（1枚） 31.5円→32.4円 630円券（1枚） 63.0円→64.8円
			▶ 調布市制施行60周年促進員大会開催 開催日時 平成27年7月1日（水） 午後1時30分から4時まで 開催場所 文化会館たづくり12階大会議場 来場者 51人 内容等 促進員についての説明、促進員活動報告、グループトーク
	8月		▶ 富士見町1丁目小型飛行機墜落事故（平成27年7月26日）による罹災ごみ収集を実施 ▶ 市立若葉小学校にて粗大ごみ再生品の展示売却会を開催 ▶ 市内在住・在学の親子を対象とした「夏休み企画 第1回ごみ探検隊」を開催（施設見学 クリーンプラザふじみ・ニツ塚最終処分場）
	9月	事業	羽毛布団リサイクル事業開始
	10月		▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとした市内在住・在学の小・中学生から募集したポスターを、文化会館たづくりみんなの広場にて展示（7日から13日まで）。展示数は276点 ▶ スマートライフフェスタ（平成25年度までは「消費者まつり」）出展。粗大ごみ再生品展示売却会を開催（調布駅南口広場） ▶ 文化会館たづくりにて「生ごみ堆肥化講習会」を開催。初級編として10月24日・30日に開催し、アフターフォロー編として11月24日と30日に開催。（参加人数延べ28人）
	11月		▶ 廃棄物減量及び再利用促進員の協力により「ごみ減量キャンペーン」（9日～17日）を市内14店舗の大型スーパーマーケットの入口周辺にて実施。ごみの減量を訴えとともに、水切りネットを配布 ▶ 二枚橋衛生組合ごみ焼却場跡地の売買及び利用並びに都市計画変更に関する覚書きを締結（調布市・府中市・小金井市） ▶ ふじみ衛生組合主催の「第3回ふじみまつり」に参加。レクリエーションゲーム、チッパー車の展示・実演を実施 ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）。日の出町民及び調布市民を招待（参加人数76人）して、「①ニツ塚処分場見学（車窓）、②深大寺散策、③ミニコンサート、④クリーンプラザふじみ見学（④日の出町民対象）」を実施

年	月	項目	沿 革
平成27年	12月	団体	三鷹・調布地域循環型社会形成推進地域計画を変更し、東京都を経て環境省に提出
平成28年	1月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとしたポスター作品について、学校の授業の一環として取り組んだ市立小学校3校（飛田給小学校・八雲台小学校・石原小学校）に対し、感謝状を贈呈 ▶ 廃棄物減量及び再利用促進員を対象とした施設見学会（森永乳業東京多摩工場・クリーンプラザふじみ）を実施（参加者30人）
	2月		▶ データベースによる減免管理システム導入（導入前はエクセルで対応）。平成28年度減免から稼働開始
	3月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロール（3月9日、3月16日、3月23日）を業務委託により実施 ▶ 不法投棄防止のための夜間パトロール（3月18日～3月20日及び3月25日～3月27日の金・土・日）を業務委託により実施 ▶ 「行政不服審査法」の改正に伴い、「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する規則」及び「調布市家庭から排出される廃パーソナルコンピュータに係る一般廃棄物再生利用業の指定に関する規則」を一括改正

【平成28年度】

平成28年	4月		▶ 東日本大震災による避難世帯に対する廃棄物処理手数料の減免を継続
	6月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境フェアにおいて、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに、水切りネットの配布、利再来留館のPR等を実施 ▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展し、ごみ減量のPRチラシおよび水切りネットの配布、利再来留館のPRを実施 ▶ スマートライフフェスタに参加し、粗大ごみ再生品展示、水切りネットの配布、利再来留館のPR、チッパー車の展示・実演を実施
		団体	都市計画（調布都市計画「二枚橋衛生組合ごみ焼却場」）廃止に関する説明会を開催
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市内在住・在学の親子を対象とした「夏休み企画 ごみ探検隊」を開催（施設見学 クリーンプラザふじみ・二ツ塚最終処分場） ▶ 調布市クリーンセンター機能移転事業に係る整備工事設計を委託により実施（履行期間 平成28年7月1日から平成29年3月22日まで） ▶ 調布市クリーンセンター機能移転に係る生活環境影響調査を委託により実施（履行期間 平成28年7月8日から平成29年3月31日まで）
	8月		▶ 第1回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会開催。廃棄物減量及び再利用促進審議会に対し、ごみ・資源物の分別区分の見直しについて、市長が諮問
		事業	調布市ごみアプリを配信開始
			▶ 市立若葉小学校にて粗大ごみ再生品の展示売却会を開催
		団体	都市計画（調布都市計画「二枚橋衛生組合ごみ焼却場」）廃止を告示
			▶ 市内在住・在学の親子を対象とした「夏休み企画 ごみ探検隊」を開催（施設見学 クリーンプラザふじみ・二ツ塚最終処分場）。
	9月		▶ 環境美化情報システム機器等賃貸借契約の終了に伴い、新システムの地域集団回収事業管理システムを導入

年	月	項目	沿 革
平成28年	10月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）。日の出町民及び調布市民を招待（参加人数76人）して、「①ニッ塚処分場見学，②クリーンプラザふじみ見学，③深大寺散策，④落語鑑賞（①②日の出町民対象）」を実施 ▶ 文化会館たづくりにて「生ごみ堆肥化講習会」を開催。初級編として10月22日・28日に開催し，アフターフォロー編として11月18日と25日に開催し，生ごみ堆肥で花や野菜づくり編として11月25日に開催。（参加延人数33人） ▶ 「これならできごみ減量とリサイクル」をテーマとした市内在住・在学の小・中学生から募集したポスターを，文化会館たづくりみんなの広場で6日から12日まで展示。展示数152点
		施設	土地利用構想（調布市クリーンセンター整備工事）説明会を開催
		11月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ふじみ衛生組合主催の「第4回ふじみまつり」に参加。レクリエーションゲーム，チッパー車の展示・実演を実施 ▶ 廃棄物減量及び再利用促進員の協力により「ごみ減量キャンペーン」（7日～14日）を市内14店舗の大型スーパーマーケットの入口周辺にて実施。ごみの減量を訴えとともに，水切りネットを配布
平成29年	12月	施設	開発事業（調布市クリーンセンター整備工事）説明会を開催
	2月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを業務委託により実施 ▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを業務委託により実施 ▶ 第3回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会開催。廃棄物減量及び再利用促進審議会が，ごみ・資源物の分別区分の見直しについて建議書を提出
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 染地ふれあいの家にて粗大ごみ再生品の展示売却会を開催
		施設	調布市クリーンセンター機能移転事業用地として府中市の所有地の一部（約2,200㎡）を取得
	3月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 調布市クリーンセンター機能移転事業に係る整備工事設計委託完了 ▶ 調布市クリーンセンター機能移転に係る生活環境影響調査委託完了 ▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを業務委託により実施 ▶ 不法投棄防止のための夜間パトロールを業務委託により実施 ▶ 都市鉱山からつくる！2020みんなのメダルプロジェクトへの参加（3/29）

【平成29年度】

平成29年	4月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 東日本大震災による避難世帯に対する廃棄物処理手数料の減免を継続
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境フェアにおいて，粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに，水切りネットの配布，利再来留館のPR等を実施。会場内飲食店にて初めてリユース食器を導入 ▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展し，ごみ減量のPRチラシおよび水切りネットの配布，利再来留館のPRを実施 ▶ 中学生職場体験（調布中学校）
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市立緑ヶ丘小学校にて粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（7/24）
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市内在住・在学の親子を対象とした「夏休み企画 ごみ探検隊」を開催（施設見学 クリーンプラザふじみ・ニッ塚最終処分場）
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）。日の出町民及び調布市民を招待（参加人数77人）して、「①ニッ塚処分場見学，②深大寺散策，③落語鑑賞，④クリーンプラザふじみ見学（①④日の出町民対象）」を実施

年	月	項目	沿 革
平成 2 9 年	9 月		▶ 中学生職場体験（第 5 中学校・第 7 中学校）
	1 0 月	施設	<p>調布市クリーンセンター整備工事に関する説明会を開催し、当該工事に着手</p> <p>▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとした市内在住在学の小中学生から募集したポスターを、文化会館たづくり11階みんなの広場で5日から11日まで235点を展示</p> <p>▶ 「生ごみ堆肥化講習会」の初級編を11月10日・18日に開催し、アフターフォロー編を12月 8 日・15日に開催した。生ごみ堆肥で花や野菜づくり編を12月15日に開催した。受講延べ人数35名、開催場所・調布市文化会館たづくり 8 階研修室</p> <p>▶ 「ごみ減量キャンペーン」を廃棄物減量及び再利用促進員延べ47人の協力により16日から24日まで、市内14店舗の大型スーパーマーケット等にて実施。水切ネット7,750組を配布し、ごみの減量を訴えた。</p>
	1 1 月		▶ ふじみ衛生組合主催の「第 5 回ふじみまつり」に参加。レクリエーションゲーム、チッパー車の展示・実演を実施
	1 2 月	団体	<p>三鷹・調布地域循環型社会形成推進地域計画を変更し、東京都を経て環境省へ提出</p> <p>▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを業務委託により実施</p> <p>▶ 第 5 回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会「エコフェスタちょうふ」開催 開催日時 平成29年12月 3 日（日）午後 1 時30分から 3 時30分まで 開催場所 調布市文化会館たづくり12階大会議場 来 場 者 180人 内 容 等 小中学生ポスター作品展入賞者表彰式、工作体験、 小型家電解体体験、クイズ大会、抽選会、パネル展示を実施</p> <p>▶ 全国おいしい食べきり運動ネットワークに加入</p>
			▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを業務委託により実施
平成 3 0 年	1 月		▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを業務委託により実施
	3 月	事業	文化振興課の組織改正に伴い、調布市ごみ減量及びリサイクル推進本部要綱を改正（改正日3月30日、施行日4月1日）
		事業	調布市クリーンセンター等管理運営業務委託の事業者候補の選定（プロポーザル方式）を行い、決定
		事業	様式変更に伴い、調布市資源物地域集団回収事業奨励金交付要綱を一部改正（改正日 2 月26日、施行日 4 月 1 日）
		手数料	廃棄物処理手数料の減免措置における別表第 2 の変更に伴い、調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する規則の一部を改正（改正日 3 月28日、施行日 4 月 1 日）
		事業	<p>申請内容の差違の抑制における別表第 2 の変更に伴い、調布市ごみ減量装置等購入費補助金交付要綱の一部を改正（改正日 3 月 6 日、施行日 4 月 1 日）</p> <p>▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを業務委託により実施</p> <p>▶ 不法投棄防止のための夜間パトロールを業務委託により実施</p> <p>▶ 市立調布ヶ丘地域福祉センターにて粗大ごみ再生品の展示売却会を開催（3 /12）</p>

【平成 3 0 年度】

平成 3 0 年	4 月	▶ 東日本大震災による避難世帯に対する廃棄物処理手数料の減免を継続
----------	-----	-----------------------------------

年	月	項目	沿 革
平成30年	6月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境フェアにおいて、粗大ごみ再生品の展示売却会を開催し利再来留館のPRを実施するとともに水切りネットを配布し、ごみの減量を促進した。昨年に引き続き会場内飲食店においてリユース食器を活用 ▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展し、ごみ減量及び利再来留館のPRを実施
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市内在住・在学の親子を対象とした「夏休み企画 ごみ探検隊」を開催（施設見学 クリーンプラザふじみ・ニッ塚最終処分場）
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「ごみ減量キャンペーン」を実施した。参加した廃棄物減量及び再利用促進員は延べ44人で市内大型店舗14店で水切りネット9,350組を配布しごみ減量のPRを行った。 ▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとした市内在住在学の小中学生から募集したポスターを、文化会館たづくり11階みんなの広場で展示した。展示総数245作品 ▶ 「生ごみたい肥化講習会」の初級編及びアフターフォロー編・生ごみ堆肥で花や野菜づくり編を開催した。延べ受講人数28人 ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）日の出町民及び調布市民を招待（参加人数72人）して、「①ニッ塚処分場見学、②深大寺散策、③落語鑑賞、④クリーンプラザふじみ見学（①④日の出町民対象）」を実施
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 調布市廃棄物減量及び再利用促進員向け広報誌「促進員ニュース」創刊号を発行 ▶ ふじみ衛生組合主催の「第6回ふじみまつり」に参加。レクリエーションゲーム、チッパー車の展示・実演を実施
		事業	調布市粗大ごみ再利用事業実施要綱の一部改正（再生品の売却趣旨を明記） （改正日3月29日、施行日4月1日）
	12月	手数料	調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例を一部改正（クリーンセンターに粗大ごみを持ち込む場合の処理手数料を品目別に定めていたが、粗大ごみを持ち込む場合の処理手数料を搬入重量10kg毎に300円（現金払い）に変更。クリーンセンターに搬入されるし尿の処理手数料の規定を1kgごとに9,000円と定めた。一般廃棄物管理票の廃止など） （改正日12月18日、施行日4月1日）
		施設	新クリーンセンター竣工（野水2-1-1） <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマにした小中学生ポスター作品入賞者表彰式及び応募協力校への感謝状贈呈式を市長公室で開催 ▶ 三鷹市及びふじみ衛生組合と連携し水銀回収キャンペーンを実施
		事業	調布市一般廃棄物処理基本計画（改訂版）素案に係るパブリックコメントを実施
	1月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新クリーンセンターの内覧会を開催
		施設	クリーンセンター移転（深大寺東町→野水）、試験稼働開始 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 廃棄物減量及び再利用促進員を対象とした施設見学会（三芳町環境センター・調布市新クリーンセンター）を実施した。参加者20人
平成31年	3月	施設	調布市粗大ごみ再利用事業実施要綱の一部改正（利再来留館の開館日時の拡大など） （改正日3月26日、施行日4月1日）

年	月	項目	沿 革
平成31年	3月	施設	調布市クリーンセンターの管理に関する規則を一部改正（規則名を「調布市クリーンセンターの運営に関する規則」に変更。事業種類を業務種類に変更し、再規定。クリーンセンターの操業日時の拡大など） （改正日3月29日、施行日4月1日）
		収集	調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する規則を一部改正（規則名を「調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例施行規則」に変更。シュレッダーごみを、可燃ごみから資源ごみへ変更など） （改正日3月29日、施行日4月1日）
			<ul style="list-style-type: none">▶ 第7回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会開催。同審議会が調布市一般廃棄物処理基本計画の改定について建議書を市長に提出▶ 調布市一般廃棄物処理基本計画（改訂版）を策定▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを業務委託により実施▶ 不法投棄防止のための夜間パトロールを業務委託により実施

【令和元年度】

平成31年 令和元年	4月	施設	新クリーンセンター本稼働開始 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 収集方法の一部変更 「シュレッダーごみ」・「枝・草・葉」の無料収集の開始 「汚れが落ちない容器包装プラスチック」を燃やせるごみで収集開始 「モバイルバッテリーと電子タバコ」を有害ごみで収集開始 「粗大ごみの持込み方法」を変更し、持込み手数料を重量に応じて現金払いとした。 ▶ 東日本大震災による避難世帯に対する廃棄物処理手数料の減免を継続 ▶ 環境フェア参加 粗大ごみ再生品の展示売却会を開催。利再来留館のPRを実施するとともに水切りネットを配布し、ごみの減量を促進した。 会場内飲食店においてリユース食器を活用した。 今年度は初めて東京都の協力のもと、海洋プラスチックごみ対策として紙ストローを配布した。 ▶ 「味の素スタジアム感謝デー」に出展。ごみ減量及び利再来留館のPRを実施した。
	6月		
	7月	事業	「調布市クリーンセンター通信」創刊号を発行 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 第13期調布市廃棄物減量及び再利用促進員大会を開催し、促進員委嘱式及び活動報告を実施 ▶ ごみの組成分析調査を開始した。11品目→54品目で実施 ▶ 第1回運営状況報告会地域住民説明会実施 府中市及び小金井市の近隣住民を対象に開催。参加人数5人 ▶ 「ごみ減量キャンペーン」を実施 参加した廃棄物減量及び再利用促進員 延べ42人 市内大型店舗14店で水切りネット10,050組を配布し、ごみ減量のPRを行った。 ▶ 減量対策・リサイクル事業 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとした市内在住在学の小中学生から募集したポスターを、文化会館たづくり11階みんなの広場で展示した。展示総数231作品
	9月		
	10月		

年	月	項目	沿 革
令和元年	10月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ ごみの減量やリサイクルをテーマにした川柳「ちょうふエコ川柳」を初めて募集し、文化会館たづくり11階みんなの広場で展示した。 応募人数131人、応募作品377句 ▶ 「生ごみたい肥化講習会」の初級編及びアフターフォロー編・生ごみ堆肥で花や野菜づくり編を開催した。延べ受講人数26人 ▶ 家庭系一般廃棄物指定収集袋（燃やせるごみ及び燃やせないごみ）のLLサイズ袋（45リットル相当）について、調布市役所本庁ごみ対策課窓口にてばら売り（1枚単位の販売）を開始
		手数料	調布市一般廃棄物処理手数料収納事務委託料単価を改定（消費税10%に対応） <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭系燃やせるごみ袋・燃やせないごみ袋 <ul style="list-style-type: none"> S袋1組（10枚） 8.6円→8.8円 M袋1組（10枚） 28.0円→28.6円 L袋1組（10枚） 57.2円→58.3円 LL袋（1枚） 86.4円→88.0円 ・ 事業系指定収集袋 <ul style="list-style-type: none"> S袋1組（10枚） 51.4円→52.4円 M袋1組（10枚） 128.5円→130.9円 L袋1組（10枚） 293.1円→298.5円 ・ 特定廃棄物処理券 <ul style="list-style-type: none"> 315円券（1枚） 32.4円→33円 630円券（1枚） 64.8円→66円
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業） 日の出町民及び調布市民を招待（参加人数70人）して、「①ニッ塚処分場見学、②深大寺散策、③落語鑑賞、④クリーンプラザふじみ見学（①④日の出町民対象）」を実施 ▶ 台風19号における災害ごみの対応 令和元年10月12日の台風19号による浸水被害等により発生した災害ごみについて、無償で収集・処分を実施（～3月）
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ ふじみ衛生組合主催の「第7回ふじみまつり」に参加。レクリエーションゲーム、チッパー車の展示・実演を実施 ▶ 第6回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会「エコフェスタちょうふ」開催 開催日時 令和元年12月8日（日）午後1時から3時30分まで 開催場所 調布市文化会館たづくり12階大会議場 来場者 202人 内容等 「これならできるごみ減量とリサイクル」小中学生ポスター作品展及び「令和元年度ちょうふエコ川柳」入賞者表彰式及び感謝状贈呈式、工作体験、小型家電解体体験、クイズ大会、抽選会、パネル展示等を実施
令和2年	1月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会委員と調布市廃棄物減量及び再利用促進員を対象とした施設見学会（町田市剪定枝資源化センター・川崎市王禅寺処理センター）を実施。参加者21人
	3月	団体	ふじみ衛生組合でリサイクルセンター整備基本構想を策定 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 第2回運営状況報告会地域住民説明会を開催。府中市及び小金井市の近隣住民が対象。参加人数4人 ▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを業務委託により実施

年	月	項目	沿 革
---	---	----	-----

【令和2年度】

令和2年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い利再来留館を休館 ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い調布市クリーンセンターへの粗大ごみの持ち込みについて、受付を一時休止
	6月	組織	ごみ対策課調布駅南口事務所（庶務係・減量対策係）を調布市クリーンセンター（野水2-1-1）に移転・統合
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを職員で実施 ▶ 家庭系一般廃棄物指定収集袋（燃やせるごみ及び燃やせないごみ）のLLサイズ袋（45リットル相当）について、一部取扱店にてばら売り（1枚単位の販売）を開始 ▶ クリーンセンター作業棟及び管理棟に空調設備設置
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市報ちょうふ9月20日号でごみ減量キャンペーンに関する特集を掲載
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 粗大ごみ臨時販売会をクリーンセンター内で開催 ▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとした市内在住在学の小中学生から募集したポスターを、文化会館たづくり11階みんなの広場で展示した。展示総数261作品 ▶ ごみの減量やリサイクルをテーマにした川柳「ちょうふエコ川柳」を初めて募集し、文化会館たづくり11階みんなの広場で展示した。展示総数281作品 ▶ ごみ減量キャンペーンを内容変更して実施。 市内大型店舗店頭から市内施設の窓口での配布に変更。配布する水切りネットは新素材（生分解性の素材）のものとした。 ▶ 「生ごみたい肥化講習会」の初級編及びアフターフォロー編・野菜づくり編を開催した。延べ受講人数31人
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 第3回運営状況報告会地域住民説明会実施 府中市及び小金井市の近隣住民を対象に開催。参加人数2人 ▶ ごみ収集・処理に従事する方に感謝と慰労の気持ちと業務への激励を込め、市長からのメッセージを添えて市内商品券の配布を行う。
		事業	ごみ対策課広報誌「ザ・リサイクル」を活用した、「調布ごみダイエット注意報」（1人1日当たりの家庭ごみの量の目標を達成できているかをお知らせするもの）の連載を開始
			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市内の事業所を対象とした「事業系ごみアンケート調査」の実施
	3月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 粗大ごみ臨時販売会をクリーンセンター内で開催 ▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを職員で実施 ▶ 第4回運営状況報告会地域住民説明会実施 府中市及び小金井市の近隣住民を対象に開催。参加人数0人
		事業	ごみ対策課広報誌「ザ・リサイクルジュニア」創刊号を発行。市内小中学校に配布

【令和3年度】

令和3年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 粗大ごみ臨時販売会を市役所本庁舎駐車場で開催 ▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを職員で実施 年6回（4月、5月、7月、9月、1月、2月）
	7月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ リネットジャパンリサイクル株式会社との協定締結に基づく宅配便を活用したパソコン無料回収の案内を開始。
	9月	事業	第1回調布市一般廃棄物基本計画策定委員会を開催

年	月	項目	沿 革
令和3年	9月	手数料	調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例施行規則の一部改正（粗大ごみ処理手数料表に規定する品目の追加，統合及び削除）。改正日9月30日，施行10月1日
	10月	事業	クリーンセンター内に粗大ごみ受付センター開設 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとした市内在住在学の小中学生から募集したポスターを，文化会館たづくり11階みんなの広場で展示した。展示総数212作品 ▶ ごみの減量やリサイクルをテーマにした川柳「ちょうふエコ川柳」を初めて募集し，文化会館たづくり11階みんなの広場で展示した。展示総数141句 ▶ ごみ減量キャンペーンを内容変更して実施。生分解性水切りネットを市内施設の窓口にて配布
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館となっていた利再来留館の運営を再開 ▶ 第5回運営状況報告会地域住民説明会実施。 府中市及び小金井市の近隣住民を対象に開催。参加人数3人 ▶ 相互友好協力協定に基づく白百合女子大学との共同事業としてごみ減量・リサイクルキャラクター作製に着手した。
令和4年	12月		▶ 第2回調布市一般廃棄物基本計画策定委員会を開催。
	2月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「生ごみたい肥化講習会」の初級編及びアフターフォロー編・野菜づくり編を開催した。延べ受講人数59人。 ▶ 「小型充電式電池」及び「使い捨てコンタクトレンズ空ケース」の公共施設における拠点回収開始
	3月	団体	ふじみ衛生組合でリサイクルセンター整備基本計画を策定 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 第3回調布市一般廃棄物基本計画策定委員会を開催 ▶ 第6回運営状況報告会地域住民説明会実施。 府中市及び小金井市の近隣住民を対象に開催。参加人数2人 ▶ ごみ対策課広報誌「ザ・リサイクルジュニア」第2号を発行。市内小中学校全生徒に配布 ▶ 資源物地域集団回収登録団体へのアンケート調査実施

【令和4年度】

令和4年	4月		▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを職員で実施。年2回（4月，12月）
	5月		▶ 第4回調布市一般廃棄物基本計画策定委員会を開催
	7月	事業	相互友好協力協定を締結している白百合女子大学と市の共同で制作した調布市ごみ減量・リサイクルキャラクター「リサッチョ」を公開
	8月		▶ 第5回調布市一般廃棄物基本計画策定委員会を開催
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ NEXCO中日本による中央自動車道の耐震改修工事のため利再来留館を休館 ▶ 第6回調布市一般廃棄物基本計画策定委員会を開催 ▶ 「これならできるごみ減量とリサイクル」をテーマとした市内在住在学の小中学生から募集したポスターを，文化会館たづくり11階みんなの広場で展示。展示総数168作品 ▶ ごみの減量やリサイクルをテーマにした川柳「ちょうふエコ川柳」を初めて募集し，文化会館たづくり11階みんなの広場で展示。展示総数263句 ▶ ごみ減量キャンペーンを実施。令和2，3年度と同様に生分解性水切りネットを市内施設の窓口にて配布

年	月	項目	沿 革
令和4年	10月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「三多摩は一つなり交流事業」（東京たま広域資源循環組合補助事業）日の出町民を招待（参加人数19人）して、「①ニッ塚処分場見学，②クリーンプラザふじみ見学，③深大寺散策，④落語鑑賞」を実施 ▶ 環境フェアに参加し，粗大ごみ再生品の展示売却会を開催するとともに，水切りネットを配布
	11月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 株式会社ジモティーとリユース（再利用）活動の促進に向けた連携と協力に関する協定を締結 ▶ ふじみ衛生組合主催の「第10回ふじみまつり」に参加し，ごみ減量の啓発テントブースの出展・ポスター作品の展示，チッパー車の展示・実演を行った。 ▶ 第7回運営状況報告会を府中市・小金井市の近隣住民を対象に開催。参加人数3人
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 第7回調布市一般廃棄物基本計画策定委員会を開催 ▶ 次期調布市一般廃棄物処理基本計画（素案）に対するパブリック・コメント手続を開始 ▶ 「調布市資源物地域集団回収事業奨励金交付要綱」を一部改正 <ul style="list-style-type: none"> ・奨励金申請回数の変更 年4回→年2回 ・団体登録の継続手続き（3年ごと）を廃止（登録期間を無期限化）
令和5年	2月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 第8回調布市一般廃棄物基本計画策定委員会を開催
	3月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 第8回運営状況報告会を府中市・小金井市の近隣住民を対象に開催。参加人数1人 ▶ 調布市一般廃棄物処理基本計画策定委員会から市へ調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）（案）が提出された。
		事業 団体	<p>調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）を策定</p> <p>ふじみ衛生組合でリサイクルセンター整備実施計画（案）を策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ごみ対策課広報誌「ザ・リサイクルジュニア」第3号を発行。市内小中学校全生徒に配布

【令和5年度】

令和5年	6月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境フェア参加 <p>粗大ごみ再生品の展示売却会を開催。チッパー車の実演を行うとともに，水切りネットを配布し，ごみの減量を促進した。</p>
	7月	収集	<p>7月から9月まで，ペットボトルの収集回数を4週に3回，燃やせないごみ（有害ごみ）の収集回数を4週に1回に変更</p>
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 資源物持去り防止のための早朝パトロールを職員で実施。年1回（9月） ▶ 令和5年度生ごみ処理装置等購入費補助制度の予算の上限に達したため，補助金申請の受付を停止 ▶ 「食品ロスを減らそう」「プラスチック・ペットボトルごみをへらそう」「ごみ収集車・収集員さん」「ごみ減量・リサイクル」の4つのテーマをもとに，市内在住在学の小中学生から募集したポスターを，文化会館たづくり11階みんなの広場で展示。展示総数231作品 ▶ ごみの減量やリサイクルをテーマにした川柳「ちょうふエコ川柳」を初めて募集し，文化会館たづくり11階みんなの広場で展示。展示総数262句 ▶ ごみ減量キャンペーンを実施。生分解性水切りネットを市内公共施設の窓口にて配布

年	月	項目	沿 革
令和5年	10月	▶	一般廃棄物処理手数料（指定収集袋・特定廃棄物処理券）の取扱いにおけるインボイス制度への対応開始。事業系指定収集袋及び特定廃棄物処理券（し尿処理用）の購入に伴うインボイスの発行については、すべて取扱店での対応になる旨、全店舗へ通知
	11月	▶	令和5年度生ごみ処理装置等購入費補助制度（第2期）の受付を開始
		▶	電気通信大学及びB o r z o i A I（ボルゾイエーアイ）株式会社との産学官連携に基づくごみ分別システムの共同開発を開始
令和6年	12月	▶	ふじみ衛生組合主催の「第11回ふじみまつり」に参加。レクリエーションゲーム、チッパー車の展示・実演を実施
		▶	令和5年度第1回運営状況報告会実施 府中市及び小金井市の近隣住民を対象に開催。参加人数1人
	1月	▶	令和6年度中の生ごみたい肥化モデル事業の参加者を、廃棄物減量及び再利用促進審議会、促進員を中心に募集。18世帯が参加を予定
	2月	▶	第7回エコフェスタを開催 ※令和元年度以降、4年ぶりの実施
	3月	▶	粗大ごみ臨時販売会をBRANCH(ブランチ)調布1階ふじみ交流プラザで実施
		▶	令和5年度第2回運営状況報告会実施 府中市及び小金井市の近隣住民を対象に開催。参加人数0人
		事業	「調布市災害廃棄物処理計画」策定

2 ごみ量等の推移

(単位：t)

	昭和													平成			
	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度				
総ごみ量	46,181	48,415	51,595	51,597	53,365	55,716	60,529	63,767	65,798	68,777	68,028	69,445	69,285				
収集量	46,181	47,119	50,141	50,069	51,728	54,032	58,842	61,780	63,180	65,771	64,362	65,416	64,926				
燃やせるごみ	37,961	39,462	41,401	40,670	41,405	43,309	47,505	49,538	50,118	52,036	51,189	52,120	49,719				
燃やせるごみ（家庭系）	34,113	35,153	36,306	35,616	36,319	37,502	41,373	43,142	44,076	45,563	44,513	44,139	41,477				
燃やせるごみ（事業系） （直接搬入ごみ）	3,848	4,309	5,095	5,054	5,086	5,807	6,132	6,396	6,042	6,473	6,676	7,981	8,242				
燃やせないごみ	7,920	7,338	8,360	8,924	9,483	9,785	10,414	11,259	12,107	12,295	10,432	9,857	9,127				
有害ごみ	-	-	-	13	49	69	65	65	60	59	55	58	55				
粗大ごみ	300	319	380	462	791	869	858	918	895	769	976	934	660				
資源物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	612	1,710	2,447	5,365				
集団回収	※	1,296	1,454	1,528	1,637	1,684	1,687	1,987	2,618	3,006	3,666	4,029	4,359				
し尿収集量（kℓ）	38,168	33,431	19,517	13,777	9,826	7,574	5,470	3,959	3,252	2,357	2,019	1,569	1,490				
人口（人） 10/1現在	177,612	180,058	182,359	183,726	185,688	188,618	191,493	193,372	194,278	194,023	194,637	195,656	196,607				
	※集団回収量不明				有害ごみ 分別収集 開始				ごみ処理 手数料 改正	し尿収集 有料化	カン 分別収集 開始	牛乳 パック 拠点収集 開始	布類 分別収集 開始				
	資源物集団回収 事業開始 （昭和55年1月）									古紙 分別収集 開始							
											ビン 分別収集 開始						

(単位：t)

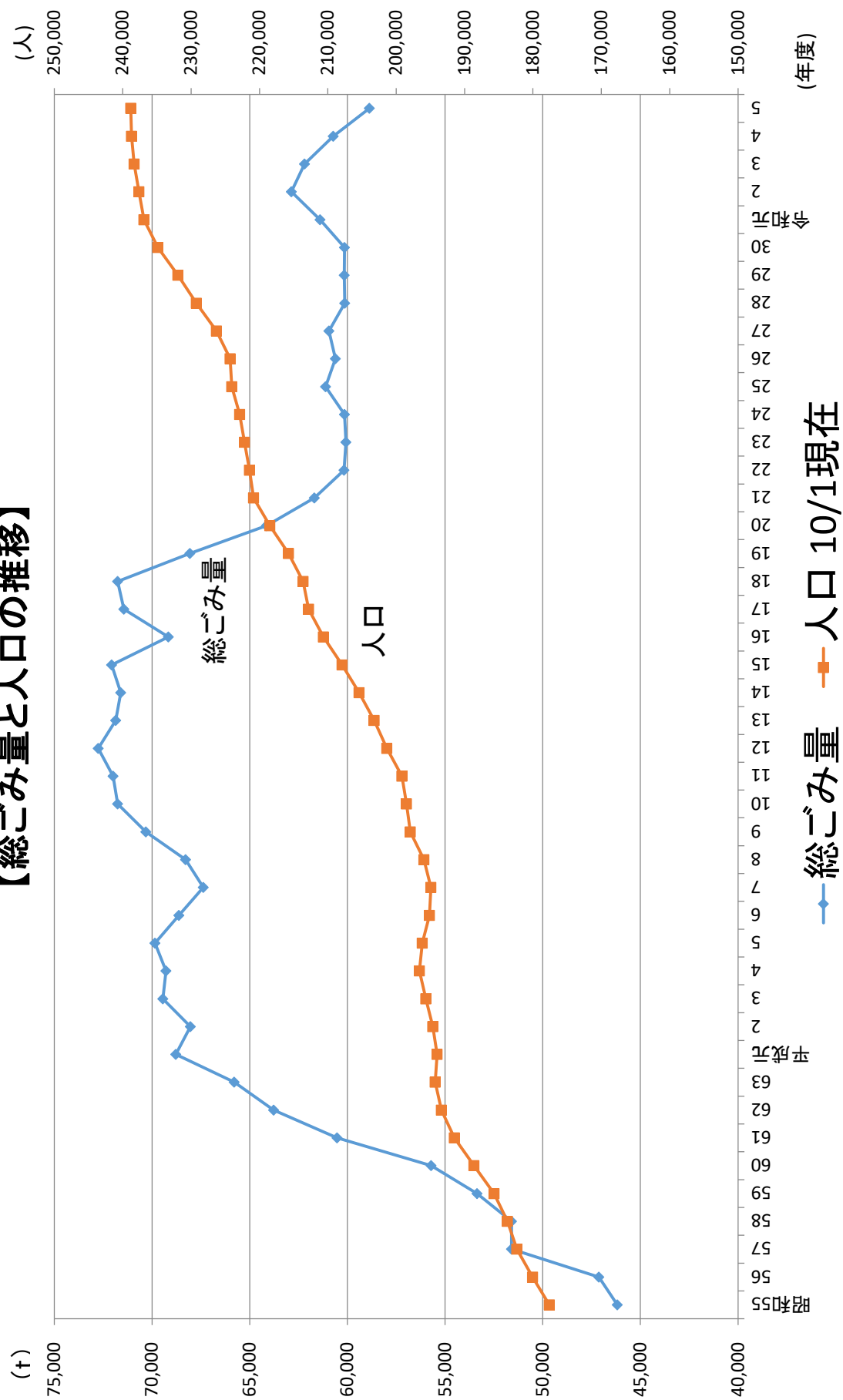
	平成												
	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
総ごみ量	69,850	68,621	67,374	68,277	70,316	71,755	71,996	72,751	71,860	71,603	72,065	69,158	71,445
収集量	65,979	65,379	62,993	63,792	65,836	66,948	67,215	67,989	67,108	67,021	67,401	64,190	66,206
燃やせるごみ	47,462	46,801	45,424	45,940	46,103	44,565	44,976	45,630	45,080	44,821	43,968	38,208	38,782
燃やせるごみ (家庭系)	38,680	37,657	37,520	37,980	38,026	36,596	36,517	36,402	35,797	36,077	35,459	29,086	28,767
燃やせるごみ (事業系) (直接搬入ごみ)	8,782	9,144	7,904	7,960	8,077	7,969	8,459	9,228	9,283	8,744	8,509	9,122	10,015
燃やせないごみ	7,826	7,276	6,141	6,091	5,918	7,319	7,465	7,738	7,244	7,397	7,650	3,429	3,816
有害ごみ	66	53	62	65	76	82	76	86	81	133	121	97	99
粗大ごみ	661	584	643	694	1,042	1,118	1,215	1,083	648	670	839	804	1,337
資源物	9,964	10,665	10,723	11,002	12,697	13,864	13,483	13,452	14,055	14,000	14,823	21,652	22,172
集団回収	3,871	3,242	4,381	4,485	4,480	4,807	4,781	4,762	4,752	4,582	4,664	4,968	5,239
し尿収集量 (k0)	1,266	1,107	1,054	1,138	1,092	902	931	888	794	768	950	659	658
人口 (人) 10/1現在	196,169	195,140	194,936	195,933	197,947	198,508	199,150	201,365	203,218	205,425	207,902	210,638	212,823
		ごみ処理 手数料 改正			ごみ処理 手数料 改正			ごみ処理 手数料 改正	ペット ボトル 分別収集 開始		収集体制 戸別収集 に変更 プラスチック 分別収集 開始	家庭ごみ の一部 有料化	
		事業所 ごみ 完全 有料化											
		粗大ごみ 有料化											

(単位：t)

	平成																令和	
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		
総ごみ量		71,756	68,060	64,145	61,686	60,166	60,067	60,145	61,119	60,609	60,943	60,130	60,159	60,145	61,393	62,859	62,196	
収集量		66,620	63,018	59,127	56,939	55,686	55,672	55,659	56,598	56,346	56,877	56,100	56,186	56,334	57,738	59,352	58,831	
燃やせるごみ		38,700	35,940	33,380	31,619	30,820	30,820	30,797	31,887	32,005	32,279	32,356	32,771	32,997	34,560	35,120	35,349	
燃やせるごみ（家庭系）		28,320	27,299	27,347	27,050	26,511	26,418	26,421	26,636	26,671	26,787	26,515	26,608	26,591	27,455	28,351	27,920	
燃やせるごみ（事業系） （直接搬入ごみ）		10,380	8,641	6,033	4,569	4,309	4,401	4,376	5,251	5,334	5,492	5,841	6,164	6,406	7,104	6,769	7,429	
燃やせないごみ		4,036	3,929	3,840	3,829	4,011	4,194	3,993	3,681	3,664	3,630	3,489	3,419	3,467	3,377	3,655	3,365	
有害ごみ		102	89	92	86	84	83	77	81	81	79	78	86	88	92	95	87	
粗大ごみ		1,379	1,158	1,201	1,240	1,236	1,324	1,401	1,510	1,486	1,507	1,537	1,559	1,639	1,845	1,909	2,066	
資源物		22,403	21,902	20,614	20,165	19,534	19,252	19,391	19,439	19,110	19,380	18,640	18,351	18,143	17,863	18,573	17,964	
集団回収		5,136	5,042	5,018	4,747	4,480	4,394	4,486	4,521	4,263	4,066	4,030	3,972	3,811	3,655	3,507	3,365	
し尿収集量（平成30年度までは単位：k0）		694	475	444	423	379	369	370	354	367	352	412	※558	※638	330	275	308	
人口（人） 10/1現在		213,613	215,750	218,471	220,875	221,441	222,187	222,905	224,026	224,283	226,291	229,220	231,904	234,867	236,880	237,636	238,311	
	一枚橋 衛生組合 焼却炉 全停止	広域支援 開始	ごみ処理 手数料 改正					広域支援 終了	クリーン プラザ ふじみ 本稼働	資源物持 去り禁止 条例施行			※三鷹市し尿 受入分を含む	新型コロナウイルス 感染症に 拡大に伴 う自粛生 活等によ る家庭ご み量の増	新型コロナウイルス 感染症に 拡大に伴 う自粛生 活等によ る家庭ご み量の増	新たな生 活様式の 定借、ご み量の増 加傾向		

(単位：t)		令和	
		4年度	5年度
総ごみ量		60,725	58,871
収集量		57,527	55,781
燃やせるごみ		34,974	34,273
燃やせるごみ (家庭系)		27,227	26,404
燃やせるごみ (事業系) (直接搬入ごみ)		7,748	7,869
燃やせないごみ		3,101	2,951
有害ごみ		83	80
粗大ごみ		2,087	1,961
資源物		17,281	16,517
集団回収		3,198	3,089
し尿収集量		286	331
人口 (人) 10/1現在		238,713	238,820

【総ごみ量と人口の推移】



【ごみ種別 収集量の推移】

